

2019年度 医学部医学科
第1学年 SYLLABUS

学業科目：

近現代文学 I

[教育目標]

日本の近現代文学について、描かれていることの特質性、さらにはその社会との関連性について把握、理解することを目標とする。同時に、テキスト（文章）を読解する際に必要となる理論（技法）の基礎を学び、それらの理論を用いて社会を批判する能力を身につける。

現在の日本近現代文学研究の射程は広く、漫画・アニメ・映画にまで及んでいる。本授業では、小説およびアニメーションなどの多様な文化表現についての読解方法を学ぶことによって、自分達と社会との関わりについて適切に把握する能力と文章による表現の重要性を認識する感覚を養いたい。

[学修目標]

近現代文学、およびそれにかかわる文化や社会との関連性について考察し、文章表現による批評の重要性について理解を深める。同時に文章を読解するための理論について学び、その援用を試みる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

指示に従い事前課題及び復習課題を学習すること。それぞれ約30分程度を目安とする。
教科書および授業時に提示する文献・作品を読み終えてから授業に参加する。
授業時に示す課題を作成する。

[評 価]

出席、定期テストの成績、それ以外の提出物（課題）の提出状況とその内容によって総合的に判断します。ただし、定期テストの未受験、提出物（仮題）の未提出者については評価対象としません。

[フィードバック]

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。

[教科書]

『現代文学理論—テキスト・読み・世界』土田知則（新曜社）
『約束のネバーランド～ノーマンからの手紙～』原作・白井カイウ、小説・七緒（集英社）

[推薦参考書]

授業時に示します。

[使用する教室]

大学2号館9階909講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
杉淵 洋一 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<近現代文学 I >

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/10(水)1限	ガイダンス	杉淵 洋一	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04/17(水)1限	講義	杉淵 洋一	(1)作品を読解するとはどういうことか ● 分析的に作品を理解することの大切さを学ぶ。	909講義室
2	04/24(水)1限	講義	杉淵 洋一	(2)文学的な作品について:導入 ● 文学的な作品の特徴を理解する。	909講義室
3	05/08(水)1限	講義	杉淵 洋一	(3)文学的な作品について:展開 ● 文学的な作品について簡単な分析方法について学ぶ。	909講義室
4	05/15(水)1限	講義	杉淵 洋一	(4)文学的な作品の構造について:導入 ● 文学的な作品(物語)の簡単な構造について学ぶ。	909講義室
5	05/22(水)1限	講義	杉淵 洋一	(5)文学的な作品の構造について:展開1 ● 文学的な作品(物語)の構造を分析する方法を学ぶ。	909講義室
6	05/29(水)1限	講義	杉淵 洋一	(6)文学的な作品の構造について:展開2 ● 文学的な作品(物語)の構造について具体的な作品を用いて説明することができる。	909講義室
7	06/05(水)1限	講義	杉淵 洋一	(7)文学的な作品の構造について:展開3 ● 学んだ知識を活用して小説以外の作品(物語)の表現を分析する。	909講義室
8	06/12(水)1限	講義	杉淵 洋一	(8)文学作品に表出する社会性と普遍性:導入 ● 太宰治「走れメロス」について説明ができる。	909講義室
9	06/19(水)1限	講義	杉淵 洋一	(9)文学作品に表出する社会性と普遍性:展開1 ● 「走れメロス」と森見 登美彦「新釈・走れメロス」を比較して考察することができる。	909講義室
10	06/26(水)1限	講義	杉淵 洋一	(10)文学作品に表出する社会性と普遍性:展開2 ● 映像化の役割と問題点1(宮沢賢治「注文の多い料理店」)	909講義室
11	07/03(水)1限	講義	杉淵 洋一	(11)文学作品に表出する社会性と普遍性:展開3 ● 映像化の役割と問題点2(林芙美子「幸福の彼方」)	909講義室
12	07/10(水)1限	講義	杉淵 洋一	(12)現代における表現文化の諸問題:1 ● 『約束のネバーランド』の作品構造について適切な説明ができる。	909講義室
13	07/17(水)1限	講義	杉淵 洋一	(13)現代における表現文化の諸問題:2 ● 『約束のネバーランド』と現代社会の関係について考察する。	909講義室
	07/24(水)1限	定期試験	杉淵 洋一	定期試験	603講義室

近現代文学Ⅱ

【教育目標】

日本の近現代文学を中心に、社会的な出来事が作品に取り入れられていく問題、特に震災表象に関する表現についての考察を行う。同時に、文学作品を研究する際に必須の分析方法や理論の基礎を学んで、それを使って社会的な文学作品を分析する能力を身につける。

日本における過去の大きな震災である1923年の関東大震災と、現代における大きな震災である二つの震災（淡路・阪神大震災（1995年）、東日本大震災（2011年））をめぐる言説を主に比較することによって、この間に私達の社会や生活にどのような変化があり、この変化に対して文学やそれに準じる創作活動がどのような影響力を担っているのか考える力を養う。

【学修目標】

日本近現代文学に表出する歴史的な事象（震災）について考察し、表現の批評性や文章を通じた歴史化の過程について理解を深める。同時に初歩的な分析方法や理論について学び、その援用を試みる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

指示に従い事前課題及び復習課題を学習すること。それぞれ約30分程度を目安とする。教科書および授業時に提示する文献・作品を読み終えてから授業に参加する。授業時に示す課題を作成する。

【評価】

出席、定期テストの成績、それ以外の提出物（課題）の提出状況とその内容によって総合的に判断します。ただし、定期テストの未受験、提出物（仮題）の未提出者については評価対象としません。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。

【教科書】

村上春樹『神の子どもたちはみな踊る』（文春文庫）
湊かなえ『絶唱』（新潮社）

【推薦参考書】

授業時に示します。

【使用する教室】

大学2号館9階909講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
杉淵 洋一 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<近現代文学Ⅱ>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/02(水)1限	講義	杉淵 洋一	出来事（震災）の歴史化 ● どのような過程を経て社会的に大きな出来事が文学的に文章化されていくのかを、震災を例にとって理解する。	909講義室
2	10/09(水)1限	講義	杉淵 洋一	文学における現代的な震災表象1 ● 村上春樹『神の子どもたちはみな踊る』における震災の描かれ方について考察する。（1）	909講義室
3	10/16(水)1限	講義	杉淵 洋一	文学における現代的な震災表象2 ● 村上春樹『神の子どもたちはみな踊る』における震災の描かれ方について考察する。（2）	909講義室
4	10/23(水)1限	講義	杉淵 洋一	文学における現代的な震災表象3 ● 湊かなえ『絶唱』における震災の描かれ方について考察する。～読者に伝達するための作品構造のあり方～（1）	909講義室
5	10/30(水)1限	講義	杉淵 洋一	文学における現代的な震災表象4 ● 湊かなえ『絶唱』における震災の描かれ方について考察する。～読者に伝達するための作品構造のあり方～（2）	909講義室
6	11/06(水)1限	講義	杉淵 洋一	文学における現代的な震災表象5 ● 湊かなえ『絶唱』における震災の描かれ方について考察する。～読者に伝達するための作品構造のあり方～（3）	909講義室
7	11/13(水)1限	講義	杉淵 洋一	文学における現代的な震災表象6 ● 綿谷りさ『かわいそうだね？』等に描かれる震災について考察する。	909講義室
8	11/20(水)1限	講義	杉淵 洋一	文学における現代的な震災表象7 ● 川上弘美『神様2011』等における震災の描かれ方について考察する。	909講義室
9	11/27(水)1限	講義	杉淵 洋一	文学における現代的な震災表象8 ● 小田実『くたくめくわらう』等から、おもに淡路・阪神大震災を中心とした震災の描かれ方について考察する。	909講義室
10	12/04(水)1限	講義	杉淵 洋一	未来を舞台として描かれる震災表象1 ● 綿谷りさ『大地のゲーム』に描かれる震災表象について考察する。	909講義室
11	12/11(水)1限	講義	杉淵 洋一	未来を舞台として描かれる震災表象2 ● 多和田葉子『不死の島』等に描かれる震災表象について考察する。	909講義室
12	12/18(水)1限	講義	杉淵 洋一	過去の震災（関東大震災）はどのように描かれたのか1 ● 白樺派の作家の作品における関東大震災についての震災表象を考察する。（1）	909講義室
13	01/08(水)1限	講義	杉淵 洋一	過去の震災（関東大震災）はどのように描かれたのか2 ● 白樺派の作家の作品における関東大震災についての震災表象を考察する。（2）	909講義室
14	01/15(水)1限	講義	杉淵 洋一	震災表象の時代の変遷による変化 ● これまでの授業の内容を踏まえて、関東大震災と現在の震災の描かれ方の違いを検討、確認する。	909講義室
	01/22(水)1限	定期試験	杉淵 洋一	定期試験	603講義室

論理学 I

【教育目標】

私たちは日々様々な情報に接し、それらを正しく理解した上でそれを基に適切な判断を下すことが求められる。そのためには、知識だけでなく、論理的に物事を考えることのできる能力も必要となる。この授業の目的はそうした論理的思考、ロジカル・シンキングを学ぶことである。授業では、講義を聴いて内容を理解するだけでなく、練習問題を通して実際に自分の頭を使って能動的に考えることが求められる。

【学修目標】

- ・様々な事柄について論理的に考えることができるようになる
- ・陥りやすい誤謬を知り、それを避けられるようになる

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

理解を確実なものにする為に、各回毎に授業のポイントを自分の言葉でまとめる、間違えた練習問題についてなぜ間違えたのか分析する、といった復習を行うこと。余裕があれば参考文献にあたって授業で触れられなかった点についても学んで欲しい。時間の目安は30分程度。

【評価】

定期試験の結果に基づいて評価する。

【フィードバック】

定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

【教科書】

なし（資料を配布する）。

【推薦参考書】

野矢茂樹『新版 論理トレーニング』（産業図書）
Fogelin, Robert J. and Sinnott-Armstrong, Walter (2014). Understanding Arguments: An Introduction to Informal Logic (9th ed.). New York: Harcourt Brace College Publishers.

【使用する教室】

大学2号館9階910講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
竹下 至 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<論理学 I >

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/10(水)1 限	ガイダンス	竹下 至	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04/17(水)1 限	講義	竹下 至	イントロダクション：論証とは何か	910講義室
2	04/24(水)1 限	講義	竹下 至	2種類の論証：演繹と非演繹	910講義室
3	05/08(水)1 限	講義	竹下 至	真理関数と真理表	910講義室
4	05/15(水)1 限	講義	竹下 至	論証の構造を特定する 演繹的論証を評価する	910講義室
5	05/22(水)1 限	講義	竹下 至	種々の演繹的論証	910講義室
6	05/29(水)1 限	講義	竹下 至	非演繹的論証（帰納、類比）を評価する	910講義室
7	06/05(水)1 限	講義	竹下 至	非演繹的論証（アブダクション）を評価する	910講義室
8	06/12(水)1 限	講義	竹下 至	因果的推論を評価する	910講義室
9	06/19(水)1 限	講義	竹下 至	注意すべき誤謬（1）	910講義室
10	06/26(水)1 限	講義	竹下 至	注意すべき誤謬（2）	910講義室
11	07/03(水)1 限	講義	竹下 至	長い論証の分析（1）	910講義室
12	07/10(水)1 限	講義	竹下 至	長い論証の分析（2）	910講義室
13	07/17(水)1 限	講義	竹下 至	長い論証の分析（3）	910講義室
	07/24(水)1 限	定期試験	竹下 至	定期試験	603講義室

論理学Ⅱ

【教育目標】

ある議論が論理的かどうかを判断する明確な方法はあるだろうか。この問いに答えるためには、そもそも「論理的である」ということの意味をはっきりさせる必要があるが、論理的であるとはどういうことだろうか。この授業では論理学の基本を学び、これらの問いをはじめとして、論理に関係する他の様々な問いに答えられる知識と技能の習得を目指す。

【学修目標】

- ・ 議論（論証）が論理的であるということがどういうことなのか理解し、説明できる
- ・ 形式論理学の基本的な概念、定理について理解し、説明できる

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

理解を確実なものにする為に、各回毎に授業のポイントを自分の言葉でまとめる、間違えた練習問題についてなぜ間違えたのか分析する、といった復習を行うこと。余裕があれば参考文献にあたって授業で触れられなかった点についても学んで欲しい。時間の目安は30～60分。

【 評 価 】

定期試験の結果に基づいて評価する。

【フィードバック】

定期試験の結果について、希望者には採点結果を解説する。

【教科書】

なし（資料を配布する）

【推薦参考書】

野矢茂樹『論理学』（東京大学出版会）
戸田山和久『論理学をつくる』（名古屋大学出版会）

【使用する教室】

大学2号館9階 910講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
竹下 至 客員講師			※講義終了後に対応

【授業日程】

<論理学Ⅱ>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室

1	10/02(水)1 限	講義	竹下 至	イントロダクション：論理（学）とは何か	910講義室
2	10/09(水)1 限	講義	竹下 至	論理学を始めるための準備：人工言語をつくる	910講義室
3	10/16(水)1 限	講義	竹下 至	命題論理（1）：真理値表	910講義室
4	10/23(水)1 限	講義	竹下 至	命題論理（2）：トートロジー、矛盾	910講義室
5	10/30(水)1 限	講義	竹下 至	命題論理（3）：論理的帰結、真理関数	910講義室
6	11/06(水)1 限	講義	竹下 至	命題論理（4）：コンパクト性定理	910講義室
7	11/13(水)1 限	講義	竹下 至	命題論理（5）：意味論的タブロー	910講義室
8	11/20(水)1 限	講義	竹下 至	述語論理（1）：述語論理の形式化	910講義室
9	11/27(水)1 限	講義	竹下 至	述語論理（2）：タブローの拡張	910講義室
10	12/04(水)1 限	講義	竹下 至	述語論理（3）：述語論理の意味論	910講義室
11	12/11(水)1 限	講義	竹下 至	述語論理（4）：伝統的論理学	910講義室
12	12/18(水)1 限	講義	竹下 至	述語論理（5）：論理言語を拡張する	910講義室
13	01/08(水)1 限	講義	竹下 至	述語論理（6）：タブロー	910講義室
14	01/15(水)1 限	講義	竹下 至	述語論理（7）：決定問題	910講義室
	01/22(水)1 限	定期試験	竹下 至	定期試験	603講義室

人類学 I

【教育目標】

社会や人間の生活についての文化人類学という考え方を様々な事例を通して紹介し、人間という存在の多様性と普遍性に関して考察する。人間の文化に関する多くの事例にふれることにより、文化の本質や多様性を理解できるようにする。

【学修目標】

文化の多様性を認識し、視野を広げる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

短期的には予習は特に必要ない。長期的には、インターネットやテレビ、文献などを通して日頃から異文化への興味を持つようにすること、自分の身近にある様々なもの、しくみ、心のありようなどを文化という視点から考えられるようにしておくことなどが、事前学習として望ましい。

授業後は、提示された事例の意味を考察し、自分なりの考え方をまとめられるよう30分程度考察すること。

【評価】

出席状況、授業態度、定期試験の結果により総合的に判断する。

【フィードバック】

- ・各回の授業前半で解説した概念や状況を、後半で映像資料を用いて個別により詳しく解説する。
- ・各学期の最終回の授業では、それまでに教えた内容について再度確認する。
- ・定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

【教科書】

特になし

【推薦参考書】

特になし

【使用する教室】

大学2号館8階810講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
三木 誠 客員講師			※講義終了後に対応

【授業日程】

<人類学 I >

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室

	04/10(水)1 限	ガイダン ス	三木 誠	選択科目ガイダンス	1001講義 室
1	04/17(水)1 限	講義	三木 誠	文化人類学概論(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
2	04/24(水)1 限	講義	三木 誠	文化の多様性(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
3	05/08(水)1 限	講義	三木 誠	文化の多様性(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
4	05/15(水)1 限	講義	三木 誠	性別と社会(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
5	05/22(水)1 限	講義	三木 誠	婚姻と家族(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
6	05/29(水)1 限	講義	三木 誠	婚姻と家族(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
7	06/05(水)1 限	講義	三木 誠	宗教と世界観(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
8	06/12(水)1 限	講義	三木 誠	宗教と世界観(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
9	06/19(水)1 限	講義	三木 誠	宗教と世界観(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
10	06/26(水)1 限	講義	三木 誠	宗教と世界観(4)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
11	07/03(水)1 限	講義	三木 誠	儀礼と祝祭(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
12	07/10(水)1 限	講義	三木 誠	環境と文化(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
13	07/17(水)1 限	講義	三木 誠	異文化と自文化(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
	07/24(水)1 限	定期試験	三木 誠	定期試験	603講義室

人類学Ⅱ

【教育目標】

世界には、我々が生きている社会とは全く異なった価値観や行動様式を持つ民族社会が多数存在する。この授業では、世界各地の民族社会に関する知識を深め、そのような社会を成り立たせている固有の論理や変化の様相について考察する。

【学修目標】

文化の多様性に関する知識を深め、異文化を正当に評価できるようにする。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

短期的には予習は特に必要ない。長期的には、インターネットやテレビ、文献などを通して日頃から民族という社会的集団に興味を持つようにすること。自分の身近にある様々な文化要素が、異文化ないし異民族から見たらどのように意味づけられるのかといった点について、想像力を膨らませることができるようになっておくことなどが、事前学習として望ましい。

授業後は、提示された事例の意味を理解し、自分なりの考え方をまとめられるように30分程度考察すること。

【評価】

出席状況、授業態度、定期試験の結果により総合的に判断する。

【フィードバック】

- ・各回の授業前半で解説した概念や状況に関して、授業後半で映像資料を用いて個別により詳しく説明する。
- ・各学期の最終回の授業では、それまで教えた内容について再度確認する。
- ・定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

【教科書】

特になし

【推薦参考書】

特になし

【使用する教室】

大学2号館8階810講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
三木 誠 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<人類学Ⅱ>

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/02(水)1 限	講義	三木 誠	民族に関する概説(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
2	10/09(水)1 限	講義	三木 誠	民族と国家(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
3	10/16(水)1 限	講義	三木 誠	民族と国家(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
4	10/23(水)1 限	講義	三木 誠	民族文化の諸相(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
5	10/30(水)1 限	講義	三木 誠	民族文化の諸相(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
6	11/06(水)1 限	講義	三木 誠	民族文化の諸相(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
7	11/13(水)1 限	講義	三木 誠	民族文化の諸相(4)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
8	11/20(水)1 限	講義	三木 誠	観光と文化(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
9	11/27(水)1 限	講義	三木 誠	伝統文化の継承(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
10	12/04(水)1 限	講義	三木 誠	伝統文化の継承(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
11	12/11(水)1 限	講義	三木 誠	伝統文化の継承(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
12	12/18(水)1 限	講義	三木 誠	新たな文化の形成(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
13	01/08(水)1 限	講義	三木 誠	新たな文化の形成(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
14	01/15(水)1 限	講義	三木 誠	新たな文化の形成(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
	01/22(水)1 限	定期試験	三木 誠	定期試験	603講義室

社会学 I

【教育目標】

社会学 I は「社会問題の社会学」とし、現代社会のさまざまな問題（家族、ジェンダー、セクシュアル・マイノリティ、少子高齢化、地域と医療・福祉問題）を学ぶ。また、そうした事象を扱いながら、社会学的／社会的に事象を捉える視座を獲得することを目指す。

【学修目標】

「あたりまえ」を疑う、社会学的視点を身につけることができる。
 様々な社会問題と自分がいま／ここに生きていることを繋いで考えられるイマジネーション（＝社会学的想像力）とは何かを理解できる。
 現代の複雑な社会問題を理解・分析できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

本授業では、基本的に同一のトピックについて理論編とデータ／実例編で構成する。理論編をきちんと復習して理解した上で、データ／実例編の授業に臨むことが求められる（予習）。

また、各回の授業ではコメントを求めるが、コメントを提出して終わりにせず、そのトピックについて自分なりに思考を発展させていくことが求められる（復習）。

【評価】

毎回のコメントの提出（30%）

平常点（授業態度等：20%）

定期試験（50%）

【フィードバック】

毎回提出されるコメントについては、授業内で適宜フィードバックする。定期試験結果については疑義のある場合は対応する。

【教科書】

特になし（授業資料を適宜配布）

【推薦参考書】

- ・好井裕明、2002、『「あたりまえ」を疑う社会学』光文社新書
- ・宇都宮京子編、2009、『よくわかる社会学』ミネルヴァ書房

【使用する教室】

大学2号館8階809講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
辻村 大生 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<社会学 I >

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/10(水)1 限	ガイダンス	辻村 大生	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04/17(水)1 限	講義	辻村 大生	社会学とは何か	809講義室
2	04/24(水)1 限	講義	辻村 大生	社会に対する理解-因果的理解と意味理解	809講義室
3	05/08(水)1 限	講義	辻村 大生	家族の機能と役割	809講義室
4	05/15(水)1 限	講義	辻村 大生	家族を「する」ということ	809講義室
5	05/22(水)1 限	講義	辻村 大生	セックス/ジェンダー/セクシュアリティ	809講義室
6	05/29(水)1 限	講義	辻村 大生	ジェンダーバイアス、セクシュアル・マイノリティ	809講義室
7	06/05(水)1 限	講義	辻村 大生	少子化と社会	809講義室
8	06/12(水)1 限	講義	辻村 大生	「子ども」とは何か	809講義室
9	06/19(水)1 限	講義	辻村 大生	高齢化と社会	809講義室
10	06/26(水)1 限	講義	辻村 大生	エイジズムと「老い」の観念	809講義室
11	07/03(水)1 限	講義	辻村 大生	地域と社会問題	809講義室
12	07/10(水)1 限	講義	辻村 大生	都市・農村と限界集落	809講義室
13	07/17(水)1 限	講義	辻村 大生	地域社会と福祉・医療	809講義室
	07/24(水)1 限	定期試験	辻村 大生	定期試験	603講義室

社会学Ⅱ

【教育目標】

社会学Ⅱは「医療と社会学」とし、社会学的な視点や理論を踏まえ、医療をめぐる様々な問題（組織・集団、医療にまつわるカテゴリーの社会的構築、コミュニケーション、公害・環境問題の被害、現代のテクノロジーと医療、「病」をめぐる社会的定義と社会運動、健康の社会的ネットワーク）について学習する。

【学修目標】

医療をめぐる様々な論点について、社会学的な理論や視点から捉えることができる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

本授業は、おおよそ1つのテーマについて、1）社会学理論や視点の概要、2）そうした理論や視点から捉える、医療・福祉をめぐる問題へのアプローチ、をセットにして授業を進めていく。1）を用いながら、その他どのような事象やケースを理解・分析できるのか、復習として発展的に考えてみてほしい。

【評価】

毎回のコメントの提出（30%）
平常点（授業態度等：20%）
定期試験（50%）

【フィードバック】

毎回提出されるコメントについては、授業内で適宜フィードバックする。定期試験結果については疑義のある場合は対応する。

【教科書】

特になし（授業資料を適宜配布）

【推薦参考書】

- ・好井裕明、2014、『違和感から始まる社会学』光文社新書
- ・中川輝彦・黒田浩一郎編、2010、『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房

【使用する教室】

大学2号館8階809講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
辻村 大生 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<社会学Ⅱ>

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/02(水)1限	講義	辻村 大生	医療を社会学するということ	809講義室
2	10/09(水)1限	講義	辻村 大生	集団論・組織論	809講義室
3	10/16(水)1限	講義	辻村 大生	医療をめぐる組織・集団	809講義室
4	10/23(水)1限	講義	辻村 大生	社会的構築主義	809講義室
5	10/30(水)1限	講義	辻村 大生	生と死の社会的構築	809講義室
6	11/06(水)1限	講義	辻村 大生	会話分析	809講義室
7	11/13(水)1限	講義	辻村 大生	医療・福祉におけるコミュニケーション	809講義室
8	11/20(水)1限	講義	辻村 大生	環境社会学の理論	809講義室
9	11/27(水)1限	講義	辻村 大生	公害・環境問題と社会的障害	809講義室
10	12/04(水)1限	講義	辻村 大生	リスク社会論	809講義室
11	12/11(水)1限	講義	辻村 大生	テクノロジーと医療問題	809講義室
12	12/18(水)1限	講義	辻村 大生	社会運動論	809講義室
13	01/08(水)1限	講義	辻村 大生	「病」をめぐる社会運動	809講義室
14	01/15(水)1限	講義	辻村 大生	社会関係資本と人々の健康	809講義室
	01/22(水)1限	定期試験	辻村 大生	定期試験	603講義室

歴史学 I

【教育目標】

歴史学 I・II では大学生が一般教養として最低限学んでおくべき近・現代の世界史を学ぶ。歴史学 I では古代メソポタミア文明から18世紀までのヨーロッパおよびアジアの歴史を講義する。この講義で対象となる時期に起きた「ルネサンス」「宗教改革」「絶対主義」などについてその誕生の背景や社会に与えた影響について理解できるようにするのが目標である。

【学修目標】

講義で扱われる近世までの歴史の流れが理解できるようになる。
 講義でとりあげた「十字軍」「フランス革命」などといった歴史的な事件が起こった背景や事件の過程、そしてその事件が後世に与えた影響について理解できる。
 講義で取り上げた「封建制」「絶対主義」「農奴制」といった支配のシステムを理解できる。
 講義で取り上げた「キリスト教」「イスラーム(イスラム教)」といった宗教について基本的な事柄(教義など)を理解できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

講義で配布された次回講義に関する資料を読み、次回の講義を理解するうえで必要な知識を確認しておく。30分程度の学習である。

【評価】

授業の最後に行う授業に関する内容を問う課題と定期試験で評価する。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・ 提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

【教科書】

講義で配布する資料を用いる。

【推薦参考書】

各講義で紹介する。

【使用する教室】

大学2号館8階810講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
磯村 尚弘 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<歴史学 I >

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/11(木)1限	ガイダンス	磯村 尚弘	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04/18(木)1限	講義	磯村 尚弘	先史時代・古代オリエントの文明(メソポタミア文明・エジプト文明) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では先史時代(旧石器・新石器時代)についてと古代オリエント世界の文明に関して講義する。特に古代エジプト文明に関しては当時使用されていたヒエログリフについてその構造を解説する。	810講義室
2	04/25(木)1限	講義	磯村 尚弘	古代ギリシア・ローマ史 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義ではヨーロッパの文化に影響を与えた古代ギリシア、ローマの歴史について講義する。特に文化・建築・科学技術(特に医学)の側面からそれぞれの文明の魅力について講義する。	810講義室
3	05/09(木)1限	講義	磯村 尚弘	ヨーロッパ世界の誕生と形成 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●古代から中世にかけてのヨーロッパ世界の成立について講義する。4世紀以降行われたゲルマン、スラブ系諸民族のヨーロッパへの移住と社会の形成から中世における封建社会の成立までの経過を講義する。	810講義室
4	05/16(木)1限	講義	磯村 尚弘	ルネサンス A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●近代ヨーロッパ文化発展のきっかけとなったルネサンスについてその過程と特徴(芸術と科学技術面(特に医学)での発展)について講義する。	810講義室
5	05/23(木)1限	講義	磯村 尚弘	宗教改革 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●キリスト教の宗派である「プロテスタント諸派」の誕生や、キリスト教とヨーロッパ社会との関係に決定的な変化を与えるきっかけともなった宗教改革について講義する。	810講義室
6	05/30(木)1限	講義	磯村 尚弘	東ローマ帝国の盛衰、古代・中世の中東欧・ロシア A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義ではのちの中東欧・ロシアの文化に大きな影響を与えた東ローマ帝国の歴史と、古代・中世の中東欧・ロシアの歴史について講義する。東ローマ帝国についてはその文化的特徴を、古代・中世の中東欧・ロシアについてはキリスト教布教やモンゴルやタタールといった中央アジアの遊牧民族の支配の影響に注目して講義する。	810講義室
7	06/06(木)1限	講義	磯村 尚弘	ヨーロッパ・ロシアにおける絶対主義 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●中世封建社会から近代資本主義社会への過渡期にあらわれた中央集権的な国家体制である絶対主義について、政治権力の面での特徴と経済や社会に与えた影響について講義する。まず西欧諸国の絶対主義の特徴について講義したのち、ロシアにおける絶対主義について、その体制を支えた農奴制にも注目して講義する。	810講義室
8	06/13(木)1限	講義	磯村 尚弘	ヨーロッパにおける「文化圏」とその影響 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●古代から近世に至る歴史の中で形成され、現在のヨーロッパ社会にも大きな影響を及ぼしている「文化圏」について講義する。特にキリスト教の宗派の違いから生まれた文化圏の特徴とその現代社会の影響について注目し講義する。	810講義室
9	06/20(木)1限	講義	磯村 尚弘	西アジア・南アジアの古代文明(イラン・中央アジア・インド) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●現在のイラン・中央アジア・インドで誕生し発展した諸文明について講義する。イラン(ペルシア)・インドの文明に関してはその特徴を、中央アジアに関しては遊牧騎馬民族の活動に注目して講義する。	810講義室

10	06/27(木)1 限	講義	磯村 尚弘	<p>イスラム世界の形成と発展</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●この回の講義ではイスラムの誕生と西アジアでの拡大、そしてイスラム帝国の誕生と発展について講義する。イスラム世界の発展は同時に文化(特に科学技術の発展)に大きな貢献をなした。こうした発展についても注目して講義する。</p>	810講義室
11	07/04(木)1 限	講義	磯村 尚弘	<p>トルコとイラン(ペルシア)の発展</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●この回の講義ではトルコとイラン(ペルシア)について、オスマン帝国やティムール朝などの諸王朝の盛衰を中心に講義する。特にオスマン帝国についてはヨーロッパなど他の地域にも多くの文化的な影響を与えたのでこうした点に注目して講義する。</p>	810講義室
12	07/11(木)1 限	講義	磯村 尚弘	<p>古代・中世の東アジア</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●この回の講義では古代・中世の東アジア(中国・朝鮮・日本)について講義する。特に東アジア世界の文化に大きな影響を与えた中国の古代文明について注目して講義する。</p>	810講義室
13	07/18(木)1 限	講義	磯村 尚弘	<p>中国文化圏の拡大と周辺世界の変容</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●この回の講義では中世以降の東アジアについて、中国文化の影響とその変化の過程について講義する。</p>	810講義室
	07/25(木)1 限	定期試験	磯村 尚弘	定期試験	603講義室

歴史学Ⅱ

【教育目標】

歴史学Ⅰ・Ⅱでは大学生が一般教養として最低限学んでおくべき近・現代の世界史を学ぶ。歴史学Ⅱでは18世紀以降のヨーロッパとアジアを中心とした世界史を扱う。この講義で扱う「第一次世界大戦」「全体主義」「第二次世界大戦」「冷戦」といった出来事がどのようなものを時代の流れに沿って理解できるようになるのが目標である。

【学修目標】

講義で取り上げた「第一次世界大戦」などといった出来事を理解できるようになる。
講義で取り上げた「共産主義」「全体主義」「全体主義」「国家社会主義」などといったイデオロギーについて理解できるようになる。
講義内容を時代に流れに沿って理解できるようになる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

講義で配布された次回講義に関する資料を読み、次回の講義を理解するうえで必要な知識を確認しておく。30分程度の学習である。

【評価】

講義の最後に行う、講義の内容を問う課題と定期試験で評価する。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・ 提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

【教科書】

講義で配布する資料を用いる。

【推薦参考書】

各講義で紹介する。

【使用する教室】

大学2号館8階810講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
磯村 尚弘 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<歴史学Ⅱ>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/03(木)1限	講義	磯村 尚弘	この回の講義ではフランス革命の背景とその過程、社会の変容について講義したのち、革命後誕生したナポレオンによる支配体制について講義する。そしてナポレオン失脚後誕生したウィーン体制について講義する。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義ではフランス革命の背景とその過程、社会の変容について講義したのち、革命後誕生したナポレオンによる支配体制について講義する。そしてナポレオン失脚後誕生したウィーン体制について講義する。	810講義室
2	10/17(木)1限	講義	磯村 尚弘	ナショナリズムの誕生と展開 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では、ナポレオンによる支配のもとで政治的な運動としてドイツや中東欧諸国で発展したナショナリズムについて講義する。まず「エスニシティ」や「ネイション」「民族」「国民」といった用語の定義に関して解説し、その後ナショナリズムの誕生の過程について講義する。そしてウィーン体制下でのナショナリズムの高揚について講義する。	810講義室
3	10/24(木)1限	講義	磯村 尚弘	19世紀のヨーロッパ世界(1)産業革命と社会への影響 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では産業革命の進展とその社会への影響について講義する。社会への影響の中では人々の生活スタイルの変容とともに、労働条件改善を求める運動の中で生まれた社会主義の誕生に注目し講義する。	810講義室
4	10/31(木)1限	講義	磯村 尚弘	19世紀のヨーロッパ世界(2)非ヨーロッパ世界の植民地化と帝国主義 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では産業革命の結果急速な発展を遂げた西欧諸国が19世紀以降本格的にアジアやアフリカ、オセアニア、アメリカといった非ヨーロッパ世界を植民地化していく過程とこうした過程で生まれた帝国主義というイデオロギーについて講義する。さらに帝国主義のもとで発展した差別的な人種理論についても解説する。	810講義室
5	11/07(木)1限	講義	磯村 尚弘	バルカン戦争と第一次世界大戦 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●20世紀初頭の国際情勢について概観したあとで、バルカン半島で起きたバルカン戦争とその後勃発した第一次世界大戦について講義する。第一次世界大戦については「総力戦」が社会にもたらした影響について着目し講義する。	810講義室
6	11/14(木)1限	講義	磯村 尚弘	第一次世界大戦後のヨーロッパ A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では第一次世界大戦後のヨーロッパについて、大戦後成立したヴェルサイユ体制の特徴とその問題点に着目して講義する。	810講義室
7	11/21(木)1限	講義	磯村 尚弘	大戦間期のヨーロッパ諸国とアメリカ A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では大戦間期のヨーロッパ諸国の情勢についてとアメリカの繁栄について講義する。ヨーロッパ諸国の情勢については特にドイツのヴァイマル体制について注目し講義する。	810講義室
8	11/28(木)1限	講義	磯村 尚弘	ロシア革命とソ連邦建国、スターリン体制 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では二度にわたるロシア革命の進行過程とその後誕生したソヴィエト連邦について講義する。ソヴィエト連邦についてはレーニンによる指導の問題点とスターリン体制の特徴について講義する。	810講義室
9	12/05(木)1限	講義	磯村 尚弘	ヨーロッパにおけるファシズム A-9-1) 生涯学習への準備	810講義室

				<p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●この回の講義ではヨーロッパにおけるファシズムの拡大について、特にドイツとイタリアの事例をもとに講義する。</p>	
10	12/12(木)1限	講義	磯村 尚弘	<p>第二次世界大戦(1)</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●ヨーロッパでの第二次世界大戦の経過とその甚大な人的、物的被害について講義する。さらにドイツやその同盟国によって行われた「ホロコースト」とよばれるユダヤ民族の虐殺やその他の諸民族への迫害についても講義する。</p>	810講義室
11	12/19(木)1限	講義	磯村 尚弘	<p>第二次世界大戦(2)</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●日本及びアジア諸国での第二次世界大戦の経過とその甚大な人的、物的被害について講義する。特に日本については明治以降行われた朝鮮の植民地支配、満州事変、日中戦争から第二次世界大戦までの経過と大戦中の状況について講義する。</p>	810講義室
12	01/09(木)1限	講義	磯村 尚弘	<p>第二次世界大戦後の世界(1)</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●この回の講義では1945～1970年代までのヨーロッパにおける戦後復興と冷戦について講義する。冷戦の影響のもとで戦後復興がどのように行われたかについてみていく。</p>	810講義室
13	01/16(木)1限	講義	磯村 尚弘	<p>第二次世界大戦後の世界(2)アジア諸国における戦後復興と冷戦</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●1945～70年代までの日本及びアジア諸国における戦後復興と冷戦について講義する。日本については戦後復興の状況とアメリカとの同盟関係の構築について、朝鮮半島については南北に分割占領された戦後の状況から朝鮮戦争、そして朝鮮戦争後の復興について、そして中国については45年から49年にかけての内戦と中華人民共和国の建国、そして毛沢東の指導による国家建設とその影響(大躍進政策や文化大革命)についてみていく。</p>	810講義室
14	01/23(木)1限	講義	磯村 尚弘	<p>冷戦の終結と革命</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●1980年代にソ連で行われた「ベレストロイカ」と、その影響をうけて1980年代末に東ヨーロッパ諸国で起きた革命について講義する。さらに冷戦終結後の世界について解説する。</p>	810講義室
	01/30(木)1限	定期試験	磯村 尚弘	定期試験	603講義室

教育学 I

[教育目標]

データが登録されていません。

[学修目標]

データが登録されていません。

教育学Ⅱ

【教育目標】

データが登録されていません。

【学修目標】

データが登録されていません。

法学 I

【教育目標】

1. 法とは何か
法が社会において、どのように機能しているのか、我々はその中でどのような関係に位置付けられているのかを把握し、法を学ぶ上での感覚を養います。
2. 法の体系
法がどのような体系に分類され、利害関係者（ステークホルダー）との間の関係性と基本的な知識を学びます。
3. 法律行為の主体
民法を中心に、法律行為の主体となる「人」とはどのようなものか、ステークホルダーの間では、どのような注意が必要かを学びます。
4. 債権債務
債権の発生原因として契約、不法行為の基本的な知識を学びます。
5. 法的思考によるリスクの回避
上記で学んだことを踏まえ、社会において、自分と利害関係者との関係性を意識しながら、具体的にどのように思考することでリスクの回避ができるのかを学びます。

【学修目標】

法の体系とステークホルダーとの関係性の理解
 法人の運営、契約の基礎の学習
 法的思考の体得

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

復習として、講義時に配布した資料を確認し、理解を深めること。約30分程度。

【評価】

出席、レポート（2回）の提出状況、定期試験の得点に基づき評価します。

【フィードバック】

- ・ レポートや演習についての解説を行います。

【教科書】

伊藤正己・加藤一郎編「現代法学入門〔第4版〕」（有斐閣双書）

【推薦参考書】

講義の中で適宜に紹介します。

【使用する教室】

大学2号館9階910講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<本部・法務室>

担当者名	曜日	時間	場所

六渡 昌平	兼任講師	木曜	17:00～	大学 2号館 4階事務部
-------	------	----	--------	--------------

【授業日程】

<法学 I >

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/11(木)1限	ガイダンス	六渡 昌平	選択科目ガイダンス B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。	1001講義室
1	04/18(木)1限	講義	六渡 昌平	法とは何か B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●法の社会における位置付け、機能を学び、法を学ぶ基礎力を養う。	910講義室
2	04/25(木)1限	講義	六渡 昌平	法の適用・体系 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●法の適用と利害関係者との関わりを理解する。	910講義室
3	05/09(木)1限	講義	六渡 昌平	法の適用対象 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●制限能力者制度、法人が理解できる。	910講義室
4	05/16(木)1限	講義	六渡 昌平	意思表示 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●法律行為の要素である意思表示が理解できる。	910講義室
5	05/23(木)1限	講義	六渡 昌平	物権 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●物権の種類と特徴が理解できる。	910講義室
6	05/30(木)1限	講義	六渡 昌平	物権 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●物権の種類と特徴が理解できる。	910講義室
7	06/06(木)1限	講義	六渡 昌平	債権 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●債権の特徴が理解できる。	910講義室
8	06/13(木)1限	講義	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●債権の発生原因として重要な契約が理解できる。	910講義室
9	06/20(木)1限	講義	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●契約の当事者、目的を特定できる。	910講義室
10	06/27(木)1限	講義	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●契約による権利の得喪、リスクを予測できる。	910講義室
11	07/04(木)1限	講義	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●契約における優位性に基づき条項を選択できる。	910講義室
12	07/11(木)1限	講義	六渡 昌平	事務管理・不当利得・不法行為 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●事務管理、不当利得、不法行為の特徴が理解できる。	910講義室
13	07/18(木)1限	講義	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●自ら作成した契約が自分の思いを反映したものを確認する。	910講義室

	07/25(木)1 限	定期試験	六渡 昌平	定期試験		603講義室
--	----------------	------	-------	------	--	--------

法学Ⅱ

【教育目標】

医療従事者（医師、看護師、療法士、検査技師等）及び医療機関（病院、診療所等）には、医療行為を実施するにあたり、様々な法的規制が及んでいる。

患者を診察し、治療方針を説明し、患者の同意を得た上で治療方針を決定する。その上で、検査、処置、手術等の医療行為を実施し、医療行為の対価としての診療報酬を患者から支払ってもらう。

当然のような一連の流れではあるが、全ての行為に伴う患者・医療従事者・医療機関の権利及び義務には法的な裏付け・根拠がある。また、法律は、医師及び医療機関に対し、良質な医療の提供及び医療安全の確保等のため最低限度の規制を行うものである。

患者の権利・義務、医師の権利・義務につき、法的な裏付け・根拠を理解することは、医師が患者に対し、良質かつ安全な医療を提供する上で重要である。

2015年からは医療事故調査制度が開始され、医療事故に対する国民の関心も高まっており、医療安全に関する医師及び医療機関に課せられている法的義務を理解する必要性は高い。

法学Ⅱでは、医師、医療機関と特にかかわりの深い法領域に特化して、その内容、問題点等を学びます。

【学修目標】

下記の項目につき、医療と法の関わりについて理解を深める。条文や理論の暗記ではなく、具体的事例を通じ、医師として特に注意する場面やその理由を理解することを重視する。

- ① 医療と法律の関わり（総論）
- ② 医療情報の保護と利用
- ③ 医療安全の確保
- ④ 患者と医師の法律関係
- ⑤ 医師の義務
- ⑥ 患者の義務
- ⑦ 医療提供体制について
- ⑧ 医療法人について
- ⑨ その他の諸問題

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

学習テーマについて各自十分学習しておくこと。事前に配布する事例・設問について10分程度検討することが望ましい。

【評価】

出席及びレポートの提出状況、定期試験の得点に基づき評価する。

- (1)知識：知識量及び理解度の両面をレポート及び定期試験で判定する。
- (2)講義及び実習態度：医学生として常識ある受講態度であったかを評価する。

【フィードバック】

レポート評価後、採点の上で返却する。講義内で、レポートの評価を行うので復習すること。定期試験結果について、疑義のある場合や解説を希望する場合は対応する。

【教科書】

未定 ※教科書使用の場合、後日揭示します。

【推薦参考書】

「実践講座 実践医療法－医療の法システム－」 著者 山口 悟（発行所 株式会社信山社）

【使用する教室】

大学2号館9階910講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<藤田医科大学病院>

担当者名	曜日	時間	場所
米山 健太 病院長付補佐	水曜	13:00~15:00	910講義室

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
黒岩 将史 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<法学Ⅱ>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/03(木)1限	講義	黒岩 将史	医療と法律の関わり（総論）	910講義室
2	10/17(木)1限	講義	米山 健太	医療情報の保護と利用	910講義室
3	10/24(木)1限	講義	米山 健太	医療情報の保護と利用	910講義室
4	10/31(木)1限	講義	米山 健太	医療安全の確保	910講義室
5	11/07(木)1限	講義	黒岩 将史	医療安全の確保	910講義室
6	11/14(木)1限	講義	米山 健太	患者と医師の法律関係	910講義室
7	11/21(木)1限	講義	米山 健太	患者と医師の法律関係	910講義室
8	11/28(木)1限	講義	米山 健太	医師の義務	910講義室
9	12/05(木)1限	講義	黒岩 将史	医師の義務	910講義室
10	12/12(木)1限	講義	米山 健太	患者の義務	910講義室
11	12/19(木)1限	講義	米山 健太	医療機関に対する法的規制	910講義室
12	01/09(木)1限	講義	黒岩 将史	医療計画について	910講義室
13	01/16(木)1限	講義	米山 健太	医療法人について	910講義室
14	01/23(木)1限	講義	米山 健太	医療法人について 本講義の総復習	910講義室
	01/30(木)1限	定期試験	米山 健太	定期試験	603講義室

経済学 I

【教育目標】

日本の医療は、国民皆保険制度を採用しており、世界最高水準の平均寿命や高い保険医療水準を実現してきた。しかしながら、日本経済が停滞しているにもかかわらず、高齢化が進む中で、高齢者医療費を中心とした医療費が大幅に増加し、対国民所得比は9%を超える状況となっている。近年、それらに対応するため様々な医療制度改革が行われている。今後、「将来にわたり持続可能な医療保険制度」を構築することが大きな課題となっている。

本講義は、医療経済、社会政策の観点から日本の医療組織、医療・介護保険制度等の仕組みを学ぶとともに、医療の現状と課題（2025年問題に基づく地域包括ケア等）について認識することを目的としている。

なお、経済学は他の社会科学よりもその用語・手法を理解していないと内容の解釈が難しい。これらの用語や手法に関しても解説する。

【学修目標】

経済学で用いられる用語を説明できる。
 医療に関わる諸制度の仕組みと現状を説明できる。
 医療供給体制をめぐる現状と課題を記述できる。
 先進諸外国の医療制度の現状と問題点を説明できる。
 法人としての医療組織の仕組みと現状を説明できる。
 医療における知的所有権の課題を述べることができる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

事前に指示された資料を熟読し、講義に出席して下さい。また、講義終了後、ノートにまとめること。約30分程度を目安とする。

【評価】

「授業中の態度」（10%）、「レポートなどの提出物」（90%）などを含めて総合的に判断する。

【フィードバック】

定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

【教科書】

「入門 医療経営情報学」 山内一信他編著（同友館）

【推薦参考書】

「入門 医療経済学」 真野俊樹著（中公新書）
 「スティグリッツ入門経済学」 J・Eスティグリッツ著（東洋経済）
 「経済学的思考センス」 大竹文雄著（中公新書）

【使用する教室】

大学2号館8階809講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医療科学部・医療経営情報学科 医療経営学>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

村田 幸則	助教	木曜・金曜	16:30~17:30	大学 6号館 5階510
-------	----	-------	-------------	--------------

【授業日程】

<経済学 I >

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/11(木)1限	ガイダンス	村田 幸則	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04/18(木)1限	講義	村田 幸則	経済学の基礎用語について学ぶ。	809講義室
2	04/25(木)1限	講義	村田 幸則	ゲーム理論を学ぶ。	809講義室
3	05/09(木)1限	講義	村田 幸則	競争優位性を学ぶ。	809講義室
4	05/16(木)1限	講義	村田 幸則	社会保障制度を俯瞰的に学ぶ。	809講義室
5	05/23(木)1限	講義	村田 幸則	医療保険制度の仕組みを学ぶ。	809講義室
6	05/30(木)1限	講義	村田 幸則	診療報酬制度の仕組みを学ぶ。	809講義室
7	06/06(木)1限	講義	村田 幸則	日本と諸外国の医療制度の違いを学ぶ。	809講義室
8	06/13(木)1限	講義	村田 幸則	高齢者医療制度・介護保険制度を学ぶ。	809講義室
9	06/20(木)1限	講義	村田 幸則	医療法人制度と制度改革を学ぶ。	809講義室
10	06/27(木)1限	講義	村田 幸則	医療と知的所有権の関係を理解する。	809講義室
11	07/04(木)1限	講義	村田 幸則	医療組織の人的資源管理を理解する。	809講義室
12	07/11(木)1限	講義	村田 幸則	企業会計と病院会計の違いを理解する。	809講義室
13	07/18(木)1限	講義	村田 幸則	医療を取り巻く環境の変化を理解する。	809講義室
	07/25(木)1限	定期試験	村田 幸則	定期試験	603講義室

経済学Ⅱ

【教育目標】

我が国の医療は社会保険方式による財源を元にして、公的医療保険制度によって運営され、世界でもトップクラスの良質で安価なサービスを提供している。しかし、経済成長が鈍化し、国の財政が逼迫している今日、急増する高齢者医療費をより効率的に運用するための改革が迫られている。この授業は、これら医療保険制度が抱える環境変化に対応すべく諸問題について、経済学的な分析方法を応用しながらその解決の在り方を考えていく。内容としては、医療サービスの特徴である不確実性、外部性、情報の非対称性等、市場メカニズムによる一般経済と異なる理論を、基本的な経済学の分析方法と同時並行的に学びながら、それらを比較することから理解を深めていく。将来、医師を目指す学生にとって、より安全、公平で、かつ効率的な医療供給体制を発展、維持するために、これら医療制度と経済知識は不可欠である。よって目標は、医薬品価格や診療報酬の在り方を含め、パラドックスに溢れた医療現場のなかで、ある程度、あるべき方向について自分の考え方を示すことができるようになることにおく。

【学修目標】

基本的な経済理論が説明できる。
医療経済の特殊性が説明できる。
経済的理論の現実社会への応用ができる。
将来のあるべき医療経済体制について自分の意見が言える。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

毎回授業前にシラバスに示された教科書の範囲を30分以上学習し、授業後は講義ノートと教科書の重点項目について30分以上復習すること。

【評価】

授業内のディスカッション内容（20%）、筆記式の期末試験（80%）の総合評価とする。

【フィードバック】

練習テスト後に解答および解説を示す。

【教科書】

『医療系学生のための社会保障制度と医療経済概論講義』 米本倉基・真野俊樹編著（ムイスリ出版）

【推薦参考書】

「入門 医療経済学」真野俊樹著（中公新書）

【使用する教室】

大学2号館8階809講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<保健衛生学部・リハビリテーション学科 専門基礎科学>

担当者名	曜日	時間	場所
米本 倉基 教授	火～木曜	12:10～13:00	大学6号館5階510

【授業日程】

<経済学Ⅱ>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/03(木)1限	講義	米本 倉基	イントロダクション 医療と経済	809講義室
2	10/17(木)1限	講義	米本 倉基	市場の失敗と医療	809講義室
3	10/24(木)1限	講義	米本 倉基	価格、独占と寡占理論と医療	809講義室
4	10/31(木)1限	講義	米本 倉基	公平と効率、費用対効果分析	809講義室
5	11/07(木)1限	講義	米本 倉基	経済学の歴史	809講義室
6	11/14(木)1限	講義	米本 倉基	厚生経済学	809講義室
7	11/21(木)1限	講義	米本 倉基	医療という特殊な財の性質について	809講義室
8	11/28(木)1限	講義	米本 倉基	医療情報の経済学	809講義室
9	12/05(木)1限	講義	米本 倉基	リスクの経済学	809講義室
10	12/12(木)1限	講義	米本 倉基	経済成長と社会保障の問題	809講義室
11	12/19(木)1限	講義	米本 倉基	医療の技術と質の評価	809講義室
12	01/09(木)1限	講義	米本 倉基	医療のプレーヤーとその行動1 患者と医療機関	809講義室
13	01/16(木)1限	講義	米本 倉基	医療のプレーヤーとその行動2 保険者と行政	809講義室
14	01/23(木)1限	講義	米本 倉基	まとめ 医療経済の展望	809講義室
	01/30(木)1限	定期試験	米本 倉基	定期試験	603講義室

スポーツ科学

【教育目標】

スポーツを通して身体運動と健康の重要性を学生に十分に理解し実践することは、大学生活を健康で有意義に過ごすための一助となるだけでなく、卒業後の医師としての人生を豊かにし、健康で活力ある家庭や社会を築く上でも欠かせることができない。また、運動処方や健康増進に必要な基礎的知識を実習などから体験的に学習する。

また、医療事故を防止する対策への意識づけ教育として、体育実技を医療現場と想定し、チームスポーツを通してチーム医療のシミュレーションを行う。医療事故の防止に不可欠な確認作業や情報整理などの技術、及び情報の共有や相互理解を図るための手段であるコミュニケーション能力を育成することを目的とする。

授業ではインドアスポーツ、アウトドアスポーツでは主としてスポーツの比重が高く、実験実習では運動や身体活動の測定と評価に関する比重が高く構成される。

また、前期の「スポーツ医学」でスポーツにおける突然死の現状とその予防と応急処置について演習をおこなう。後期の授業では、「エネルギー代謝を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝」について解説を加える。

コースと担当

- ①インドアスポーツ（ID）：宮澤
- ②アウトドアスポーツ（OD）：浦野
- ③実験実習（EX）：若月

3つのコースから前期および後期でそれぞれ希望する1つを選択する。

【学修目標】

コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。

課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。

チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。

運動方法や運動強度を知ることができる。

準備運動や安全に配慮し、事故やケガを予防することができる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

スポーツ種目の運動特性およびルール、運動や身体活動における身体の生理学、生化学、スポーツではバイオメカニクス、およびスポーツ心理学に関する簡単な事前学習（約15分程度）。事前学習については適宜指示します。授業後にmoodleにより振り返りを行います（約15分程度）。

【評価】

- (1)レポート；（卒業コンピテンシー I -1, 4, 5, 6、II -1, 2）、パフォーマンスレベルC
- (2)受講態度；（卒業コンピテンシー I -1, 4, 5, 6、II -1, 2）、パフォーマンスレベルC

医学を学ぶ者として常識ある受講態度であったか、授業に積極的に参加したか、提出課題から判定する。運動のできる服装（スポーツウエア）およびスポーツシューズの着装もチェックします。

【フィードバック】

- ・小テスト後に解答および解説を示す。
- ・小テストはコメントをつけて返却する。
- ・レポートや課題についての解説を行う。
- ・レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・本科目について作成したe-learningを学習する。

【教科書】

特になし

【推薦参考書】

「スポーツトレーニングの基礎理論」横浜市スポーツ医科学センター編（西東社）
「あなたも名医!知っておこうよ、スポーツ医学 一亀田スポーツ方式を日常診療に取り入れてみよう!」服部 惣一/山田 慎（著） 大内 洋（監修）（日本医事新報社）
<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/300004549376>
「健康づくり・介護予防のための体力測定評価法 第2版」木塚 朝博（著） 田中 喜代次/大藏 倫博（編）（金芳堂）
<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000015027?10>

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室(ガイダンス・解説講義)

【演習場所】

アセンブリホール、総合フジタグラウンド、多目的グラウンド

【注 意】

- ・各自、スポーツウェア、体育館専用シューズ、および屋外運動場専用シューズを必ず用意してください。
- ・各自飲み物等を準備し、体調不良の際には必ず教員に申し出てください。
- ・アセンブリホール・多目的グラウンド等の運動施設にはゴミ箱が設置されていないため、各自が持ち込んだゴミは必ず持ち帰ってください。

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20、17:10～	大学2号館8階807

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
飯田 忠行 客員教授		※講義終了後に対応	
浦野 忍 客員助教		※講義終了後に対応	

<保健衛生学部・リハビリテーション学科 自然科学 保健体育>

担当者名	曜日	時間	場所
桂華 麻希 兼任講師	月曜、木曜	月12:30～13:00 木13:00～14:00 メールまたはe-learningでの質問は随時受付	大学8号館1階106

【授業日程】

<スポーツ科学>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/11(木)2限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	前期ガイダンス	1001講義室
2	04/18(木)2限	実習	若月 徹 浦野 忍	スポーツ障害の予防と応急処置 スポーツにおける突然死の現状とその予防（一般市民向け救命講習）	1001講義室

3	04/18(木)3 限	実習	桂華 麻希	<p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>B-1-6) 社会・環境と健康 ○スポーツ医学を説明できる。</p> <p>●準備運動や安全に配慮し、事故やケガを予防することができる。</p>	
4	04/25(木)2 /3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バスケットボール (ルールの説明・基本技術・ゲーム) O D : ターゲットバードゴルフ2 (基本練習とニアピンゲーム①) E X : 形態測定 (身長・身体組成)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>●運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
5	05/09(木)2 /3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バスケットボール (ルールの説明・基本技術・ゲーム) O D : ターゲットバードゴルフ2 (基本練習とニアピンゲーム①) E X : 体力測定 (新体力テストを体験する)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>●運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
6	05/16(木)2 /3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バスケットボール (ゲーム) O D : ターゲットバードゴルフ2 (基本練習とニアピンゲーム①) E X : 肺機能と運動</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>●運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
7	05/23(木)2 /3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (車いすの基本操作、パス・ドリブル) O D : ターゲットバードゴルフ3 (ニアピンゲーム①) E X : 筋力と筋活動 (握力と筋電図)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>●運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
8	05/30(木)2 /3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (ミニゲーム) O D : ターゲットバードゴルフ4 (コースゲーム①) E X : 最大無酸素パワー</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>●運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
9	06/06(木)2 /3限	実習	若月 徹 飯田 忠行	<p>I D : 車いすバスケットボール (リーグ戦①) O D : フライングディスク1 (ディスタンスゲーム) E X : ウォーキング実習 (飯田)</p>	アセンブリホール 1階A

			浦野 忍 桂華 麻希	A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA
10	06/13(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : 車いすバスケットボール (リーグ戦②) O D : フライングディスク1 (アキュラシーゲーム) E X : ウォーキングと重心動揺 (加速度計による測定) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA
11	06/20(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : ブラインドサッカー (アイマスク着用でのボール操作・PK練習) O D : フライングディスク1 (ポートディスクゲーム) E X : ボールウォーキングと歩行特性 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA
12	06/27(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : バレーボール (ゲーム①) O D : ボールゲーム1 (ドリブルゲーム、パスゲーム) E X : 運動強度と心拍数 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA
13	07/04(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : バレーボール (ゲーム②) O D : ボールゲーム2 (少人数で行うゲーム) E X : 持久的トレーニングと有酸素運動 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA
14	07/11(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : バドミントン (ゲーム①) O D : ボールゲーム3 (サッカーテニス) E X : レジスタンストレーニングと筋力 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA

15	07/18(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バドミントン (ゲーム②) O D : ボールゲーム4 (サッカーテニス) E X : 減量・ダイエット A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA
16	10/03(木)2 限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>身体活動とエネルギー代謝 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○ 運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ エネルギー代謝 (エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量) を理解し、空腹 (飢餓) 時、食後 (過食時) と運動時における代謝を説明できる。</p>	1001講義室
17	10/03(木)3 限	実習			
18	10/17(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : ドッジビー (基本操作の練習・ゲーム) O D : フライングディスクゴルフ1 (チーム対抗) E X : 形態測定 (身長・身体組成) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA
19	10/24(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バスケットボール (ルールの説明・基本技術・ゲーム) O D : フライングディスクゴルフ2 (チーム対抗) E X : 体力測定 (新体力テストを体験する) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA
20	10/31(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バスケットボール (ゲーム) O D : フライングディスクゴルフ2 (個人) E X : 筋力と筋活動 (握力と筋電図) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンドA
21	11/07(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (車いすの基本操作、パス・ドリブル練習) O D : フライングディスクゴルフ4 (個人) E X : 筋力と筋活動 (握力と筋電図) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームと</p>	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グ

				して参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。	ラウンド A
22	11/14(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : 車いすバスケットボール (ミニゲーム) O D : フライングディスクゴルフ4 (個人) E X : 筋力と筋活動 (握力と筋電図) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
23	11/21(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : 車いすバスケットボール (リーグ戦①) O D : ティーボール (打撃練習と守備練習) E X : ウォーキング実習 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
24	11/28(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : 車いすバスケットボール (リーグ戦②) O D : ティーボール (ゲーム) E X : ウォーキングと重心動揺 (加速度計による測定) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
25	12/05(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : ブラインドサッカー (アイマスク着用でのボール操作・PK練習) O D : ティーボール (ゲーム) E X : ボールウォーキングと歩行特性 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
26	12/12(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : アルティメット (ルール説明・基本技術の練習) O D : サッカー 1 (キック、ドリブル) E X : 運動強度と心拍数 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場 総合グラウンドA 多目的グラウンド A
27	12/19(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : アルティメット (ミニゲーム) O D : サッカー 2 (ドリブル、パス) E X : 持久的トレーニングと有酸素運動 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション	アセンブリホール 1階A アセンブリホール 2階卓球場

				<p>○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	場 総合グラ ウンドA 多目的グラ ウンド A
28	01/09(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>ID : アルティメット (リーグ戦①) OD : サッカー 3 (ゲーム) EX : レジスタンストレーニングと筋力 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	アセンブ リホール 1階A アセンブ リホール 2階卓球 場 総合グラ ウンドA 多目的グラ ウンド A
29	01/16(木)2 / 3限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>ID : アルティメット (リーグ戦②) OD : サッカー 4 (ゲーム) EX : 減量・ダイエット A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	アセンブ リホール 1階A アセンブ リホール 2階卓球 場 総合グラ ウンドA 多目的グラ ウンド A
30	01/23(木)2 限	実習	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	振り返り レポート, アンケート提出	1001講 義室

英語

【教育目標】

この講義では、英語で書かれたアカデミックな文章を読み、その内容を正確に理解する能力を養うことを中心に英語学習に取り組みます。学術領域に於いて、英語が実質的な公用語の地位を獲得している現在、このような技能は高度に専門的な内容を学ぼうとする者にとって不可欠と言えます。語彙力の強化と実地的な文法力の涵養に重点を置き、特に将来の文献読解に必要な英語力の向上を目指します。(前澤 大樹)

この講義では科学系の英文を通して総合的な英語力を高めることを目的とします。語彙の補強や文法事項の確認を行い、英文の内容を深く理解する力、英語で表現する力を洗練することに主眼を置きます。これらの活動を通して、将来に必要な英語力の基礎を固めていきます。(中川 聡)

This course aims to build a foundation of students' English knowledge and skills for successfully communicating in English within the context of medical settings. Students will learn about specific medical and health-related topics to increase their medical English vocabulary while also developing their listening and reading comprehension skills. This course will introduce relevant English phrases and grammar patterns that can be used in medical settings such as interactions with patients. Students will then apply what they learn to various communicative activities simulating medical-related situations. These activities will include discussions, role plays and a presentation. Wherever possible, the course also hopes to foster awareness and understanding of cultural considerations to build intercultural competence. There will be two tests: a mid-term test (35%) and a final test (35%). Other grades will be determined using class participation (15%), role play activities (10%) and a presentation (5%).
(Attendance and lateness will be considered when assessing students' grades.) (Jon Schwab)

【学修目標】

- ・ 医学・医療を含めた様々な科学分野の英語文献の読解ができる。
- ・ 科学的な文献で用いられる自然な英語で表現することができる。
- ・ To develop students' communicative competence in English within a medical context focused on the following: increase students' knowledge of important medical/health-related topics and related English terminology; increase students' knowledge of and ability to use relevant English phrases and grammar patterns; develop students' listening and reading comprehension skills in English. By the end of the course, students should be able to communicate in English effectively regarding basic medical/health-related topics.

【身につける能力】

別紙参照 (卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表)

【準備学習 (予習・復習等)】 【前澤 大樹】

[予習]

- (1) 次回講義で扱う範囲の教科書の語彙を調べ、予め読んで和訳できる程度に正確に理解しておく。(1時間程度)
- (2) 教科書に付随する設問を解いておく。(30分程度)

[復習]

- (1) 講義で読んだ部分を再読し、自分の理解が誤っていた箇所等を復習する。(30分程度)
- (2) 与えられた指示に従って課題を実施する。(30分程度)

【準備学習 (予習・復習等)】 【中川 聡】

- ・ 事前に指定した教科書の範囲の英文の語彙を調べ、予め読んでおく。(1時間程度)
- ・ 授業で扱った英文を再読し、内容を正確に理解する。(30分程度)
- ・ 事前に指定した範囲の和文を英訳する。(30分程度)
- ・ 授業で扱った英語表現を応用できるようにする。(30分程度)

【準備学習 (予習・復習等)】 【Jon Schwab】

- ・ Students should do any assigned homework before coming to class. It is helpful for students to review the previous week's materials as well as to review in general throughout the course. When applicable, it is also beneficial for students to preview upcoming lesson materials before the class.

[評 価]

- (1)知識；（卒業コンピテンシー IV-9, V-1, 2, 3, 4）、パフォーマンス・レベル D
知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。
- (2)講義及び演習態度；（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンス・レベル D
医学生として常識ある受講態度であったか、積極的に講義・演習に参加できたか、与えられた課題を期限内に行えたかなどを評価する。

月曜日の授業（中川、前澤担当）と火曜日の授業（Schwab他担当）の各々の授業で合格の評価を得ることが、本科目合格の必要十分条件です。

[評 価] 【前澤 大樹】

基本的に小テスト及び試験の成績、課題提出等の状況により決定するが、必要に応じて授業への参加・貢献度等も加味し、総合的に判断する。

[評 価] 【中川 聡】

小テスト、試験の成績に加えて、授業への参加、課題の提出状況などを総合的に判断して評価する。

[評 価] 【Jon Schwab】

Students' grades will be decided by a mid-term test (35%) and a final test (35%). In addition, students' in-class performance will be worth 30% of the final grade and will be assessed by class instructors as follows: class participation (15%), role play activities (10%) and a presentation (5%). Attendance and lateness will also be considered when assessing students' grades.

【フィードバック】 【前澤 大樹】

- (1) 小テスト後に解答を示し、必要に応じて解説を行う。
- (2) 希望者には、小テストの累計点数を知らせる。
- (3) 希望者には試験の答案を開示し、必要に応じて解説を施す。

【フィードバック】 【中川 聡】

- ・小テストについては実施後に解答を示し、適宜解説を行う。
- ・試験結果について、希望者には採点結果を通知し必要に応じて解説する。

【フィードバック】 【Jon Schwab】

Feedback regarding homework will be done by individual teachers in class. Feedback regarding class participation and role play activities can be checked by asking individual instructors before or after the lesson. Presentation feedback will be given by the coordinator during office hours. Feedback for both the Midterm Test and the Final Test will be given by the coordinator during office hours after marking has concluded.

【教科書】 【前澤 大樹】

「Pathways: Reading, Writing, and Critical Thinking, Level 4 (Text with Online Workbook Access Code, ISBN: 978-1-133-94218-4)」 (Cengage Learning)

【教科書】 【中川 聡】

「Focus : Reading and Vocabulary, Level 4 (Student Text with Online Workbook Access Code, ISBN: 978-1-285-17341-2)」 (Cengage Learning)

【教科書】 【Jon Schwab】

Lesson materials will be provided to students. Students do not need to buy a textbook for this course.

【使用する教室】 【前澤 大樹】

大学2号館9階910講義室

【使用する教室】 【中川 聡】

大学2号館9階909講義室

【使用する教室】 【Jon Schwab】

大学2号館13階SGL室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・英語>

担当者名	曜日	時間	場所
SCHWAB J ON 准教授	水曜	14:00~16:00	大学2号館7階707
前澤 大樹 准教授	月曜	12:30~13:20	大学2号館10階1008
中川 聡 講師	金曜	12:30~13:20	大学2号館708
PLANTE S 准教授		10 minutes after classes end	

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
AHERN J 客員講師		10 minutes after classes end	
BODELL M 客員講師		10 minutes after classes end	
FONTAIN E R 客員講師		10 minutes after classes end	
FRANSEN D 客員講師		10 minutes after classes end	
HISLOP L 客員講師		10 minutes after classes end	
PEARSON S 客員講師		10 minutes after classes end	
THOMSON C 客員講師		10 minutes after classes end	

【授業日程】

<英語A>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/08(月)2 限	ガイダンス	中川 聡	TOEFL ITP e-learning ガイダンス	1001講義 室
1	04/15(月)1 / 2限	講義	中川 聡	ガイダンス Unit 1: Above Manhattan	909講義室
2	04/22(月)1	講義	中川 聡	Unit 1: Above Manhattan	909講義室

	/ 2限				
3	05/13(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 1: Above Manhattan	909講義室
4	05/20(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 1: Above Mahattan	909講義室
5	05/27(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 5: Finding Fakes	909講義室
6	06/03(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 5: Finding Fakes	909講義室
7	06/10(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 5: Finding Fakes	909講義室
8	06/17(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 7: Mind over Matter	909講義室
9	06/24(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 7: Mind over Matter	909講義室
10	07/01(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 7: Mind over Matter	909講義室
11	07/08(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 8: Treasures of the Titanic	909講義室
12	07/22(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 8: Treasures of the Titanic	909講義室
13	07/25(木)3 / 4限	講義	中川 聡	Unit 8: Treasures of the Titanic	909講義室
	07/29(月)1 / 2限		中川 聡	総合復習	603講義室
14	09/30(月)1 / 2限	講義	中川 聡	ガイダンス Unit 2: Into the Volcano	909講義室
15	10/07(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 2: Into the Volcano	909講義室
16	10/21(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 2: Into the Volcano	909講義室
17	10/28(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 2: Into the Volcano	909講義室
18	11/11(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 3: Champion of the Underdog	909講義室
19	11/18(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 11B : When the Moors Ruled Spain	909講義室
20	11/25(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 3: Champion of the Underdog	909講義室
21	12/02(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 8: Ship Wreck Discovery	909講義室
22	12/09(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 8: Ship Wreck Discovery	909講義室
23	12/16(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 8: Ship Wreck Discovery	909講義室
24	01/06(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 9: Kung Fu Battles	909講義室
25	01/16(木)4 / 5限	講義	中川 聡	Unit 9: Kung Fu Battles	909講義室
26	01/20(月)1 / 2限	講義	中川 聡	Unit 9: Kung Fu Battles	909講義室
	01/27(月)1 / 2限		中川 聡	総合復習	603講義室

<英語B>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/08(月)2 限	ガイダンス	前澤 大樹	TOEFL ITP e-learningガイダンス	1001講義 室
1	04/15(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Introduction	910講義室
2	04/22(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 1: Our Human Impact, Lesson A	910講義室
3	05/13(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 5: Working Together, Lesson A	910講義室
4	05/20(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 5: Working Together, Lesson A	910講義室
5	05/27(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 5: Working Together, Lesson A	910講義室
6	06/03(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 6: Language and Culture, Lesson A	910講義室
7	06/10(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 6: Language and Culture, Lesson A	910講義室
8	06/17(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 6: Language and Culture, Lesson A	910講義室
9	06/24(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 6: Language and Culture, Lesson A	910講義室
10	07/01(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 7: Resources and Development, Lesson A	910講義室
11	07/08(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 7: Resources and Development, Lesson A	910講義室
12	07/22(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 7: Resources and Development, Lesson A	910講義室
13	07/25(木)3 / 4限	講義	前澤 大樹	Unit 7: Resources and Development, Lesson A	910講義室
	07/29(月)1 / 2限		前澤 大樹	Review	603講義室
14	09/30(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Introduction	910講義室
15	10/07(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 8: Living Longer, Lesson A	910講義室
16	10/21(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 8: Living Longer, Lesson A	910講義室
17	10/28(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 8: Living Longer, Lesson A	910講義室
18	11/11(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 8: Living Longer, Lesson A	910講義室
19	11/18(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 9: Memorable Experiences, Lesson A	910講義室
20	11/25(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 9: Memorable Experiences, Lesson A	910講義室
21	12/02(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 9: Memorable Experiences, Lesson A	910講義室
22	12/09(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 9: Memorable Experiences, Lesson A	910講義室
23	12/16(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 10: Imagining the Future, Lesson A	910講義室
24	01/06(月)1	講義	前澤 大樹	Unit 10: Imagining the Future, Lesson A	910講義室

	/ 2限				
25	01/16(木)4 / 5限	講義	前澤 大樹	Unit 10: Imagining the Future, Lesson A	910講義室
26	01/20(月)1 / 2限	講義	前澤 大樹	Unit 10: Imagining the Future, Lesson A	910講義室
	01/27(月)1 / 2限		前澤 大樹	Review	603講義室

<英語C>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/16(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Introduction and Orientation – Self-Introductions A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
2	04/23(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Preventive Care - Introduction A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
3	05/07(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Physical Examinations & Screening - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
4	05/14(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT	Physical Examinations & Screening - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応す	1205講義 室

			ES AHERN J BODEL LM FONTAI NER FRANSE ND HISLO PL PEARSO NS THOMSO NC	シラバス表示 Syllabus ることができる。	1309～ 16SGL室
5	05/21(火)1 / 2限	講義	SCHWA BJON PLANT ES AHERN J BODEL LM FONTAI NER FRANSE ND HISLO PL PEARSO NS THOMSO NC	Physical Examinations & Screening - Part 3 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
6	05/28(火)1 / 2限	講義	SCHWA BJON PLANT ES AHERN J BODEL LM FONTAI NER FRANSE ND HISLO PL PEARSO NS THOMSO NC	Physical Examinations & Screening - Part 4 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
7	06/04(火)1 / 2限	講義	SCHWA BJON PLANT ES AHERN J BODEL LM FONTAI NER FRANSE ND HISLO PL PEARSO NS THOMSO NC	Health-Related Issues - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室

8	06/18(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Health-Related Issues - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の 実践に配慮することができる。 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
9	06/25(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Health-Related Issues - Part 3 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の 実践に配慮することができる。 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
10	07/02(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Health-Related Issues - Part 4 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の 実践に配慮することができる。 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解してい る。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
11	07/09(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S	Health-Related Issues - Part 5 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の 実践に配慮することができる。 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解してい る。	1205講義 室 1309～ 16SGL室

			THOMSON C		
12	07/16(火)1 / 2限	講義	SCHWAB JON PLANT ES AHERN J BODEL LM FONTAINE R FRANSE ND HISLO PL PEARSON S THOMSON C	Health-Related Issues - Part 6 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。	1205講義室 1309～ 16SGL室
13	07/23(火)1 / 2限	講義	SCHWAB JON PLANT ES AHERN J BODEL LM FONTAINE R FRANSE ND HISLO PL PEARSON S THOMSON C	Vaccinations - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	1205講義室 1309～ 16SGL室
14	07/30(火)1 / 2限	講義	SCHWAB JON PLANT ES AHERN J BODEL LM FONTAINE R FRANSE ND HISLO PL PEARSON S THOMSON C	Vaccinations - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	1205講義室 1309～ 16SGL室
15	10/01(火)1 / 2限	講義	SCHWAB JON PLANT ES AHERN J BODEL LM FONTAINE R FRANSE ND HISLO	Introduction and Orientation – Self-Introductions	1205講義室 1309～ 16SGL室

			P L P E A R S O N S T H O M S O N C		
16	10/08(火)1 /2限	講義	S C H W A B J O N P L A N T E S A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C	Influenza - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	1205講義室 1309～ 16SGL室
17	10/15(火)1 /2限	講義	S C H W A B J O N P L A N T E S A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C	Influenza - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	1205講義室 1309～ 16SGL室
18	10/29(火)1 /2限	講義	S C H W A B J O N P L A N T E S A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C	Influenza - Part 3 A-7-2) 国際医療への貢献 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	1205講義室 1309～ 16SGL室
19	11/05(火)1 /2限	講義	S C H W A B J O N P L A N T E S A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R	Basic Stomach Issues - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義室 1309～ 16SGL室

			FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C		
20	11/12(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Basic Stomach Issues - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
21	11/19(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Basic Stomach Issues - Part 3 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
22	11/26(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Hospital Departments & Presentation Preparation - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
23	12/03(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL	Hospital Departments & Presentation Preparation - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室

			L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C		
24	12/10(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Final Presentations (Hospital Departments) A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
25	12/17(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Communication Skills Activity A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
26	01/07(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Communication Skills Activity A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
27	01/14(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S	Physical Injuries - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室

			AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C		
28	01/21(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Physical Injuries - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室
29	01/28(火)1 / 2限	講義	SCHWA B JON PLANT E S AHERN J BODEL L M FONTAI NE R FRANSE N D HISLO P L PEARSO N S THOMSO N C	Physical Injuries - Part 3 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	1205講義 室 1309～ 16SGL室

Medical English I

【教育目標】

医学では膨大な数の専門用語が使用されており、医師国家試験レベルでも数万語、さらにそれぞれの専門分野ではその数倍の専門用語があると推定されます。その用語の多くは英語がそのまま、あるいは英語の略語のみが使用されています。国際的に医学分野では今や英語が「標準語」となっていて、日本語での訳語が存在しない用語も増えています。

当然医学部専門科目の講義でも、そうした専門用語が言葉として語られ、記載されます。言葉に慣れ、自由に使いこなすことができなければ、講義についていくことすらできません。しかし多くの学生が専門用語、特に英単語や略語でつまずき、講義の理解に支障をきたしています。

こうした現状を踏まえ、本科目では医学部で専門講義を受けるためのごく基本的と考えられる用語を、講義に先立ち日本語と英語の両方で理解することを目標とします。提示する用語については正確かつスピーディーに想起し、記載することを求めます。

皆さんのなかには、英語を学ぶ上で多くの苦労をされた方も多いと思いますが、それは英語という言葉がもつ複雑な「被植民地化」の歴史がもたらした、印欧語族の中でも特異な性質によります。その性質は、単語の語尾変化が極端に少なくなったために複雑に定義された語順のルール（つまり「文法」）、類似した意味をもちながら微妙にニュアンスの異なる複数の語彙（stop, cease, quit, discontinueなど）、などで、そういう性質を持つことになった背景を、英語の歴史を紐解きながら概説するとともに、医学、生物学用語に多用されるラテン語由来の語彙の「パーツ」の意味を考えていきます。

一方、この科目のもう一つの目的は自学自習の習慣をつけることであり、提示する用語についてはその内容を自ら調べることが想定しています。自学自習こそが医師になるものとしてふさわしい学習法であり、医師の常識です。用語の持つ概念の理解・習得についても、大学生・医学部生としてふさわしい勉強法を自ら確立してください。

【学修目標】

基本的な医学専門用語の説明から、用語を日本語、英語の両方ですみやかに想起し、記載できる。

医学・生物学用語をパーツに分解し、語彙の語源を考えることができる。

自学自習の習慣を身につける。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

用語集は初回の講義で提示します。講義は最小限の方向付けのみで、原則として自ら修得することを求めます。単語随時試験の合格には15～20時間程度の学習が必要と考えています。自ら学習計画を立て、勉強法を確立してください。

【 評 価 】

・知識：医学専門用語の理解を英語・日本語の両方で、ペーパーテストにより判定します。（卒業コンピテンシーIV-3）パフォーマンス・レベルD

ただし知識：医学・生物学用語をパーツに分解し、語源を考える部分については講義のみとし、試験・評価は行いません。（卒業コンピテンシーIV-3）パフォーマンス・レベルE

・態度：用語理解の単語随時試験を行い、自学自習の習慣が身についているかどうかを判定します。（卒業コンピテンシーI-1,5）パフォーマンス・レベルC

この単語随時試験で指定日までに90%以上正解した場合、50点満点の本試験得点に最大50点を加算します。再試験も同様です。夏季休業中を含め、週に1回、合格するまで受験することが可能です。どのように取り組んだかも評価の対象です。試験形式等の詳細については初回のオリエンテーション講義で説明します。

・独創的探究心の基礎となる学習ですが、説明、体験にとどめ、評価は行いません。（卒業コンピテンシーV-1～4）パフォーマンス・レベルE

【フィードバック】

・単語随時試験については実施後すぐにその場で採点し、不正解箇所をフィードバックするとともに学習方法、実習態度などに問題点があれば指摘を行います。

・本試験（再試験）結果については開示を希望する場合、オフィスアワーに申し出てください。

【教科書】

用語集をデジタルデータで配布します。さまざまなデジタル問題集も準備します。

【推薦参考書】

語源については下記の書籍を参考図書として挙げておきます。

「英語の歴史」 寺澤 盾 著 中公新書

「ラテン語の歴史」 小林 標 著 中公新書

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室

【その他】

単語随時試験については大学2号館9階907にて実施します。

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 教授	月曜～木曜	12:40～13:10	大学2号館9階907

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階706

【授業日程】

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/09(火)4限	講義	飯塚 成志	オリエンテーション・生化学分野の基本用語・英単語の理解	1001講義室
2	04/16(火)4限	講義	飯塚 成志	解剖学分野の基本用語・英単語の理解 ● 医学専門用語を学ぶにあたり、基本的な姿勢を説明する。	1001講義室
3	04/23(火)4限	講義	飯塚 成志	生理学分野の基本用語・英単語の理解	1001講義室
4	05/07(火)4限	講義	飯塚 成志	疾患に関する基本用語・英単語の理解	1001講義室
5	05/14(火)4限	講義	飯塚 成志	医学全般に関する基本用語・英単語の理解	1001講義室
6	05/21(火)4限	講義	吉田 友昭	英語の歴史 ● ラテン語由来の言葉がかしこまった表現であることを説明できる。 ● ゲルマン語族であることを説明できる。 ● フランス系のプランタジネット朝の時代に一旦衰微したことを説明できる。 ● ローマ支配の時代にはラテン語から直接、フランス系の王朝の時代にはフランス語（ロマンス語）経由でラテン語語彙が数多く流入し、経由によって語義が異なることも多いことを説明できる。	1001講義室
7	05/28(火)4限	講義	吉田 友昭	接頭辞と接尾辞 ● 生物系の専門用語に、ラテン語の接頭辞、接尾辞を駆使して創造されたものが多いことを説明できる。 ● 主たる接頭辞の意味を説明できる。 ● 主たる接尾辞の意味を説明できる。	1001講義室

ドイツ語

【教育目標】

ドイツ語圏文化において重要な功績を遺した詩人ゲーテは、かつて「諸外国(!)の言葉を知らざる者は、自身の国の言葉を理解しない」という言葉を残しました。皆さんは既に英語を学習してきましたが、異なる文法や体系をもつドイツ語を新たに学ぶことで言語についての理解を深められます。また自然科学の諸分野でドイツ語は英語に次いで重要な言語のひとつですから、専門分野の研究や学習の役に立つと思われれます。

この授業を通じて多文化的な感性を育み、知識を得、視野を広げてもらえればと思います。

【学修目標】

ドイツ語の初級文法を習得し、平易なドイツ語文章の理解と表現ができる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

復習を中心に取り組んでください。その際、音声教材を繰り返し聞き、発音してください。また、文法のまとめや練習問題を配布するので、補助教材として活用してください。約30分程度を目安とする。

【評価】

前期：平常点30%、小テスト（2回程度）30%、中間試験40%

後期：平常点30%、小テスト（2回程度）30%、期末試験40%

最終的な成績は前期と後期を総合して評価します。

ペアワーク、グループワークは積極的に取り組んでください。

【フィードバック】

- ・ 小テスト後に解答および解説を示します。
- ・ 課題で不足の多い場合は再提出を求めることがあります。
- ・ 課題についての解説を行います。

【教科書】

清野智昭 / 時田伊津子 / 牛山さおり『ドイツ語の時間 〈ときめきミュンヘン〉 コミュニカティブ版－マルチメディア－』（朝日出版社）

【推薦参考書】

『郁文堂独和辞典（第二版）』 富山芳正他編著、郁文堂
 『アポロン独和辞典（第三版）』 根本道也他編著、同学社
 『パスポート独和・和独小辞典』 諏訪功他編、白水社
 辞書はこの三冊のいずれかがおすすめです。語彙数が多いものから並んでいます。

【使用する教室】

大学2号館9階910講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
大林 侑平 客員助教		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<ドイツ語>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/09(火)2 限	ガイダンス	大林 侑平	第二外国語ガイダンス	1001講義室
1	04/16(火)1 /2限	講義	大林 侑平	Lektion1 : アルファベットの発音、挨拶、動詞の現在人称変化 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
2	04/23(火)1 /2限	講義	大林 侑平	Lektion1 : 動詞seinとhabenの変化、動詞の位置 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
3	05/07(火)1 /2限	講義	大林 侑平	Lektion1 : 文法復習 Lektion2 : 数字、名詞の性と1格4格 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
4	05/14(火)1 /2限	講義	大林 侑平	Lektion2 : 名詞の1格と4格、所有冠詞 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
5	05/21(火)1 /2限	講義	大林 侑平	Lektion2 : 文法復習 Lektion3 : 不規則動詞の現在人称変化 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
6	05/28(火)1 /2限	講義	大林 侑平	第一回小テスト Lektion3 : 名詞の複数形 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
7	06/04(火)1 /2限	講義	大林 侑平	第一回小テストの解説 Lektion3までの復習 Lektion4 : 名詞の3格 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	910講義室

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
8	06/18(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion4 : 3格支配の前置詞、4格支配の前置詞</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
9	06/25(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion4 : 文法復習</p> <p>Lektion5 : 人称代名詞の3格・4格</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
10	07/02(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion5 : 時刻の表現、分離動詞</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
11	07/09(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion5 : 文法復習</p> <p>Lektion6 : 語法の助動詞</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
12	07/16(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>第二回小テスト</p> <p>Lektion6 : 命令形</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
13	07/23(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>第二回小テストの解説</p> <p>Lektion5までの復習</p> <p>Lektion6 : 文法復習</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
	07/30(火)3 限	中間試験	大林 侑平	中間試験	603講義室
14	10/01(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>中間試験の要点解説</p> <p>前期の文法復習</p> <p>Lektion7:3格・4格支配の前置詞</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重し 	910講義室

				<p>た医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	
15	10/08(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion7: 3格・4格支配の前置詞、並列接続詞</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
16	10/15(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion7: 文法復習</p> <p>Lektion8: 現在完了形</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
17	10/29(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion8: 過去形</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
18	11/05(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion8: 文法復習</p> <p>Lektion9: 定冠詞類dieser, welcher</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
19	11/12(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>第三回小テスト</p> <p>Lektion9: 副文</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
20	11/19(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>第三回小テストの解説</p> <p>Lektion9: 文法復習</p> <p>Lektion10: 比較級と最上級</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
21	11/26(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion10: 再帰代名詞と再帰動詞</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
22	12/03(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion10: 文法復習</p> <p>Lektion11: 形容詞の格変化</p>	910講義室

				<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
23	12/10(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion11：天候の表現</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
24	12/17(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>Lektion11：文法復習</p> <p>Lektion12：接続法第2式</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
25	01/07(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>第四回小テスト</p> <p>Lektion12:zu不定詞句</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
26	01/14(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>第四回小テストの解説</p> <p>Lektion12：文法復習</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
27	01/21(火)1 / 2限	講義	大林 侑平	<p>テスト前文法確認</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
	01/28(火)3 限	定期試験	大林 侑平	定期試験	603講義室

フランス語

【教育目標】

フランス語はこれまでの英語学習と違い、発音が比較的簡単に思える反面、文法的にはかなり難しく感じられるかもしれない。しかし週に一度ではあるが、基本的な文法を一通り理解して、繰り返し発音練習をすることで、将来、医療の現場でフランス人とのコミュニケーションを取らざるを得ないときに役に立つこともあると思う。異国で医者にかかった際に、母国語を理解してくれる医者に出会えることの心強さを相手に与えるためにも、英語以外のヨーロッパの外国語を学ぶことで、視野を広げ、さまざまな分野に生かせるような文化的多様性を育ててもらえればと思う。

【学修目標】

日常生活での挨拶やごく簡単なやりとりができるようになることを目指す。
文法的なレベルとしては、フランス語検定の5級程度が目標となる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

授業ごとに学習した冠詞や代名詞の用法などを復習するようにしてください。
特に、「動詞の活用」を復習する習慣をつけておくようにしてください。
約30分程度を目安とする。

【評価】

平常点30%、定期試験70%で評価する。

【フィードバック】

定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

【教科書】

『ケンとジュリー1』、太原孝英、他（著）、駿河台出版社

【推薦参考書】

『クラウン仏和辞典』（三省堂）
『ディコ仏和辞典』（白水社）
『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）

【使用する教室】

大学2号館9階909講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
佐々木 稔 客員講師		※授業終了後に対応	

【授業日程】

<フランス語>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/09(火)2 限	ガイダンス	佐々木 稔	ガイダンス	1001講義室
1	04/16(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	発音と綴り字① 子音と単母音	909講義室
2	04/23(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	発音と綴り字② 複母音字、鼻母音、半母音	909講義室
3	05/07(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	名詞の性と数① 不定冠詞	909講義室
4	05/14(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	名詞の性と数② 定冠詞	909講義室
5	05/21(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	主語人称代名詞 動詞êtreの活用	909講義室
6	05/28(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	職業・身分の表現	909講義室
7	06/04(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	動詞avoirの活用	909講義室
8	06/18(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	否定文の作り方	909講義室
9	06/25(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	部分冠詞 avoirを使った熟語表現	909講義室
10	07/02(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	第1群規則動詞 (-er動詞) の活用	909講義室
11	07/09(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	疑問文の作り方	909講義室
12	07/16(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	肯定と否定の応答 第2群規則動詞 (-ir動詞) の活用	909講義室
13	07/23(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	形容詞の性数一致	909講義室
	07/30(火)3 限	中間試験	佐々木 稔	中間試験	603講義室
14	10/01(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	基礎文法の復習① 発音と綴り字の復習	909講義室
15	10/08(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	基礎文法の復習② 定冠詞・不定冠詞・部分冠詞・指示形容詞	909講義室
16	10/15(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	基礎文法の復習③ 動詞の活用être, avoir, -er動詞	909講義室
17	10/29(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	基礎文法の復習④ 否定文の作り方	909講義室
18	11/05(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	基礎文法の復習⑤ 疑問文の作り方	909講義室
19	11/12(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	所有形容詞	909講義室
20	11/19(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	形容詞・副詞の比較級	909講義室
21	11/26(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	不規則動詞vouloir, pouvoirの活用	909講義室
22	12/03(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	強勢形人称代名詞 不規則動詞prendre, attendreの活用	909講義室
23	12/10(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	不規則動詞aller, venirの活用	909講義室
24	12/17(火)1	講義	佐々木 稔	前置詞 (à, de) と定冠詞の縮約形	909講義室

	/ 2限				
25	01/07(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	疑問副詞	909講義室
26	01/14(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	近接未来・近接過去	909講義室
27	01/21(火)1 / 2限	講義	佐々木 稔	疑問代名詞 不規則動詞faire, partirの活用	909講義室
	01/28(火)3 限	定期試験	佐々木 稔	定期試験	603講義室

中国語

【教育目標】

中国語の初級段階を総合的に学習し、音声・文法・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的知識の習得及び運用能力の養成を目標とする。「読む」「書く」「聴く」「話す」の4技能をバランスよく身に付け、中国語に親しむことを目指す。また、視聴覚メディア等を通じて、文化・習俗・歴史・社会事情等についても学び、国際的視野を涵養する一歩とする。

【学修目標】

声調言語である中国語の学習において、音声習得は最重要ポイントである。授業では十分な時間をかけて反復練習を行い、正確で美しい発音の習得を目指す。また、日本語や英語との比較を通じて中国語の語順・基本文型などをマスターし、平易な文章を読解する力、辞書を活用してやや難度の高い文章を自力で読解する力を養う。ピンインの綴りを習得し、正確に発音できる。中国語の基礎文法を習得し、初級レベルの表現を産出できる。医療現場で用いられる基礎的な語彙、表現例を使ってコミュニケーションできる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

指示に従い事前課題及び復習課題に取り組むこと。課題には単元ごとに設けられている練習問題や课文の朗読、暗誦等が含まれる。それぞれ30分程度を目安とする。

【評価】

中間試験、定期試験の成績のほか、授業への貢献度、出席状況などを総合的に評価する。

【フィードバック】

- ・各種試験については評価後フィードバックを行い、疑義のある場合は対応する。
- ・課題レポート等の成果物については評価後返却し、不足の多い場合は再提出を求めることがある。

【教科書】

『ニーハオ！ニッポン 一ふりむけば、中国語。』相原茂・朱怡穎著（朝日出版社）

【推薦参考書】

推薦参考書・辞書については、別途授業で紹介する。

【使用する教室】

大学2号館8階810講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
勝川 裕子 客員准教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<中国語>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/09(火)2 限	ガイダ ンス	勝川 裕子	第二外国語ガイダンス	1001講義 室
1	04/16(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	発音(1):声調、単母音、複母音 中国語論概説(1)	810講義室
2	04/23(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	発音(2):子音、鼻母音 中国語論概説(2)	810講義室
3	05/07(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	発音(3):轻声、声調変化、発音総まとめ 中国語論概説(3)	810講義室
4	05/14(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「日本到着—成田空港」(1) 文法項目:人称代名詞、“～是～”、“的”、動詞述語文、語気助詞“吧”	810講義室
5	05/21(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「日本到着—成田空港」(2) 言語活動:暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
6	05/28(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「ホテルチェックイン」(1) 文法項目:助動詞“想”、“姓”と“叫”、動詞“在”、指示代名詞	810講義室
7	06/04(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「ホテルチェックイン」(2) 言語活動:暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
8	06/18(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「夜景が綺麗」(1) 文法項目:疑問詞の“多”、数の数え方、経験の“过”、形容詞述語文	810講義室
9	06/25(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「夜景が綺麗」(2) 言語活動:暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
10	07/02(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「電車で」(1) 文法項目:連動文、量詞、動詞“有”、時間量の言い方	810講義室
11	07/09(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「電車で」(2) 言語活動:暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
12	07/16(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「化粧品売り場で」(1) 文法項目:疑問詞、中国のお金の単位、“二”と“两”	810講義室
13	07/23(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「化粧品売り場で」(2) 言語活動:暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
	07/30(火)3 限	中間試 験	勝川 裕子	中間試験	603講義室
14	10/01(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	中間試験フィードバック 「花火大会」(1) 文法項目:年月日・曜日の言い方、理由を問う“怎么”、年齢の言い方	810講義室
15	10/08(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「花火大会」(2) 言語活動:暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
16	10/15(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「日本の雑貨」(1) 文法項目:“也”と“都”、実現の“了”、副詞の“不”と“没”、前置詞“在”	810講義室
17	10/29(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「日本の雑貨」(2) 言語活動:暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
18	11/05(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「おいしい和牛をどうぞ」(1) 文法項目:時刻の言い方、変化の“了”、反復疑問文、動詞の重ね型	810講義室
19	11/12(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「おいしい和牛をどうぞ」(2) 言語活動:暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
20	11/19(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「日本の人気デザート」(1) 文法項目:進行の表し方、“～还是～”、“喜欢”	810講義室
21	11/26(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「日本の人気デザート」(2) 言語活動:暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
22	12/03(火)1 /2限	講義	勝川 裕子	「着物体験」(1) 文法項目:持続の“～着”、方位詞、可能の助動詞“会”“能”“可以”	810講義室

23	12/10(火)1 / 2限	講義	勝川 裕子	「着物体験」(2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
24	12/17(火)1 / 2限	講義	勝川 裕子	「温泉に入る」(1) 文法項目：結果補語、方向補語、副詞“得”	810講義室
25	01/07(火)1 / 2限	講義	勝川 裕子	「温泉に入る」(2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
26	01/14(火)1 / 2限	講義	勝川 裕子	「日帰りバスツアー」(1) 文法項目：様態補語、“又～又～”、比較構文	810講義室
27	01/21(火)1 / 2限	講義	勝川 裕子	「日帰りバスツアー」(2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
	01/28(火)3 限	定期試 験	勝川 裕子	定期試験	603講義室

ポルトガル語

【教育目標】

日本には約20万人のブラジル人が住んでおり、特に東海地方には多くの集住地域があります。医療の現場において、ブラジル・ポルトガル語圏の外国人に対応できるような言語習得の関心が高まっている。そのため、本講義では、基本的なポルトガル語の表現とブラジルや中南米の諸国の文化についての意識を養成する。ブラジル・ポルトガル語学習を通して、国際的視野を広げ、異文化を背景とする人々と適切な意思疎通が行えるよう中身のあるコミュニケーション能力を身につけるのが目標である。

【学修目標】

異国の歴史、社会や文化を学びながら、世界観を広げ、心の中にある差別と偏見をなくす。日常的な会話によく使われる表現を使うことができる。ポルトガル語の医学用語やブラジル・ポルトガル語の基本点を理解し、自分で簡単な文書を作ることができる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

- ・ 関連資料（プリント）を多く配布するので、ファイルを用意して保管する。
- ・ 指示された課題は必ず自力でやっていること。週1時間程度を目安とする。

【 評 価 】

実践力をどこまで身に付けたかを判定する中間試験、定期試験の成績のほか、授業への取り組み姿勢（会話練習の態度等）、課題の提出状況、出席状況等を総合的に評価する。

【フィードバック】

- ・ 小テスト後に解答および解説を示す。
- ・ 小テストはコメントをつけて返却する。
- ・ 宿題や課題についての解説を行う。

【教科書】

重松由美：『Vamos falar português! -ブラジル・ポルトガル語を話そう！』朝日出版社

【推薦参考書】

黒沢 直俊・ホノウチ ポリート・武田 千香『デイリー日葡英・葡日英辞典』三省堂
高橋 千晃『通訳いらずの医療ガイド（日ポ西対訳）』たまいらば

【使用する教室】

大学2号館8階809講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
FERRARI GO 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<ポルトガル語>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/09(火)2 限	ガイダンス	F E R R A R I G O	第二外国語ガイダンス	1001講義室
1	04/16(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	挨拶と自己紹介	809講義室
2	04/23(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	アルファベットと発音	809講義室
3	05/07(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	名詞の性と数	809講義室
4	05/14(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	冠詞と数字	809講義室
5	05/21(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	ser動詞	809講義室
6	05/28(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	人称代名詞と疑問文	809講義室
7	06/04(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	形容詞の性と数	809講義室
8	06/18(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	所有形容詞と家族の紹介	809講義室
9	06/25(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	指示代名詞と今までのまとめ	809講義室
10	07/02(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	小テスト	809講義室
11	07/09(火)1 / 2限	講義	F E R R A R	規則動詞 (1)	809講義室

			I G O		
12	07/16(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	前置詞	809講義室
13	07/23(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	前期の総復習	809講義室
	07/30(火)3 限	中間試験	F E R R A R I G O	中間試験	603講義室
14	10/01(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	規則動詞 (2)	809講義室
15	10/08(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	副詞	809講義室
16	10/15(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	不規則動詞 ir	809講義室
17	10/29(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	未来を表すir動詞	809講義室
18	11/05(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	不規則動詞 ter	809講義室
19	11/12(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	不規則動詞 fazer	809講義室
20	11/19(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	疑問詞	809講義室
21	11/26(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	頻度を表す表現	809講義室
22	12/03(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	不規則動詞 poder	809講義室
23	12/10(火)1	講義	F E	不規則動詞 querer	809講義室

	/ 2限		R R A R I G O		
24	12/17(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	小テスト	809講義室
25	01/07(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	不規則動詞 estar (1)	809講義室
26	01/14(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	不規則動詞 estar (2)	809講義室
27	01/21(火)1 / 2限	講義	F E R R A R I G O	後期の総復習	809講義室
	01/28(火)3 限	定期試験	F E R R A R I G O	定期試験	603講義室

数学

【教育目標】

「自然は数学の言葉で書かれている」と言われるように、自然科学の様々な分野の根底にある学問が数学であり、数学は、現象を正確に記述し、正確に伝えるために極めて有効である。

準備教育モデル・コア・カリキュラム（平成13年度版）では「医学・歯学教育における教養教育の意義」として「医師、歯科医師又は研究者となる前に人としての素養を培っていくもの」とされており、この教育内容ガイドラインに挙げられた各項目を習得していく際、自然科学の様々な分野の根底にある学問としての数学の習得は重要である。

また、医学教育モデル・コア・カリキュラムにおいてA～Eで分類された各項目において、数学的知識、考え方をを用いる場合は少なくなく、医師として求められる基本的な資質としても、数学の習得は重要といえる。

以上のような観点から、医師として、また教養として必要な数学の知識、考え方を習得することを目標とし、本科目では、数学の中でも、大学初年時に学ぶべき基本となる「線形代数学」、「微分積分学」および「確率統計学」の基礎を中心に学ぶ。

【学修目標】

線形代数学の基本概念を理解し、演算ができる。

微分積分学の基本概念を理解し、演算ができる。

確率論的なものの見方を理解し、確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解する。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

数学の理解のためには、概念について深く考えること、自ら手を動かして演算してみることが重要となる。このようなことの繰り返しを通じて、少しずつ理解が深まっていくものである。そのため、講義の前に教科書を一読すること、講義の後に理解の確認と関連する例題を解いてみるのが大事である。それぞれ30分以上を目安とする。

【 評 価 】

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-8）、パフォーマンス・レベルD

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)演習レポート；（卒業コンピテンシー V-1, 3）、パフォーマンス・レベルC

演習では、どのレベルまで自ら問題点を発掘し、かつそれに答えるべく努力をしたかをレポートから判定し、演習評価の主なポイントとする。

(3)講義および演習態度；（卒業コンピテンシー I-4, 5, 6）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、演習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題の解答例を提示する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

【教科書】

「線形代数入門 基礎と演習」吉本武史・豊泉正男（学術図書）

「第2版 微分積分学 思想・方法・応用」吉本武史（学術図書）

「新版 基本統計学」本多勝・石田崇（産業図書）

【推薦参考書】

「線形代数学」佐武一郎（裳華房）

「線形代数入門講義－現代数学の《技法》と《心》－」長岡亮介（東京図書）

「解析概論」高木貞治（岩波書店）

「微分積分講義」南和彦（裳華房）

「確率統計学」須子統太・鈴木誠・浮田善文・小林学・後藤正幸（オーム社）

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・数学>

担当者名	曜日	時間	場所
鏡 裕行 准教授	火曜	12:30~13:15	大学2号館9階906

【授業日程】

<数学>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/08(月)3限	講義	鏡 裕行	線形代数学(1) ベクトルと行列、行列の積と逆行列 ● ベクトルの基本概念を理解し、演算ができる。 ● 行列の基本概念を理解し、演算ができる。 ● 行列の積の定義を理解し、演算ができる。 ● 逆行列の意味を理解し、演算ができる。	1001講義室
2	04/15(月)3限	講義	鏡 裕行	線形代数学(2) 行列式 ● 行列式の意味を理解し、演算ができる。 ● 余因子の意味を理解し、演算ができる。	1001講義室
3	04/22(月)3限	講義	鏡 裕行	線形代数学(3) 連立1次方程式と行列の階数 ● 行列を用いた連立1次方程式の解法を理解し、演算ができる。 ● 階数の概念を理解できる。	1001講義室
4	05/13(月)3限	講義	鏡 裕行	線形代数学(4) 固有値と固有ベクトル ● 固有値と固有ベクトルの概念を理解し、演算ができる。 ● 行列の対角化を理解し、演算ができる。	1001講義室
5	05/20(月)3限	講義	鏡 裕行	微分積分学(1) 数と集合、数列、関数と連続性 ● 数、集合、数列、関数、連続性の概念を理解できる。	1001講義室
6	05/27(月)3限	講義	鏡 裕行	微分積分学(2) 1変数関数の微分、テーラー展開 ● 1変数関数の微分を理解し、演算ができる。 ● テーラー展開を理解し、演算ができる。	1001講義室
7	06/03(月)3限	講義	鏡 裕行	微分積分学(3) 1変数関数の積分 ● 1変数関数の積分を理解し、演算ができる。	1001講義室
8	06/10(月)3限	講義	鏡 裕行	微分積分学(4) 多変数関数の微分積分 ● 多変数関数の微分を理解し、演算ができる。 ● 多変数関数の積分を理解し、演算ができる。	1001講義室
9	06/17(月)3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(1) 確率変数と確率分布 B-1-1) 統計の基礎 ○ 主要な確率分布を説明できる。 ● 事象と標本空間の定義を説明できる。 ● 確率の概念と加法定理を説明できる。 ● 離散型確率変数と連続型確率変数を定義し、それらの分布を説明できる。 ● 確率変数の期待値と分散・標準偏差の定義と性質を説明できる。 ● 統計量と標本分布を説明できる。	1001講義室
10	06/24(月)3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(2) 標本平均の分布と中心極限定理 B-1-1) 統計の基礎 ○ 主要な確率分布を説明できる。 ● 正規母集団からの標本平均の分布を計算できる。 ● 中心極限定理と標本平均の正規近似を説明できる。	1001講義室
11	07/01(月)3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(3) 統計的推定 B-1-1) 統計の基礎 ○ 正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。 ● 正規分布でない母集団における平均の信頼区間を計算できる。	1001講義室
12	07/08(月)3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(4) 仮説検定 1 B-1-1) 統計の基礎	1001講義室

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な仮説検定の構造を説明できる。 ● 母平均を検定できる。 	
13	07/22(月)3 限	講義	鏡 裕行	<p>確率統計学(5) 仮説検定2</p> <p>B-1-1) 統計の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な仮説検定の構造を説明できる。 ● 母集団の分散と標本分散の違いを説明でき、正規性を検定できる。 ● カイ2乗検定法を説明できる。 	1001講義 室
14	07/29(月)3 限	講義	鏡 裕行	<p>確率統計学(6) 条件付確率とベイズの定理</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 条件付確率と乗法定理を説明できる。 ● ベイズの定理を理解し、演算ができる。 	1001講義 室

情報処理の基礎

[教育目標]

Evidence Based Medicine (EBM) の考え方に基づいた医療が定着し、より良い診療・研究を行う上で、情報処理能力が必須となっています。今後の医療を担う皆さんには従来の医学・医療の知識に加え、統計学・疫学・EBMに関する理解とコンピュータでの情報収集、情報処理、情報発信能力が求められています。

1学年の「情報処理の基礎」では、情報機器の機能と仕組み、ネットワークの基礎知識、情報を扱う上での倫理など情報処理に関する基礎的な能力および論理的な思考力の修得を目指しています。加えて、医療人として必須の医療情報システムの概略について知識と理解を深めていただきます。医療情報の特質を把握し、オーダリングシステム、PACS、電子カルテ、IHE、情報セキュリティなどの医療従事者としての基礎的なスキルを身につけていただきます。

本授業は2学年における医学統計学、疫学、および3学年での予防医学、公衆衛生学等と関連を持たせた系統的授業のひとつであり、皆さんにはこの全体的構成を念頭に置いて受講していただきたいと思います。

[学修目標]

医学・医療におけるコンピュータ利用の意義を説明できる。

コンピュータの基本構成とインターネットの基本的事項を理解し、情報機器を活用した情報の収集、整理、活用、伝達に習熟する。

マルウェア感染、情報漏洩などのインシデント事例を知り、情報セキュリティの重用性を理解し、実践できる。医療情報の電子化について、システムの概略を理解し説明できる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習]

授業は、TBL（Team Based Learning :チーム基盤型学修）形式で行います。TBLでは、能動的な学修が必要で、予習は必須となります。予習と復習を支援するために、全ての詳細な授業計画、学修資料はeラーニング上で閲覧できるようにしています。また、毎回の授業の最後には次回の授業の要約を解説しますのでeラーニング上の資料を活用し予習して下さい。最長30分程を目安としています。

[評価]

評価点を定めるに当たり、定期試験（または再試験）の成績、ポートフォリオの内容、eラーニングによる予習確認テスト（iRAT,tRAT）、および応用課題、学生間相互評価（ピア評価）、受講態度等を総合的に判断して最終評価点を決定します。

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-6）、パフォーマンス・レベルD

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)演習レポート；（卒業コンピテンシー V-1, 2, 3）、パフォーマンス・レベルD/E

演習では、どのレベルまで自ら問題点を発掘し、かつそれに答えるべく努力をしたかをレポート、リフレクション・シートから判定し、演習評価の主なポイントとする。

(3)講義および演習態度；（卒業コンピテンシー I-1, 6）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、演習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

[フィードバック]

- ・小テスト後に解答および解説を示す。
- ・レポートや課題についての解説を行う。
- ・レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・定期試験結果についてはオフィスアワーにおいて各自にフィードバックし、個人の理解度に応じた学習指導を行う。
- ・定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。
- ・本科目について作成したe-learningを学習する。

[教科書]

ハンドアウトをiPadの資料配信システム上に配布します。
eラーニング、eポートフォリオシステムを活用します。

【使用する教室】

大学2号館12階IT学習室

【コーディネーター】

鈴木 茂孝 教授（コンピュータ情報処理学）

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・コンピュータ情報処理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鈴木 茂孝 教授	月曜・火曜・木曜	13:00～18:00	大学2号館12階1203

<医療科学部・医療経営情報学科 医療情報学>

担当者名	曜日	時間	場所
堀場 文彰 講師	火曜・木曜	12:00～17:00	大学2号館12階1204

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20、17:10～	大学2号館8階807

【授業日程】

<情報処理の基礎>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/10(水)5限	ガイダンス	鈴木 茂孝 堀場 文彰 若月 徹	● 本学のICT学修環境を把握し、活用できる。 大学の電子メールを使ったレポートの提出ができる。eラーニングシステムの活用ができる。個人の端末にOffice365を導入し、利用できる。クラウドストレージが利用できる。	1201IT 学習室
1	04/17(水)5限	講義	鈴木 茂孝 堀場 文彰 若月 徹	A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 医学における情報処理の役割が説明できる。 ● 学内外のICTを活用した学修サービスが利用できる（LMS,ポートフォリオなど）。 ● アカウント、パスワードの重要性を理解し管理できる。	1201IT 学習室
2	04/17(水)6限	講義	鈴木 茂孝 堀場 文彰 若月 徹	A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● クラウドストレージを安全に利用できる。 ● インターネットを安全に活用できる。 ● VPN接続を理解し設定できる。 ● レポートを作成し、書類をクラウドに保管できる。	1201IT 学習室
3	04/24(水)5限	講義			
4	04/24(水)6限	講義	鈴木 茂孝 堀場 文彰 若月 徹	B-1-1) 統計の基礎 ○ データの記述と要約（記述統計を含む）ができる。 ● 目的に合ったデータ収集、集計処理が行え、結果をグラフ、図案化し考案できる。 ● 散布図を描き回帰式、相関と寄与率について説明できる。 ● 簡単な関数を用い、基本統計量を求めることができる。	1201IT 学習室
5	05/08(水)5限	講義			
6	05/08(水)6限	講義	鈴木 茂孝 堀場 文彰 若月 徹	A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	1201IT 学習室

7	05/15(水)5限	講義		<ul style="list-style-type: none"> ●データの2次活用ができる(ピボットテーブル)。 ●条件式に論理積、論理和を適用した集計ができる。 ●簡易なデータベース機能が活用できる。 ●複数の大量なデータを集計し、結論を導き出すことができる。 	
8	05/15(水)6限	講義	鈴木 茂孝 堀場 文彰 若月 徹	<p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●情報量の単位を理解し、進数変換ができる。 ●基本的な論理演算ができる。 ●集計処理した表、グラフを用いてプレゼンテーション資料を作成することができる。 	1201IT 学習室
9	05/22(水)5限	講義			
10	05/22(水)6限	講義	鈴木 茂孝 若月 徹	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログとデジタルの特性を説明できる。 ●デジタル化に際しての標準化頻度、量子化、誤差、標準化の定理について説明できる。 ●周波数成分分析(FFT)を実際に行うことができる。 	1201IT 学習室
11	05/29(水)5限	講義	鈴木 茂孝 堀場 文彰 若月 徹	<p>F-3-3) 診療録(カルテ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プライバシー保護とセキュリティに充分配慮できる。 ●マルウェアの種類と動作について理解し、説明できる。 ●マルウェア疑似体験を通じて脅威を知り、対策を実践できる。 ●ローカルエリアネットワーク(LAN)と無線LANのセキュリティについて説明できる。 	1201IT 学習室
12	06/05(水)5限	講義			
13	06/12(水)5限	講義	鈴木 茂孝 堀場 文彰 若月 徹	<p>A-3-1) 全人的実践的能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○診療録(カルテ)についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。 ●情報管理の原則(情報開示、プライバシー保護、取り扱い倫理、セキュリティ)を説明できる。 ●日本における社会保障制度の概略を理解する。 ●診療情報の電子化と管理について説明できる。 ●医療情報システムの歴史について概説できる。 ●電子カルテの基本を理解し長短所を説明できる。 ●医療情報のコード化、規格について説明できる。 	1201IT 学習室
14	06/19(水)5限	講義			
15	06/26(水)5限	講義	鈴木 茂孝 堀場 文彰 若月 徹	<p>F-3-3) 診療録(カルテ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プライバシー保護とセキュリティに充分配慮できる。 ●個人情報の漏えい、著作権の侵害について説明できる。 ●個人情報、著作権について理解する。 ●個人情報の漏えいについてインシデント事例をあげ対応策を説明できる。 	1201IT 学習室
16	07/03(水)5限	講義	鈴木 茂孝 若月 徹	<ul style="list-style-type: none"> ●論理的な思考を組み立てることができる。 ●結果を得るための過程をフローチャートで表現できる。 ●思考を図案化し整理することができる。 	1201IT 学習室

読書ゼミナール

【教育目標】

日本語を母国語とする私たちは、思考に用いる言語として日本語を使うことをごく当然のことのように考えている。しかし考え方を変えれば、私たちは外国語の授業時間以外は生まれて以降絶えず日本語のトレーニングをしてきたのであり、現在も日々の生活の中でそれを実践していることになる。そのような状況でも、例えば英語を得意とする人と不得意とする人がいるのと同様、トレーニングの違いから日本語の得意な人、不得意な人がいるのは当然のことかもしれない。

この「読書ゼミナール」の授業の目的は、「医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な基礎的思考能力の涵養と言語による表現力を啓発する」ことにある。医療の世界には広くインフォームド・コンセントが浸透しており、医療従事者には、患者さんや御家族の心情を汲み取った上で適切かつ的確に、かつ曖昧さを極力排して、言葉や文章によって説明できるという能力が強く求められている。このような時代に対応し、学生諸君の思考の基本となる日本語の力が更に錬磨されることを期待して、この「読書ゼミナール」がカリキュラムに加えられている。講師と一緒にテキストを読み、内容の要旨や論点を把握し、討論や文章作成等の過程を通じて、医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な基礎的思考能力を高めてもらいたい。

【学修目標】

感情や事象の言語による表現に関心を持つようになる。
文章の要点の把握が出来るようになる。
自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現できるようになる。
論理的かつ明晰な文章を作る努力を厭わない持久力を身につける。
課題を決められた様式に従って文書または口頭で発表できる。
医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。
テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。
討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業形態】

- ・各グループ当りの学生数：約8名（全体で17グループ）
- ・テキストの選択
担当教員と使用するテキストのリストが担当教員の項に示されている。それを基に学生自身がそれぞれの担当教員に登録する。
- ・登録者数が不均一の場合は、各グループ間で人数の過不足が無いように調整を行う。テキストを早く読了してしまった場合は新しいテキストを担当教員と学生とで決めることがある。そのグループの構成メンバーを再度他の班に割り振ることはしない。
- ・医学部入学後、初めて体験する少人数形式の授業となる。

【準備学習（予習・復習等）】

必要に応じて予習課題を出すことがある。それぞれ数十分程度。担当者の指示に従うこと。

【評価】

演習および演習態度；（卒業コンピテンシー I -4, 5、V-1、パフォーマンス・レベルC・ V-3、パフォーマンス・レベルD）

評価は14コマ全部終了した時点で実施する。

どの程度テキストを理解したか、議論に積極的に参加したか、文章作成が的確であったか等を担当教員が総合的に判定する。段階評価による点数制であるため、消極的な議論参加では減点となる。点数の計算法は担当教員に配付してあるが、担当教員が学生の評価に用いる主な項目は以下のとおりである。

- 1) 周到に準備したか？
- 2) テキストの内容を正確に把握したか？
- 3) ストーリーを的確に説明したか？
- 4) ポイントをつく発言をしたか？
- 5) 積極的に討論へ参加したか？
- 6) 人の意見をうのみにせず吟味したか？
- 7) 討論を上手にまとめたか？

- 8) 感想やまとめを文章化したか？
- 9) 文章による表現が的確であったか？

【フィードバック】

- ・問題があればオフィスアワーにおいて対応する。

【注意事項】

この“読書ゼミナール”は実習扱いとする。欠席した場合には速やかに担当教員に申し出て指示を受けること。

【教科書】

- ・前半7コマ 1時間目

大熊真人『単細胞にも意地がある』椎名誠(集英社文庫)
 一瀬千穂『未来の年表 人口減少日本でこれから起きること』河合雅司(講談社現代新書)
 角川裕造『単純な脳、複雑な「私」』池谷裕二(講談社ブルーバックス)
 守口匡子『病気はどこで生まれるのか〜進化医学でさぐる病気のしくみ』井ノ上逸朗(技術評論社)
 吉田友昭『あるがままに自閉症です』東田直樹((株) エスコアール出版部)
 中島昭『進化しすぎた脳—中高生と語る大脳生理学の最前線—』池谷裕二(講談社ブルーバックス)
 若月徹『天声人語2018年7月—12月』朝日新聞論説委員室(朝日新聞出版)
 深澤元晶『ゲノム編集を問う—作物からヒトまで』石井哲也(岩波書店)
 塚本健太郎『「感染症パニック」を防げ!〜リスク・コミュニケーション入門』岩田健太郎(光文社新書)

- ・前半7コマ2時間目

鈴木茂孝『AI vs 教科書が読めない子どもたち』新井紀子(東洋経済新報社)
 飯塚成志『未来いそっぶ』星新一(新潮文庫)
 近藤一直『狭き門』ジッド(新潮文庫)
 石嶺久子『本物の思考力』出口治明(小学館新書)
 齊藤成『新 細胞を読む』山科正平(講談社ブルーバックス)
 古澤彰浩『「科学的思考」のレッスン 学校では教えてくれないサイエンス』戸田山和久(NHK出版新書)
 鏡裕行『四色問題 どう解かれ何をもちたのか』一松信(講談社ブルーバックス)
 佐藤芳『はじめて学ぶ生命倫理「いのち」は誰が決めるのか』小林亜津子(ちくまプリマー新書)

- ・後半7コマ1時間目

一瀬千穂『ドキュメント生還 山岳遭難からの救出』羽根田治(ヤマケイ文庫)
 吉田友昭『小泉八雲集』小泉八雲(上田和夫訳)(新潮文庫)
 守口匡子 前半7コマと同一テキスト使用
 鏡裕行 前半7コマと同一テキスト使用
 若月徹 前半7コマと同一テキスト使用
 佐藤芳 前半7コマと同一テキスト使用
 濱嶋誠『ソクラテスの弁明』プラトン(久保勉訳)(岩波文庫)
 平田ゆかり『海馬 脳は疲れない』池谷裕二、糸井重里(新潮文庫)
 大熊真人 前半7コマと同一テキスト使用

- ・後半7コマ2時間目

八代耕児『国家と教養』藤原正彦(新潮文庫)
 近藤一直『にんじん』ルナール(新潮文庫)
 太田充彦『かもめのジョナサン 完成版』リチャード・バック(五木寛之訳)(新潮文庫)
 秦龍二『人を動かす』D・カーネギー(山口博訳)(創元社文庫版)
 日高聡『がん治療革命の衝撃—プレジジョン・メディシンとは何か』NHKスペシャル取材班(NHK出版新書)
 林孝典『嫌われる勇気—自己啓発の源流「アドラー」の教え』岸見一郎、古賀史健(ダイヤモンド社)
 飯塚成志 前半7コマと同一テキスト使用
 古澤彰浩 前半7コマと同一テキスト使用

【使用する教室】

大学2号館13階SGL室など

【コーディネーター】

一瀬 千穂 准教授(薬理学)

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館 7階706
角川 裕造 教授	月曜～金曜	16:00～18:30	大学2号館7階703
守口 匡子 講師	月曜～金曜	9:00～19:00	大学2号館7階703

<医学部・化学>

担当者名	曜日	時間	場所
八代 耕児 准教授	月曜～金曜	16:00～18:00	大学2号館8階803,805

<医学部・生理化学>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 昭 教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	大学2号館 8階803

<医学部・物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
古澤 彰浩 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (火、水、木、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903

<医学部・数学>

担当者名	曜日	時間	場所
鏡 裕行 准教授	火曜	12:30～13:15	大学2号館9階906

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 17:10～	大学2号館8階807

<医学部・倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 芳 教授	火曜、水曜、金曜	16:00～18:00	大学2号館8階806

<医学部・コンピュータ情報処理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鈴木 茂孝 教授	月曜・火曜・木曜	13:00～18:00	大学2号館12階1203

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 教授	月曜～木曜	12:40～13:10	大学2号館9階907

<医学部・解剖学Ⅰ>

担当者名	曜日	時間	場所
秦 龍二 教授	月曜、火曜、水曜	13:00～14:00	大学1号館8階815

<医学部・解剖学Ⅱ>

担当者名	曜日	時間	場所
齊藤 成 講師	月曜/火曜	17:20～18:30	大学1号館8階806
石嶺 久子 助教	月曜～金曜（前期） 月曜/火曜（後期）	12:30～13:20, 16:00～17:00（前期） 17:20～18:30（後期）	大学1号館8階806
深澤 元晶 講師	月曜/火曜	17:20～18:30	大学1号館8階806

<医学部・生理学Ⅱ>

担当者名	曜日	時間	場所
大熊 真人 講師	随時：時間指定の場合は m-ohkuma@fujita-hu.ac.jpに連絡	随時：時間指定の場合は m-ohkuma@fujita-hu.ac.jpに連絡	大学1号館6階604
日高 聡 講師	平日，水曜以外	16:00から	大学1号館6階604

<医学部・生化学>

担当者名	曜日	時間	場所
林 孝典 講師	月曜～木曜	12:30～13:20 17:00～19:00	大学1号館6階605

<医学部・薬理学>

担当者名	曜日	時間	場所
近藤 一直 教授	月曜～金曜	12:30～13:20	大学1号館5階505
一瀬 千穂 准教授	火曜～木曜	16:00～18:00	大学1号館5階504

<医学部・微生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
塚本 健太郎 講師	月曜～金曜	17:00～18:00	大学1号館8階809

<医学部・公衆衛生学>

担当者名	曜日	時間	場所
太田 充彦 准教授	火曜・木曜	9:00～17:00	公衆衛生学講座（大学1号館4階405）

<医学部・法医学>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

平田 ゆかり	助教	水曜以外	10:00~17:00	医学部 1号館地下 2階205
濱島 誠	助教	火曜・金曜	16:00~18:00	大学 1号館地下 2階207

【授業日程】

<読書ゼミナール>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/15(月)1 / 2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齋藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室
2	04/22(月)1 / 2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齋藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室
3	05/13(月)1 / 2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齋藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室
4	05/20(月)1 / 2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室

			佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	る。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1307SGL室 1308SGL室
5	05/27(月)1 / 2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室
6	06/03(月)1 / 2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室
7	06/10(月)1 / 2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室
8	06/17(月)1 / 2限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 飯塚 成志	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室

			<p>秦 龍二 大熊 真人 日高 聡 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 太田 充彦 平田 ゆかり 濱島 誠</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる 	<p>1307SGL室 1308SGL室</p>
9	06/24(月)1 / 2限	実習	<p>吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 日高 聡 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 太田 充彦 平田 ゆかり 濱島 誠</p>	<p>読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	<p>1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室</p>
10	07/01(月)1 / 2限	実習	<p>吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 日高 聡 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 太田 充彦 平田 ゆかり 濱島 誠</p>	<p>読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	<p>1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室</p>
11	07/08(月)1 / 2限	実習	<p>吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 日高 聡 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 太田 充彦 平田 ゆかり 濱島 誠</p>	<p>読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	<p>1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室</p>
12	07/22(月)1 / 2限	実習	<p>吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二</p>	<p>読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 	<p>1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室</p>

			大熊 真人 日高 聡 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 太田 充彦 平田 ゆかり 濱島 誠	● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	
13	07/25(木)3 / 4限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 日高 聡 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 太田 充彦 平田 ゆかり 濱島 誠	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室
14	07/29(月)1 / 2限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 日高 聡 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 太田 充彦 平田 ゆかり 濱島 誠	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 1301SGL室 1302SGL室 1303SGL室 1304SGL室 1305SGL室 1306SGL室 1307SGL室 1308SGL室

人の行動と心理 I

【教育目標】

医師が患者とコミュニケーションを取っていく際、患者の思いを理解していくことが大切になる。医療的な知識やスキルが有効に作用する時、そのベースに「理解されている」という安心感や信頼感に支えられた医師－患者関係があることは言うまでもない。そして、患者の思いを理解していこうとする場合、人の心の動きについての知識が求められることとなる。

本講義は大きく二部構成になっている。第一部は、心理学の基本的な知識について学んでいく。心理学では「人の行動の背景にはどのような心のメカニズムがあるのか」というテーマについて、実証的なデータが蓄積されてきた。第一部ではこのテーマについて、心の捉え方の歴史、心の発達過程、個人差、社会的関係など多様な観点から概説していく。

第二部では、医療現場で求められるコミュニケーションについて、より具体的に学んでいく。まずはコミュニケーションの概念と技法を概観することから始まり、医師－患者関係の他、チーム医療で求められることについても触れていく。

【学修目標】

心理学の基礎的な知識について学ぶ。
 医師－患者関係の特徴について理解する。
 良好な医師－患者関係を実現するコミュニケーションスキルについて学ぶ。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

講義で学んだところは、配布資料を読み返したり、引用文献に目を通したりをすることで理解を深めること。約10～20分程度を目安とする。分からないところは自身で調べるか、講義後の時間を使って質問すること。

【 評 価 】

知識；（卒業コンピテンシー I -1,4, II -1,3, IV-3）、パフォーマンスレベルD
 知識量および理解度の両面を問う定期試験に加え、講義の出席状況、態度をもとに総合的に判定する。

【フィードバック】

- ・定期試験終了後、解答および解説を告知する。
- ・定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。
- ・定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

【教科書】

特になし

【推薦参考書】

講義の際に随時紹介する。

【使用する教室】

大学2号館1001講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医療コミュニケーション>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

藤江 里衣子 講師	火曜	12:30~13:20	大学2号館10階1005
-----------	----	-------------	--------------

【授業日程】

<人の行動と心理 I >

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/11(木)5限	講義	藤江 里衣子	人の行動と心理を学ぶ視点 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●人の行動や心理を理解するための視点を概観する。	1001講義室
2	04/18(木)5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論1 (社会心理学) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●対人関係の形成や集団が人の行動に与える影響など、社会的な関係という視点から人の行動や心理を学ぶ。	1001講義室
3	04/25(木)5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論2 (発達心理学) C-5-5) 生涯発達 ○ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題を概説できる。 ●人が人生において直面するテーマや成長のプロセス等、発達という視点から人の行動と心理を学ぶ。	1001講義室
4	05/09(木)5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論3 (動機づけ) C-5-3) 動機づけ ○生理的動機 (個体保存、種族保存)、内発的動機 (活動、感性、好奇、操作等) 及び社会的動機 (達成、親和、愛着、支配等) を概説できる。 ○動機づけを例示できる。 ●行動を生起させる要因やモチベーションに関連する要因など、動機づけという視点から人の行動や心理を学ぶ。	1001講義室
5	05/16(木)5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論4 (学習) C-5-1) 人の行動 ○行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。 ●行動が習慣付く時や新しい行動を獲得する時のメカニズムなど、学習という視点から人の行動と心理を学ぶ。	1001講義室
6	05/23(木)5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論5 (認知心理学) C-5-1) 人の行動 ○行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。 ●人が記憶し、推論し、意思決定をする際に生じるメカニズムなど、認知という視点から人の行動と心理を学ぶ。	1001講義室
7	05/30(木)5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論6 (個人差) C-5-6) 個人差 ○パーソナリティの類型と特性を概説できる。 ○パーソナリティの形成を概説できる。 ●パーソナリティなど、人の行動や心理の背景にある個人差について学ぶ。	1001講義室
8	06/06(木)5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論7 (臨床心理学) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●心の問題を解釈する視点やそれに対する治療など、人の行動や心理への治療的アプローチについて学ぶ。	1001講義室
9	06/13(木)5限	講義	藤江 里衣子	コミュニケーションの概要 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能 (言語的と非言語的) を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション ○効果的な対人コミュニケーションを説明できる。 ●コミュニケーションの構成要素やその種類を理解することにより、医師—患者関係の基礎を学ぶ。	1001講義室
10	06/20(木)5限	講義	藤江 里衣子	コミュニケーションの技法 A-4-1) コミュニケーション	1001講義室

				<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 <p>C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。 ●コミュニケーションの具体的技法を理解することにより、医師—患者関係の基礎となるスキルを学ぶ。 	
11	06/27(木)5限	講義	藤江 里衣子	<p>医師文化と患者の心理</p> <p>A-1-2) 患者中心の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 <p>A-4-2) 患者と医師の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ●医師の世界や医師文化、患者の世界や心理について理解することで、医師—患者関係で留意すべき点について学ぶ。 	1001講義室
12	07/04(木)5限	講義	藤江 里衣子	<p>医師—患者関係</p> <p>A-4-2) 患者と医師の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 ○患者のプライバシーに配慮できる。 ●医師と患者の良好な関係やその意義を学ぶことで、医師—患者関係において求められる基礎を理解する。 	1001講義室
13	07/11(木)5限	講義	藤江 里衣子	<p>医療現場で求められるコミュニケーション</p> <p>A-4-2) 患者と医師の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ○医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム医療の意義を説明できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 ●医療現場で求められるコミュニケーションの具体例を学ぶことにより、医療コミュニケーションについての理解を深める。 	1001講義室
14	07/18(木)5限	講義	藤江 里衣子	<p>医師の心のセルフケア</p> <p>A-6-3) 医療従事者の健康と安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。 <p>C-5-4) ストレス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人生、日常生活や仕事におけるストレスとその健康への影響を例示できる。 ○ストレス対処法を概説できる。 ●医療現場で陥りやすい心理状態や、それへの対応を理解することで、医師の心のセルフケアを学ぶ。 	1001講義室

医学教育入門

【教育目標】

学問や科学技術の進歩と社会の変化に対応した生涯学習者としての態度を理解することを目標とします。生涯学習とは、学校において行われる学習のみならず、地域・社会で行われている学習をも含んだ包括的な概念です。科学技術の発展に伴い、医学の情報量も飛躍的に増加しています。医学部在学中に学んだ知識を基にして、卒業後も積極的に自己学習を行う必要があります。大学における学習方法は高校までの学習方法とは異なること、大学卒業後も自分で発見した課題を自己学習によって解決するための能力が必要とされることを理解する必要があります。

【学修目標】

医学教育の仕組みを理解することができる。
自分の将来像を見据えてキャリア・デザインを考えることができる。
レポートの書き方、文献検索方法など、大学生にとり不可欠な学習方法を実践できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

疑問に思ったことは質問し、分からないまま放置しないこと。また、事前課題が出された場合は、15分程度を目安に取り組むこと。講義中の指示をしっかりと聞き守ること。

【評価】

（卒業コンピテンシ I-5、Ⅲ-1、V-1, 2, 3）、パフォーマンス・レベルD
レポートとポートフォリオを評価する。

【フィードバック】

ポートフォリオとレポートについて、評価して返却する。

【教科書】

なし

【推薦参考書】

なし

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室、12階IT学習室、8階809・810講義室、6階602講義室

【実習場所】

大学2号館8階809・810講義室

【コーディネーター】

中島 昭 教授（生理化学）

[担当教員・オフィスアワー]

<大学・図書情報課>

担当者名	曜日	時間	場所
湯川 望 兼任講師		※講義終了後に対応	
中島 志保 兼任講師		※講義終了後に対応	
奥澤 喜代 兼任講師		※講義終了後に対応	

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
角川 裕造 教授	月曜～金曜	16:00～18:30	大学2号館7階703

<医学部・生理化学>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 昭 教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	大学2号館8階803

<医学部・物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鴨下 淳一 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (水、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 17:10～	大学2号館8階807

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
石原 慎 教授	月曜・水曜・金曜	部屋前に掲示	大学2号館10階1006
飯塚 成志 教授	月曜～木曜	12:40～13:10	大学2号館9階907

<医学部・臨床総合医学>

担当者名	曜日	時間	場所
大槻 真嗣 教授	水曜	12:30～13:20, 16:40～18:00	大学2号館10階1007

<医学部・生化学>

担当者名	曜日	時間	場所
林 孝典 講師	月曜～木曜	12:30～13:20 17:00～19:00	大学1号館6階605

<医学部・薬理学>

担当者名	曜日	時間	場所
近藤 一直 教授	月曜～金曜	12:30～13:20	大学1号館5階505

<医学部・小児科学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉川 哲史 教授	月曜～金曜	9:00～17:00	小児科学医局（医局秘書に取次ぎを依頼すること）

<医学部・腎泌尿器外科学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐々木 ひと美 教授	月曜～土曜	9:30～17:00	C-12 泌尿器科医局、又は講義終了後（応）

<医学部・耳鼻咽喉科学 I >

担当者名	曜日	時間	場所
岩田 義弘 講師	木曜	15:00～17:00	スタッフ館 II 5階 耳鼻科医局

<医学部・医学教育企画室>

担当者名	曜日	時間	場所
後藤 和恵 看護長	月曜～金曜	10:00～15:00	大学2号館14階1402

[授業日程]

<医学教育入門A>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/08(月)1限	講義	中島 昭	カリキュラム概論 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考に編成されていることを説明できる。	1001講義室
2	04/08(月)4限	講義	佐々木 ひと美	女性医師のキャリアデザイン A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
3	04/11(木)3限	講義	角川 裕造 中島 昭	基礎医学展望：生物学と生理学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● 生理学を理解するために生物学の知識が必要であることを説明できる。 ● 基礎医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	1001講義室
4	04/15(月)4限	講義	石原 慎	臨床医としての道 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
5	04/19(金)6限	講義	近藤 一直	研究者としての道 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 ○ 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行わ	1001講義室

				れるべきことを説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	
6	04/22(月)4限	講義	吉川 哲史	研修医の生活 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
7	04/26(金)6限	講義	鴨下 淳一 岩田 義弘	臨床医学展望：物理学と耳鼻咽喉科学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● 耳鼻咽喉科学を理解するために物理学の知識が必要であることを説明できる。 ● 臨床医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	1001講義室
8	04/27(土)1限	講義	中島 昭	第30回日本医学会総会出席	
9	05/31(金)3限	講義	若月 徹 飯塚 成志 大槻 眞嗣 林 孝典	PBLの説明と実践(1) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● 藤田式PBLを理解できる。 ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。	602講義室
10	06/07(金)5限	講義	中島 昭 石原 慎 後藤 和恵	座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● OSCEとCBTの目的を説明できる。 ● 知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。	1201IT学習室
11	06/07(金)6限	講義	中島 昭 石原 慎 後藤 和恵	座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● OSCEとCBTの目的を説明できる。 ● 知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。	809講義室 810講義室
12	06/14(金)1限	講義	湯川 望 中島 志保 奥澤 喜代	図書館の利用と文献検索方法 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● 国内外の教科書・論文を検索して収集することができる。	1201IT学習室
13	06/14(金)3限	講義	若月 徹 飯塚 成志 大槻 眞嗣 林 孝典	PBLの説明と実践(2) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ● 藤田式PBLを理解できる。	602講義室
14	06/28(金)2限	講義	中島 昭 後藤 和恵	グループワーク：キャリア・デザインの構築 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師のキャリアを説明できる。	809講義室 810講義室
15	06/28(金)3限	講義	中島 昭 後藤 和恵	グループワーク：キャリア・デザインの構築 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師のキャリアを説明できる。	809講義室 810講義室

<医学教育入門B>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
-----	----	----	------	------	------

1	04/08(月)1限	講義	中島 昭	カリキュラム概論 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考に編成されていることを説明できる。	1001講義室
2	04/08(月)4限	講義	佐々木 ひと美	女性医師のキャリアデザイン A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
3	04/11(木)3限	講義	角川 裕造 中島 昭	基礎医学展望：生物学と生理学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● 生理学を理解するために生物学の知識が必要であることを説明できる。 ● 基礎医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	1001講義室
4	04/15(月)4限	講義	石原 慎	臨床医としての道 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
5	04/19(金)6限	講義	近藤 一直	研究者としての道 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 ○ 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
6	04/22(月)4限	講義	吉川 哲史	研修医の生活 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
7	04/26(金)6限	講義	鴨下 淳一 岩田 義弘	臨床医学展望：物理学と耳鼻咽喉科学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● 耳鼻咽喉科学を理解するために物理学の知識が必要であることを説明できる。 ● 臨床医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	1001講義室
8	04/27(土)1限	講義	中島 昭	第30回日本医学会総会出席	
9	05/10(金)3限	講義	若月 徹 飯塚 成志 大槻 眞嗣 林 孝典	PBLの説明と実践(1) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ● 藤田式PBLを理解できる。	602講義室
10	05/24(金)1限	講義	若月 徹 飯塚 成志 大槻 眞嗣 林 孝典	PBLの説明と実践(2) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ● 藤田式PBLを理解できる。	602講義室
11	05/24(金)2限	講義	中島 昭 石原 慎 後藤 和恵	座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● OSCEとCBTの目的を説明できる。 ● 知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評	1201IT学習室

				価されることを説明できる。	
12	05/24(金)3 限	講義	中島 昭 石原 慎 後藤 和恵	座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● OSCEとCBTの目的を説明できる。 ● 知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。	809講義室 810講義室
13	06/07(金)1 限	講義	湯川 望 中島 志保 奥澤 喜代	図書館の利用と文献検索方法 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 ● 国内外の教科書・論文を検索して収集することができる。	1201IT学習室
14	06/21(金)2 限	講義	中島 昭 後藤 和恵	グループワーク：キャリア・デザインの構築 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師のキャリアを説明できる。	809講義室 810講義室
15	06/21(金)3 限	講義	中島 昭 後藤 和恵	グループワーク：キャリア・デザインの構築 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師のキャリアを説明できる。	809講義室 810講義室

生老病死の人間学

【教育目標】

現代日本における、さまざまな医学・医療のあり方について考える。とくに「生」「老」「病」「死」の問題を把握し、それらの視点から人間の生命のあり方を学び、より充実した生とは何かを考える。

【学修目標】

1. 現代の「生」「老」「病」「死」の本質について考えることができる。
2. 不可避の「死」を自覚し、「生」を充実させること、そして他者の生命の尊さに気付き、死の危機にある人や、悲嘆のプロセスにある人を援助する力を身につけることができる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【作業形態】

「講義」を中心として各分野で著名な特別講師をお願いしてある。視聴覚教材の活用も必要に応じて行う。講義内容についての「討論・発表会」を2回設定している。小グループに分けて討論し・発表するので、そのつもりで毎回の講義を聴き、自分の意見を作っておくこと。異なった他人の意見に耳を傾け、より深い理解と意見の形成を目指す。

「レポート」はMSWordにより毎回作成し、Moodleにファイルを提出する方法とする。発信元のメールアドレスは、大学ドメインの学生各自のアドレス<学籍番号@fujita-hu.ac.jp>を用いること。送り先のMoodleは、初回時に教える。

医療検査学科2年生との合同授業である。藤田学園のアセンブリ教育、チーム医療の育成を目的としている。合同の講義の場所は、大学1号館フジタホール500であり、討論の場所は大学2号館の8、9階（中教室）等である。

【準備学習（予習・復習等）】

シラバスを見てテーマについて予習する。討論会に備えて復習する。それぞれ約30分を目安とする。

【評価】

レポート（MSWordによる）と、授業への出席状況・態度などを総合的に評価して評価し、成績に応じて再試験を行う。（卒業コンピテンシー I-1～7、II-1～3、III-1～3、V-1、VII-2）、パフォーマンスレベルD

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ 実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

【教科書】

随時資料配布

【推薦参考書】

随時指示する

【使用する教室】

フジタホール500、生涯教育研修センター8階、9階、12階中教室

【コーディネーター】

佐藤 芳 教授（倫理学）

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 芳 教授	火曜、水曜、金曜	16:00～18:00	大学2号館8階806

<医療科学部・臨床検査学科 臨床病態解析学>

担当者名	曜日	時間	場所
大江 瑞恵 准教授	月曜～金曜	12:30～13:00	大学3号館3階304

<医学部・外科・緩和医療学>

担当者名	曜日	時間	場所
東口 高志 教授	火曜	10:20～11:30、11:40～12:50	スタッフ館Ⅱ7階 外科・緩和医療学

<医学部・移植・再生医学>

担当者名	曜日	時間	場所
剣持 敬 教授	月曜	13:00～17:00	C棟12階 移植・再生医学医局

<医学部・臨床薬剤科>

担当者名	曜日	時間	場所
山田 成樹 教授	月曜	16:00～17:00	病院薬剤部

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
大谷 貴子 客員教授		※講義終了後に対応	
内海 眞 客員教授		※講義終了後に対応	
長谷川 ふき子 客員教授		※講義終了後に対応	
丹羽 咲江 客員准教授		※講義終了後に対応	
小菅 もと子 客員講師		※講義終了後に対応	
萬屋 育子 客員講師		※講義終了後に対応	
三浦 久幸 客員教授		※講義終了後に対応	
永田 雅子 客員教授		※講義終了後に対応	

<学校法人 藤田学園>

担当者名	曜日	時間	場所
湯浅 康弘 客員教授		※講義終了後に対応	

<医療科学部・臨床検査学科 形態・細胞機能解析学>

担当者名	曜日	時間	場所
塩竈 和也 講師	水曜	12:10~13:00	大学3号館3階308

<保健衛生学部・看護学科 総合生命科学>

担当者名	曜日	時間	場所
朝居 朋子 准教授	月曜	11:00~13:00	大学3号館6階638
	火曜	11:00~13:00	大学3号館6階638
	金曜	11:00~13:00	大学3号館6階638

<治験・臨床研究支援センター>

担当者名	曜日	時間	場所
脇之園 真理 助手		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<生老病死の人間学>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/09(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵	倫理学教授 「生老病死の人間学」ガイダンス A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○ 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 F-2-16) 緩和ケア ○ 死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。	フジタホール500
2	04/16(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 大谷 貴子	全国骨髄バンク推進連絡協議会会長 「元白血病患者から見た医療者への期待」 A-1-2) 患者中心の視点 ○ 患者の自己決定権の意義を説明できる。 A-4-2) 患者と医師の関係 ○ 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。	フジタホール500
3	04/23(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 東口 高志	外科・緩和医療学教授 「末期癌患者さんの日々から学ぶこと」 ● 緩和ケア（緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む）を概説できる。 ● 全人的苦痛を説明できる。	フジタホール500
4	05/07(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 小菅 もと子	傾聴ボランティア「とよあけ」代表 「認知症（老年・若年）と付き合う方法」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○ 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○ 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	フジタホール500
5	05/14(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 内海 眞	愛知県地域医療支援センター長 「世界と日本のエイズ事情」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○ 患者のプライバシーに配慮できる。	フジタホール500

				○患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	
6	05/21(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 三浦 久幸	国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長 「地域連携とアドバンス・ケア・プランニング」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者の要望(診察・転医・紹介)への対処の仕方を説明できる。 ○患者のプライバシーに配慮できる。	フジタホール500
7	05/28(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 永田 雅子	名古屋大学 心の発達支援研究実践センター 教授 「周産期のこころのケア」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 ○患者のプライバシーに配慮できる。 ●新生児集中治療室でのハイリスク児とその家族への心理支援を理解できる。	フジタホール500
8	06/04(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 塩竈 和也 朝居 朋子 脇之園 真理	討論・発表会① A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ○課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。	809講義室 810講義室 901講義室 909講義室 1001講義室 1205講義室
9	06/18(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 萬屋 育子	子どもの虐待防止ネットワークあいち(CAPNA)代表 「子どもを虐待から守る」 A-4-1) コミュニケーション ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者のプライバシーに配慮できる。	フジタホール500
10	06/25(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 長谷川 ふき子	弁護士 「医療訴訟に弁護士としてかかわって」 A-1-3) 医師としての責務と裁量権 ○医師の法的義務を列挙し、例示できる。 A-6-2) 医療上の事故等への対処と予防 ○医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。	フジタホール500
11	07/02(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 山田 成樹	薬剤部部長、臨床薬剤科教授 「薬害と治験」 E-9-1) 生物的死と社会的死 ○新薬開発の必要性を理解できる。 ●人間に対する薬の実験的投与の条件を整理できる。	フジタホール2000
12	07/09(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 剣持 敬	移植・再生医学教授 「移植医療の現状と課題」 ●移植医療の必要性と課題を説明できる。	フジタホール2000
13	07/16(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 湯浅 康弘	愛知県筋ジストロフィー協会理事 「遺伝病 筋ジストロフィーの患者家族」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ○患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	フジタホール2000
14	07/23(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 丹羽 咲江	咲江レディースクリニック院長 愛知・思春期研究会会長 「愛、性、避妊、中絶」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ○患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	フジタホール2000
15	07/30(火)5限	講義	佐藤 芳 大江 瑞恵 塩竈 和也 朝居 朋子 脇之園 真理	討論・発表会② A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ○課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。	809講義室 810講義室 901講義室 909講義室 1001講義室

生命倫理学

【教育目標】

倫理学とは「人倫の理法」の省略形であり、人倫とは「人のみち」の意味である。ギリシャ語ではエトス（慣習）の学であり、生活の規則を対象とする学問である。そして生命倫理学は、人間の生命に関する慣習を扱う。ただし、現在ではこの生命に関する価値観は、医療の高度化にともない再考を迫られている。それゆえ現在の倫理観だけでなく、将来の倫理観を考察するのも、生命倫理学の目的でもある。

授業では、生命に関する倫理観を、さまざまな角度から考察する。そして、医療に携わる人間が持つべき基本的な思考方法を身につけてもらう。そのために、この授業では、たんに講義を聴くだけでなく、自ら考える姿勢を育てるために、グループワークを取り入れている。

授業は、大きく3つのテーマに分けられる。生殖補助医療の倫理学、人工妊娠中絶の倫理学、移植医療の倫理学である。各テーマは、講義・視覚教材・討論発表を基本ユニットとする。討論発表では、コアケースを用意するので、それをもとにグループでケースを想像し発展させ、発表してもらう。コアケースを発展させるために、調べて、理由づけを深めてもらう。

また、移植医療のテーマを看護専門学校との合同授業とする予定である。その機会に、異なった視点からの意見に耳を傾ける傾聴的態度を養うこと、また、将来、同僚となる看護師とのチーム医療の原型を体験することを目的としている。また、臨床で働くコメディカル（看護師、移植コーディネーター、臨床研究センター）から話を聞く場も設けているので、より専門的な話題を聴くことが出来る。2学年から動物実験を行うことが少なくないので動物実験にともなう動物の倫理学と、医学研究の倫理学も講義する。

【学修目標】

倫理の基本は、「相手の立場に立つこと」である。医療者は、医療者として患者に接するだけでなく、患者の立場に立って、患者と医療者との関係を「想像して」することが重要である。さらに、患者の家族の立場に身をおいて、家族から患者と医療者との関係を想像してみよう。そのように医療者以外の立場から医療者を照射することによって、医療者にとって必要な倫理観が見えてくる。

医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ。患者の基本的権利を熟知し、これらに関する現状の問題点を学ぶ。患者のために全力を尽くす医師に求められる医師の義務と裁量権に関する基本的態度、習慣、考え方と知識を身につけてもらう。将来、患者本位の医療を実践できるように、適切な説明を行った上で主体的な同意をうるために、対話能力と必要な態度、考え方を身につける、などが更なる目標である。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

予習は、各テーマについて十分に事前学習をしておくこと。復習は、配布資料を熟読すること。それぞれ30分程度を目安とする。

【評価】

（卒業コンピテンシー I-1～7、Ⅲ-1～3、V-1）、パフォーマンス・レベルD
提出物とレポート、定期試験、授業態度などで総合的に評価する。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ 実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

【教科書】

随時資料配布

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室、
9階909・910講義室、8階809・810講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 芳 教授	火曜、水曜、金曜	16:00～18:00	大学2号館8階806

<保健衛生学部・看護学科 総合生命科学>

担当者名	曜日	時間	場所
朝居 朋子 准教授	月曜	11:00～13:00	大学3号館6階638
	火曜	11:00～13:00	大学3号館6階638
	金曜	11:00～13:00	大学3号館6階638

<第1・看護内視鏡センター>

担当者名	曜日	時間	場所
渡邊 美佳 主任		※講義終了後に対応	

<治験・臨床研究支援センター>

担当者名	曜日	時間	場所
脇之園 真理 助手		※講義終了後に対応	

<保健衛生学部・看護学科 成人看護学>

担当者名	曜日	時間	場所
林 未佳子 兼任講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<生命倫理学>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/02(水)4限	講義	佐藤 芳	生命倫理学とは何か A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○ 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ○ 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ○ ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。	1001講義室
2	10/09(水)4限	講義	佐藤 芳	倫理的価値の序列・家系図 A-1-2) 患者中心の視点 ○ リスボン宣言等示された患者の基本的権利を説明できる。 ○ 患者の自己決定権の意義を説明できる。 ○ 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	1001講義室
3	10/23(水)2	講義	佐藤 芳	生殖補助医療の倫理学（講義）	1001講義室

	限			A-1-3) 医師としての責務と裁量権 ○患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 ○医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。	
4	10/30(水)2限	講義	佐藤 芳	生殖補助医療の倫理学 (ビデオ鑑賞・ワーク) A-1-2) 患者中心の視点 ○インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。	1001講義室
5	11/06(水)4限	講義	佐藤 芳	生殖補助医療の倫理学 (ケース作成) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。	1001講義室
6	11/13(水)4限	講義	佐藤 芳	人工妊娠中絶の倫理学 (講義) A-1-3) 医師としての責務と裁量権 ○医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	1001講義室
7	11/20(水)2限	講義	佐藤 芳	人工妊娠中絶の倫理学 (ビデオ鑑賞・ワーク) A-1-3) 医師としての責務と裁量権 ○患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 ○医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。	1001講義室
8	11/27(水)2限	講義	佐藤 芳	人工妊娠中絶の倫理学 (ケース作成) A-1-2) 患者中心の視点 ○患者の自己決定権の意義を説明できる。 ○選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	1001講義室
9	12/04(水)2限	講義	佐藤 芳 渡邊 美佳 林 未佳子	移植医療の倫理学 (講義) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	1001講義室
10	12/11(水)2限	講義	佐藤 芳	移植医療の倫理学 (ビデオ鑑賞・ワーク) A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	1001講義室
11	12/18(水)2限	講義	佐藤 芳 朝居 朋子 脇之園 真理	移植医療の倫理学 (ケース作成) A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○患者に分かりやすい言葉で説明できる。	909講義室 910講義室 1001講義室
12	01/08(水)2限	講義	佐藤 芳	終末期医療の倫理学 (講義) A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ○医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。	1001講義室
13	01/15(水)2限	講義	佐藤 芳	終末期医療の倫理学 (ビデオ鑑賞・ワーク) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	1001講義室
14	01/22(水)2限	講義	佐藤 芳	終末期医療の倫理学 (ケース作成) A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	1001講義室
15	01/22(水)3限	講義	佐藤 芳 脇之園 真理	動物実験の倫理、研究倫理、まとめ A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ○臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。	1001講義室

				<ul style="list-style-type: none">○ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。 <p>A-8-1) 医学研究への志向の涵養</p> <ul style="list-style-type: none">○研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 <p>B-3-1) 倫理規範と実践倫理</p> <ul style="list-style-type: none">○医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。	
--	--	--	--	---	--

プロフェッショナリズム I

【教育目標】

医師のプロフェッショナルとして必要な医療コミュニケーションには、医師－患者・家族間、医師－医師間やチーム医療としての多職種間のコミュニケーションがあります。そのような多様なコミュニケーションを良好に築くためには、まず社会の中で生きる人としての自己を確立する必要があります。そして、患者・家族、同僚、他職種とのコミュニケーションを確立する必要があります。この授業では様々なテーマの「実習」を通して医療コミュニケーションの基礎を習得します。

【学修目標】

協調性、社会性を有して行動できる。
お互いの立場を尊重して、相手から信頼される関係を築ける。
同僚と適切なコミュニケーションを実践できる。
他の医療従事者となる学生と専門職の立場から良好なコミュニケーションを実践できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

関係項目を各自30分程度予習・復習を行うこと。

【評価】

(1)記述試験（卒業コンピテンシーIII-2,3）パフォーマンスレベルD
(2)「振り返りシート」、「レポート」（卒業コンピテンシーI-1,4,5,6 II-1）、パフォーマンスレベルC
実習を振り返り感じたこと気づいたことを記載する「振り返りシート」、「レポート」の提出状況や内容を評価する。
(3)学修態度；（卒業コンピテンシーI-1,4,6 II-1）、パフォーマンスレベルC
遅刻や名札忘れがないか、医学生として常識ある受講態度であったか、実習に積極的に参加したかを評価する。

【フィードバック】

レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。

【教科書】

特になし

【推薦参考書】

「そばにいる人から喜ばれる喜び」高塚人志著（今井書店）
「いのちを慈しむヒューマン・コミュニケーション授業」高塚人志著（大修館）
「自分が好きになっていく」高塚人志著（アリス館）
「人間関係トレーニング（第2版）」津村俊充、山口真人編（ナカニシヤ出版）

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室(病院実習の出席確認時)

【実習場所】

大学2号館6階601、602、603講義室
大学3号館4階アクティブラーニング室
藤田医科大学第一教育病院

【コーディネーター】

石原 慎 教授（地域医療学）

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20、17:10～	大学2号館8階807

<医学部・倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 芳 教授	火曜、水曜、金曜	16:00～18:00	大学2号館8階806

<医学部・精神神経科学>

担当者名	曜日	時間	場所
亀井 浩行 客員講師		※講義終了後に対応	

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
半谷 眞七子 客員准教授		※講義終了後に対応	

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
石原 慎 教授	月曜・水曜・金曜	部屋前に掲示	大学2号館10階1006

<医学部・医療コミュニケーション>

担当者名	曜日	時間	場所
藤江 里衣子 講師	火曜	12:30～13:20	大学2号館10階1005

【授業日程】

<プロフェッショナルリズム I>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	09/30(月)1 / 2限	実習	若月 徹 石原 慎	ガイダンス、コミュニケーションとは、体験学習とは（体験学習）一方通行のコミュニケーション A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●コミュニケーションの意義を説明できる。 ●プロフェッショナルリズム I ガイダンス	602講義室
2	10/07(月)1 / 2限	実習	若月 徹 石原 慎	言葉によるコミュニケーション:電話によるコミュニケーション A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	602講義室

				A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ●言葉による情報伝達について説明できる。	
3	10/16(水)2 限	実習	佐藤 芳 亀井 浩行 半谷 眞七子 石原 慎 藤江 里衣子	専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	601講義室 603講義室
4	10/16(水)3 限	実習	佐藤 芳 亀井 浩行 半谷 眞七子 石原 慎 藤江 里衣子	専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	601講義室 603講義室
5	10/16(水)4 限	実習	佐藤 芳 亀井 浩行 半谷 眞七子 石原 慎 藤江 里衣子	専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	601講義室 603講義室
6	10/16(水)5 限	実習	佐藤 芳 亀井 浩行 半谷 眞七子 石原 慎 藤江 里衣子	専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	601講義室 603講義室
7	10/16(水)6 限	実習	佐藤 芳 亀井 浩行 半谷 眞七子 石原 慎 藤江 里衣子	専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	601講義室 603講義室
8	10/21(月)1 /2限	実習	若月 徹 石原 慎	自己概念:私は誰? A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●自己概念について説明できる。	602講義室
9	10/28(月)1 /2限	実習	石原 慎	臨床現場を体験する(Aグループ) ●医師の仕事を見学する。	1001講義室
10	11/11(月)1 /2限	実習	石原 慎	臨床現場を体験する(Bグループ) ●医師の仕事を見学する。	1001講義室
11	11/18(月)1 /2限	実習	若月 徹 石原 慎	傾聴:大きく力を磨く A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション ○話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。	602講義室

				● 効果的な傾聴について説明できる。	
12	11/25(月)1 / 2限	実習	若月 徹 石原 慎	<p>フィードバック:プレゼントシート</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <p>● フィードバックについて説明できる。</p>	602講義室
13	12/02(月)1 / 2限	実習	若月 徹 石原 慎	<p>価値観とコンセンサス:私に大切なもの</p> <p>A-1-2) 患者中心の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 <p>A-1-3) 医師としての責務と裁量権</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <p>● 自己や他者の価値観について説明できる。</p> <p>● コンセンサス（合意形成）について実践できる。</p>	602講義室

早期臨床体験

【教育目標】

- チーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る能力を身につける。
- 患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を身につける。
- 医師になるための動機付けを高め、チーム医療の実際を学ぶために必要な考え方や態度を身につける。

【学修目標】

病院の機能を知る。(知識) 看護部・事務局・臨床検査部・食養部・放射線部・薬剤部
 チーム医療を支える様々な医療職に触れ、チーム医療の必要性を理解し、臨床現場を見学・体験する。(知識・態度)
 医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係の確立に役立つ能力を身につける。(知識・態度)
 社会人としてのマナーを守る。(態度) 自己紹介、挨拶、時間の厳守、服装
 医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。(態度)
 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。(態度)
 患者に分かりやすい言葉で対話できる。(態度)

【概要】

卒業後、大部分が臨床医としての道を選ぶ本学医学部生に対して、入学した早期の段階より医療(臨床)の現場を体験させることを目的として行われるのが、Early Clinical Exposure(早期臨床体験)である。

学生がグループ毎に大学病院内の各部門において、その日常業務を見学・体験するなど、大学病院各部門の現場体験をすることにより、医学部に入学したという実感を持ち、近い将来尊敬されるべき医師となるための自覚を促す。

医学的知識をほとんど持っていない時期に行われる実習であり、専門的な知識や手技の修得を目的としたものではない。チーム医療の実践を学ぶために必要な考え方や態度を身につけ、学生自身が今後何をなすべきか考えることを主眼としている。

さらに年間を通して学生が交代で大学病院中央玄関前に立ち、患者・家族に対する挨拶と他職種と共同して必要に応じた援助を行い、接遇の基本を学ぶ。

【身につける能力】

別紙参照(卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表)

【準備学習(予習・復習等)】

- ・藤田医科大学病院の概要等について確認しておく。
 - ・実習内容の概要を理解しておく。
 - ・実習後、疑問に感じたことなどがあれば、調べてそのままにしない。
- それぞれ約30分程度を目安とする。

【評価】

・医師としてのプロフェッショナルリズム・コミュニケーション・専門職連携・個人情報保護・医療安全にかかわる項目:

実習において、すべての項目を理解、遵守し、行動しているかどうかを集合時間遵守、や容姿服装、実習態度、レポート内容などから総合的に評価する。(卒業コンピテンシーI-1～6,II-1,2 III-1,2, IV-6, VI-8)、パフォーマンスレベルC)

・社会から期待される医師の役割・意思疎通についてはレポート・発表により評価する。(卒業コンピテンシーI-7, II-3)、パフォーマンスレベルC)

・患者の問題を多職種で解決する取り組み・病歴聴取・基本的臨床手技については、定められた見学実習にすべて参加することを必須とするが、評価は行わない。(卒業コンピテンシーIII-3, V-1,3, VI-1,2,7, VII-3)、パフォーマンスレベルE)

・授業が終了するごとにレポートを作成すること。(400字詰め原稿用紙1枚程度、必ず冒頭実習場所・実習日・班名・学籍番号・氏名を記入。必ず手書きペン書きとし、修正の際は修正液等を使用すること)

課題レポートは指定の場所に翌週の月曜日13時までに提出すること。提出期限を過ぎたものや不備のあるものは受け取らない。また、誤字脱字があった場合には再提出とする。

- ・課題レポートは原本を提出する。早期臨床体験ポートフォリオにはコピーをとりファイルしておく。

【フィードバック】

- ・ Moodleに提出されるレポートについては、不備な点等にコメントを入れることがあるため必ず確認すること。
- ・ 実習で良い点、逆に問題点が指摘された場合、文書が発行されるので、指示に従い振り返り／反省を行うこと。内容によっては面談指導を行う。

【コーディネーター】

正コーディネーター	飯塚 成志	教授（臨床医学総論）
コーディネーター	大槻 真嗣	教授（臨床総合医学）
コーディネーター	稲熊 容子	講師（臨床総合医学）
コーディネーター	後藤 和恵	兼任講師（医学教育企画室）

【学年担当者】

医学部学務課 1 学年担当
緊急時の連絡先 0562-93-2634
事務手続き取扱い時間 8:30~16:45
※事務手続き取扱い時間内に連絡すること。

【教科書】

特になし。必要な資料はオリエンテーション時に配布する。

【注意事項】

- ・ 医学部生としての自覚を持ち、良識と責任ある行動をとること。
- ・ 必ず清潔でしわのない指定された白衣と医療用シューズ、名札を着用し、医学部生らしい身だしなみを整えること。
- ・ 病院内では安全管理のため患者さんのプライバシーを守り、指導者の指示に従い、勝手な行動や私語は慎むこと。
- ・ 実習授業であるので欠席をしないこと。発熱など体調不良で欠席する場合には、まず学務課学年担当まで連絡し、その後の対応についてはコーディネーターに確認すること。

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室

【実習場所】

藤田医科大学病院
大学2号館14階クリニカルシミュレーションフロア

【一般目標】

医師となるための動機付けを高め、チーム医療の実際を学ぶために必要な考え方や態度を身につける。

【行動目標】

1. 社会人としてのマナーを守る。
自己紹介、挨拶、時間の厳守、服装（身だしなみ）
2. 病院の機能を知る。
看護部、事務局、臨床検査部、食養部、放射線部、薬剤部
3. 医療（臨床）の現場を見学・体験する。

【授業形態】

Aグループ（A班～E班）、Bグループ（F班～J班）が金曜日の1～3限に1週交代での実習を行う。
看護部・臨床検査部・食養部・放射線部・薬剤部の各部門をローテイトしすべての部門を見学・体験する。実

習終了後、レポートを提出する。

全てのローテイトが終了した時点で、実習での気づきについて全体発表会にてまとめを行う。

【指導責任者】

(看護部) 眞野 恵子 看護部長
 (臨床検査部) 石井 潤一 臨床検査部長
 (食養部) 鈴木 敦詞 食養部長
 (放射線部) 外山 宏 放射線部長
 (薬剤部) 山田 成樹 薬剤部長

【前期授業内容】

○看護部

集合場所：大学2号館3階⇒各自が指示された病棟

集合時間：8:15 オリエンテーション

<見学・実習>

- ・申し送り
- ・環境整備
- ・バイタルサイン測定
- ・全身清拭
- ・体位変換
- ・患者移送
- ・与薬
- ・回診介助
- ・点滴交換 など

12:00 実習終了・課題レポート

○臨床検査部

集合場所：検査棟 1階

集合時間：8:45 オリエンテーション

<見学・実習>

- ・検体系検査
- ・生理系検査
- ・ME管理室
- ・病理部 など

12:00 実習終了・課題レポート

○食養部

集合場所：外来棟502 会議室

集合時間：8:45 オリエンテーション

<見学・実習>

- ・食事残量の調査
- ・治療食について
- ・配膳準備
- ・できれば検食 など

12:00 実習終了・課題レポート

○放射線部

集合場所：低侵襲画像診断・治療センター（放射線棟） 2階受付

集合時間：8:30 オリエンテーション

<見学・実習> 小グループ

- ・一般撮影・ポータブル撮影部門
- ・放射線治療部門
- ・CT部門
- ・MRI部門
- ・ハイブリット手術（血管造影）部門
- ・核医学検査部門
- ・X線透視部門

12:00 実習終了・課題レポート

○薬剤部

集合場所：外来棟B1階 薬剤部部員室

集合時間：8:45 オリエンテーション

<見学・実習>

- ・病棟薬剤管理指導について
- ・調剤の実際
- ・TPN（中心静脈栄養）の調製
- ・抗がん剤の調製
- ・麻薬管理について

・医薬品情報管理（D I）について など
12:00 実習終了・課題レポート

【全体授業】

4月19日（金）1～3 早期臨床体験実習ガイダンス・大学病院の概要について
4月26日（金）1～3 大学病院事務局の役割・車椅子操作訓練・身だしなみチェック
7月19日（金）1～3 早期体験実習のまとめ（社会から期待される医師の役割とは）

【Aグループ・ローテイト表】

5月10日（金）1～3 A班：看護部、B班：薬剤部、C班：放射線部、D班：食養部、E班：臨床検査部
5月24日（金）1～3 A班：臨床検査部、B班：看護部、C班：薬剤部、D班：放射線部、E班：食養部
6月7日（金）1～3 A班：食養部、B班：臨床検査部、C班：看護部、D班：薬剤部、E班：放射線部
6月21日（金）1～3 A班：放射線部、B班：食養部、C班：臨床検査部、D班：看護部、E班：薬剤部
7月5日（金）1～3 A班：薬剤部、B班：放射線部、C班：食養部、D班：臨床検査部、E班：看護部

【Bグループ・ローテイト表】

5月17日（金）1～3 F班：看護部、G班：薬剤部、H班：放射線部、I班：食養部、J班：臨床検査部
5月31日（金）1～3 F班：臨床検査部、G班：看護部、H班：薬剤部、I班：放射線部、J班：食養部
6月14日（金）1～3 F班：食養部、G班：臨床検査部、H班：看護部、I班：薬剤部、J班：放射線部
6月28日（金）1～3 F班：放射線部、G班：食養部、H班：臨床検査部、I班：看護部、j班：薬剤部
7月12日（金）1～3 F班：薬剤部、G班：放射線部、H班：食養部、I班：臨床検査部、J班：看護部

—看護体験実習—

第1 教育病院看護部の協力のもと、前期の定期試験の直後（9月26日・27日）に行われる実習である。

【 目 的 】

・チームの一員として大学病院において看護業務を体験する。

【 目 標 】

1. 患者の基本的ニーズを知る。
2. 入院患者の生活状況を見学する。
3. 看護師の24時間業務を体験する。
4. 看護師の勤務交代時の看護業務の引継に加わる。
5. チームの一員としての看護師の役割にふれる。
6. 看護の評価方法として看護記録があることを知る。

【授業形態】

Aグループ、Bグループの2組（各約60名）に分け実施する。
グループ分け・集合時間・集合場所は別途知らせる。
実習終了後、課題レポートを提出する。
提出に関する詳細は、看護体験オリエンテーションにて指示する。

【オリエンテーション】

9月中旬予定 担当：飯塚・稲熊・後藤

【授業日程】

—後期—（4コマ）
9月26日（木）Aグループ 夜勤（9/26 17：00～9/27 8：45）
9月27日（金）Bグループ 夜勤（9/27 17：00～9/28 8：45）
*病院のスケジュールの都合で、日程が変更される場合がある。

一 ホスピタリティ実習 一

ホスピタリティ実習は、2～3名が1組となり、午前7時20分より午前8時20分まで大学病院中央玄関に立ち、患者さんや家族へのあいさつ・案内・介助・説明を行う。

【ホスピタリティ実習の目的】

- ①患者さんや家族と適切に接する能力（患者さんや家族との接遇）を身につける。
- ②患者さんや家族の状態を把握する能力を身につける。
- ③同僚に実習内容や必要事項を申し送る能力を身につける。
- ④同僚から実習内容や必要事項の説明を受ける能力を身につける。
- ⑤指導者へ実習内容の概要を示す能力を身につける。

【実習場所】

- ・大学病院中央玄関前（変更の可能性あり、指示に従うこと）

【授業形態】

- ①実習前日に、看護部長室へ挨拶に行く。
- ②実習当日は、午前7時20分看護部長室へ集合。夜勤看護長に挨拶し、ホスピタリティ実習評価票（指導者用）を提出し、注意点の確認等を行う。
- ③中央玄関の担当看護師等に挨拶をし、指示に従う。
 - 1) 実習内容
 - ・患者さんや家族への挨拶をする。
 - ・患者さんが受診しやすくなるように説明や案内をする。
 - ・必要に応じて、車椅子介助や受診案内などを行う。
 - ・求められれば、速乾性手指消毒薬の使用方法的説明をする。
 - ・その他
 - 2) 午前8時15分、実習終了。
 - 3) 全員で看護部長室を訪問し、実習終了の報告を行う。

実習後

次に実習を行うグループに、別途指示する“引き継ぎ先一覧表”をもとに、自分たちが行ったホスピタリティ実習の注意事項などをチェックリストに基づき引き継ぐ。次のグループへの引き継ぎをもって、実習が終了となる。

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 教授	月曜～木曜	12:40～13:10	大学2号館9階907

<医学部・臨床総合医学>

担当者名	曜日	時間	場所
大槻 真嗣 教授	水曜	12:30～13:20, 16:40～18:00	大学2号館10階1007
稲熊 容子 講師	火曜日	13:00～17:00	大学2号館10階1004

<医学部・医学教育企画室>

担当者名	曜日	時間	場所
後藤 和恵 看護長	月曜～金曜	10:00～15:00	大学2号館14階1402

【授業日程】

<早期臨床体験A>

--	--	--	--

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/19(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	オリエンテーション 早期臨床体験実習ガイダンス	1001講義室
2	04/19(金)2限	実習			
3	04/19(金)3限	実習			
4	04/26(金)1限	実習	飯塚 成志 大槻 眞嗣 後藤 和恵	大学病院事務局の役割 車椅子操作訓練・身だしなみチェック	1001講義室
5	04/26(金)2限	実習			
6	04/26(金)3限	実習			
7	05/10(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A班：看護部、B班：薬剤部、C班：放射線部、D班：食養部、E班：臨床検査部	
8	05/10(金)2限	実習			
9	05/10(金)3限	実習			
10	05/24(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習 A班：臨床検査部、B班：看護部、C班：薬剤部、D班：放射線部、E班：食養部	
11	05/24(金)2限	実習			
12	05/24(金)3限	実習			
13	06/07(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習 A班：食養部、B班：臨床検査部、C班：看護部、D班：薬剤部、E班：放射線部	
14	06/07(金)2限	実習			
15	06/07(金)3限	実習			
16	06/21(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習 A班：放射線部、B班：食養部、C班：臨床検査部、D班：看護部、E班：薬剤部	
17	06/21(金)2限	実習			
18	06/21(金)3限	実習			
19	07/05(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習 A班：薬剤部、B班：放射線部、C班：食養部、D班：臨床検査部、E班：看護部	
20	07/05(金)2限	実習			
21	07/05(金)3限	実習			
22	07/19(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習のまとめ	1001講義室
23	07/19(金)2限	実習			
24	07/19(金)3限	実習			

<早期臨床体験B>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
-----	----	----	------	------	------

1	04/19(金)1限	実習	飯塚 成志 稲熊 容子 後藤 和恵	オリエンテーション 早期臨床体験実習ガイダンス	1001講義室
2	04/19(金)2限	実習			
3	04/19(金)3限	実習			
4	04/26(金)1限	実習	飯塚 成志 大槻 眞嗣 稲熊 容子 後藤 和恵	大学病院事務局の役割 車椅子操作訓練・身だしなみチェック	1001講義室
5	04/26(金)2限	実習			
6	04/26(金)3限	実習			
7	05/17(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 F班：看護部、G班：薬剤部、H班：放射線部、I班：食養部、J班：臨床検査部	
8	05/17(金)2限	実習			
9	05/17(金)3限	実習			
10	05/31(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 F班：臨床検査部、G班：看護部、H班：薬剤部、I班：放射線部、J班：食養部、	
11	05/31(金)2限	実習			
12	05/31(金)3限	実習			
13	06/14(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 F班：食養部、G班：臨床検査部、H班：看護部、I班：薬剤部、J班：放射線部	
14	06/14(金)2限	実習			
15	06/14(金)3限	実習			
16	06/28(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 F班：放射線部、G班：食養部、H班：臨床検査部、I班：看護部、J班：薬剤部	
17	06/28(金)2限	実習			
18	06/28(金)3限	実習			
19	07/12(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 F班：薬剤部、G班：放射線部、H班：食養部、I班：臨床検査部、J班：看護部	
20	07/12(金)2限	実習			
21	07/12(金)3限	実習			
22	07/19(金)1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習のまとめ	1001講義室
23	07/19(金)2限	実習			
24	07/19(金)3限	実習			

生物学

【教育目標】

生命現象全般を取り扱う「生物学」は、ヒトを対象とする「医学」の基本となる学問である。生物学の講義では、生命現象を支える生体高分子の基礎とその代謝、生命体の基盤をなす細胞の構造と機能、そして細胞の有機的な集団である個体について、生命現象全体に対する階層的な理解を深める。そして生命現象がすべて、DNAに書かれた遺伝情報の発現という共通システムによって支配されていることを学ぶ。さらに、地球上の生物がこの共通システムを用いながら、どのようにして今日のような多様性を生み出してきたのか、生物の「しなやかさ」と「したたかさ」について理解する。また、後期には「生物学実習」を実施し、問題の設定とその探究方法を学ぶことで、医療現場で必要とされる問題解決能力を身につける。

【学修目標】

高校で生物学を履修してこなかった学生を対象に「入門コース」、履修してきた学生を対象に「標準コース」を設け、それぞれ異なった講義を行う。「入門コース」は「標準コース」より多くの講義時間数を充てることで、講義終了時には「標準コース」の学生と遜色のない学力が身につけていることを目指す。「生物学」を暗記物と捉えることなく、学んだことを有機的に関連づけ、生物学の全体像を把握することによって、今後学んでいく「基礎医学」や「臨床医学」の礎を固めることを目標とする。具体的には、以下に掲げる項目を中心に学習を進める。

生体構成成分の構造と働きを理解する。

細胞の構造と働きを理解する。

エネルギー獲得の反応を例にして生体で起こる代謝を理解する。

遺伝子からタンパク質への情報の流れに基づいて生命現象を理解する。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

生物学履修に必要な専門用語を学内のネットワーク（Moodle）にアップロードしておくので、意味、概念を自習して講義に臨むこと。なお、この用語集は入門コースの定期試験の出題範囲でもある。

生物学標準コースでは各講義プリント末尾の課題を宿題として提出する。次回の講義までに30分程度の時間をかけて、課題を検討すること。

【評価】

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-1, 2、V-1）、パフォーマンス・レベルD

中間試験の成績を主な評価の方法とし、講義・実習にわたる統合試験を定期試験として課し、生物学の総合評価を行う。

(2)実習；（卒業コンピテンシー IV-1、V-1, 3）、パフォーマンス・レベルC

生物学実習では、毎回の小テストとレポートおよび実習終了後の小試験により評価する。

(3)実習態度；（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンス・レベルC

講義および実習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

【フィードバック】

入門コースの毎回の講義内で実施する小課題は、大まかなチェックをして返却するので、次のコマでのレビューを参考に修正してファイルし、ポートフォリオとすること。入門コースの小テストの解答用紙は返却しないので、必ず内容の確認に来ること。

標準コースでは学期末の定期試験の他に、実習の試験を含めて3回の中間試験とを実施する。毎回試験の採点終了後、教員研究室において教員とマンツーマンで試験の解答内容の確認を行う。解答用紙は返却しない。

【教科書】

入門コースは「医療・看護系のための生物学」田村 隆明（裳華房）と

「基礎からしっかり学ぶ生化学」成田 央、山口 雄輝（羊土社）の2冊、

標準コースは「Essential細胞生物学 原書第4版」中村 桂子 他 監訳（南江堂）

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室
大学2号館9階909講義室

【実習場所】

大学1号館 地下1階実習室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階706
守口 匡子 講師	月曜～金曜	9:00～19:00	大学2号館7階703
角川 裕造 教授	月曜～金曜	16:00～18:30	大学2号館7階703

<医学部・化学>

担当者名	曜日	時間	場所
八代 耕児 准教授	月曜～金曜	16:00～18:00	大学2号館8階803,805

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
小川 久光 客員教授		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<生物学(入門)>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/09(火)3限	講義	吉田 友昭	生命の成り立ち～分子的背景～ C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○細胞膜の構造と機能。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ●疎水性相互作用を説明できる。 ●水の性質、水溶液、水素結合を説明できる。	1001講義室
2	04/10(水)2限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	生命の基本単位-細胞- C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○細胞の全体像を図示できる。 ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ●疎水性相互作用を説明できる。	1001講義室
3	04/11(木)4限	講義	吉田 友昭	チャネルとトランスポーター C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○細胞の全体像を図示できる。 ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動	1001講義室

				<ul style="list-style-type: none"> ○細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○細胞内輸送システムを説明できる。 ●エンドサイトーシスとエキソサイトーシスを説明できる。 	
4	04/16(火)3限	講義	吉田 友昭	細胞の構造のまとめと討論 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○細胞の全体像を図示できる。 ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 <ul style="list-style-type: none"> ○微小管の役割や機能を説明できる。 	1001 講義 室
5	04/17(水)2限	講義	吉田 友昭	遺伝情報からできる物質はタンパク質 I C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 <ul style="list-style-type: none"> ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節(セントラルドグマ)を説明できる。 ●遺伝暗号が3文字からなることを説明できる。 	1001 講義 室
6	04/18(木)4限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	遺伝子の正体 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 <ul style="list-style-type: none"> ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性を説明できる。 ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節(セントラルドグマ)を説明できる。 ●DNAとRNAの化学構造の違いとその機能的意義を説明できる。 ●核酸が正確にペアを作る背景を説明できる。 	1001 講義 室
7	05/07(火)3限	講義	吉田 友昭	遺伝情報からできる物質はタンパク質 II C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 <ul style="list-style-type: none"> ○遺伝型と表現型の間を説明できる。 ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性を説明できる。 ●ペプチド結合、タンパク質の階層構造を説明できる。 ●アミノ酸の種類と性質を説明できる。 	1001 講義 室
8	05/08(水)2限	講義	吉田 友昭	遺伝子の発現と調節 I C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 <ul style="list-style-type: none"> ○遺伝型と表現型の間を説明できる。 ●エピゲノム調節を概説できる。 ●ゲノムのプロモーター領域とエンハンサー領域を概説できる。 	1001 講義 室
9	05/09(木)4限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	遺伝子の発現と調節 II C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 <ul style="list-style-type: none"> ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性を説明できる。 ○DNAからmRNAへの転写、mRNAの破壊の調節を説明できる ●ゲノムのプロモーター領域とエンハンサー領域を説明できる。 	1001 講義 室
10	05/14(火)3限	講義	吉田 友昭	遺伝子の発現と調節 III -まとめと討論- C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 <ul style="list-style-type: none"> ○細胞の分化とエピゲノム調節の間を説明できる。 ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ●プロモーターへの転写因子の結合が遺伝子発現に必要であることを説明できる。 	1001 講義 室
11	05/15(水)2限	講義	吉田 友昭	生命現象を担うかなめはタンパク質のなかでも酵素 I C-2-3)-(4) ホメオスタシス <ul style="list-style-type: none"> ○生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○恒常性維持のための調節機構(ネガティブフィードバック調節)を説明できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 <ul style="list-style-type: none"> ○酵素の機能と調節を説明できる。 ○解糖の経路と調節機構を説明できる。 	1001 講義 室

				● ATPが酸無水物ゆえにエネルギー担体であることを説明できる。	
12	05/16(木)4限	講義	吉田 友昭	生命現象を担うかなめはタンパク質のなかでも酵素Ⅱ C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能と調節を説明できる。 ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ○ グリコーゲンの構造とその組織分布、意義を概説できる。 ● アロステリック調節を説明できる。 ● ATPの過剰が解糖系を抑制することを説明できる。 ● 解糖系はアルデヒドをカルボン酸に酸化することでエネルギーを得ていることを説明できる。	1001 講義 室
13	05/21(火)3限	講義	吉田 友昭	栄養素と代謝Ⅰ C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ○ クエン酸回路を説明できる。 ○ グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。 ● 低酸素下での乳酸生成とその代謝を説明できる。	1001 講義 室
14	05/22(水)2限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	栄養素と代謝Ⅱ C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 電子伝達系と酸化リン酸化を説明できる。 ○ 五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。 ○ 脂質の合成と分解を説明できる。 ● 植物が光合成で作った化学物質の持つ、還元エネルギーを利用してATPを得ていることを説明できる。 ● 乳酸を肝臓や腎臓でグルコースに「再生」するコリ回路を説明できる。	1001 講義 室
15	05/23(木)4限	講義	吉田 友昭	栄養素と代謝Ⅲ C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。 ○ ビタミン、微量元素の種類と作用を説明できる。 ● NADPHという還元担体がエネルギー消費と貯蔵のバランスを握る、一つの鍵であることを説明できる。	1001 講義 室
16	05/28(火)3限	講義	吉田 友昭	栄養素と代謝Ⅳ C-2-5) 生体物質の代謝 ○ アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。 ● 脂質の腸管での吸収に胆汁酸が重要であることを説明できる。 ● グルコースの腸管での吸収に二次能動輸送が必要であることを説明できる。	1001 講義 室
17	05/29(水)2限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	まとめとグループ討論	1001 講義 室
18	05/30(木)4限	講義	吉田 友昭	少し詳細に、細胞、生命とは C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ ミトコンドリアのクリステの奥にATP合成酵素が配置されている意義を説明できる。 ○ 細胞同士の接着に細胞骨格が関与していることを説明できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 C-1-2)-(1) 生物の進化 ○ 進化の基本的な考え方を説明できる。 ● 三ドメイン説を説明できる。 ● 二名法を説明できる。 ● ウイルスの増殖機構を説明できる。	1001 講義 室
19	06/04(火)3限	講義	吉田 友昭	細胞内外のイオン濃度と神経伝導 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎 ○ 活動電位の発生機構と伝導を説明できる。 ● ミエリン鞘が絶縁体として機能することで、鞘の間(ランビエ絞輪)のNaチャネルが飛び飛びに開口する跳躍伝導が起き、伝導速度を上げていくことを説明できる。	1001 講義 室
20	06/05(水)2限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	神経細胞間のシナプスと骨格筋収縮Ⅰ C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○ アクチンフィラメントとミオシンが筋収縮を起こしていることを説明できる。 C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎 ○ シナプス(神経筋接合部を含む)の形態とシナプス伝達の機能(興奮	1001 講義 室

				<p>性、抑制性) と可塑性を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。 ● 神経筋接合部で始まった活動電位が電位依存性Naチャネルで筋細胞表面を広がることを説明できる。 ● EPSP、IPSPを説明できる。 	
21	06/06(木)4限	講義	吉田 友昭	<p>神経細胞間のシナプスと骨格筋収縮 II</p> <p>C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○ 細胞内輸送システムを説明できる。 <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 ● T管の構造と意義について説明できる。 	1001 講義 室
22	06/12(水)2限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	<p>まとめとグループ討論</p> <p>C-2-3)-(1) 情報伝達の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 受容体による情報伝達の機序を説明できる。 	1001 講義 室
23	06/13(木)4限	講義	吉田 友昭	<p>DNAの複製と細胞周期 I</p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 核とDNAの構造と機能を説明できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 ● DNA、RNAの合成が一方にしか進まないことと、そのために二本鎖DNAの複製の際に岡崎フラグメントができることを説明できる。 	1001 講義 室
24	06/18(火)3限	講義	吉田 友昭	<p>DNAの複製と細胞周期 II</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 ● DNAの正確な複製のためにプライマーRNAが有用であることを説明できる。 ● 細胞周期を概説できる。 	1001 講義 室
25	06/18(火)4限	講義	吉田 友昭	<p>DNAの複製と細胞周期 III</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 ● DNA複製時のプライマーの必要性を説明できる。 ● 岡崎フラグメントの必然性を説明できる。 ● PCRの原理とその方法を説明できる。 	1001 講義 室
26	06/19(水)2限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	<p>まとめとグループ討論</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゲノムの複製と修復を図示できる。 ● 岡崎フラグメントの必然性を説明できる。 	1001 講義 室
27	06/20(木)4限	講義	吉田 友昭	<p>DNA複製と減数分裂と遺伝 I</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ● 遺伝的多様性を減数分裂の過程から説明できる。 	1001 講義 室
28	06/25(火)3限	講義	吉田 友昭	<p>DNA複製と減数分裂と遺伝 II</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 遺伝型と表現型の関係を説明できる。 <p>C-1-2)-(1) 生物の進化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進化の基本的な考え方を説明できる。 	1001 講義 室
29	06/25(火)4限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	<p>まとめとグループ討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タンパク質のドメインとエキソンの関係、遺伝子重複を説明できる。 ● ABO血液型の遺伝を説明できる。 	1001 講義 室
30	06/26(水)2限	講義	吉田 友昭	<p>細胞間情報伝達と恒常性 I</p> <p>C-2-3)-(1) 情報伝達の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報伝達の種類と機能を説明できる。 ○ 受容体による情報伝達の機序を説明できる。 	1001 講義 室

				D-12-1) 構造と機能 ○各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。 ○視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	
31	06/27(木)4限	講義	吉田 友昭	細胞間情報伝達と恒常性Ⅱ C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○恒常性維持のための調節機構(ネガティブフィードバック調節)を説明できる。 ●インスリンによる血糖下降機構を説明できる。	1001 講義 室
32	07/02(火)3限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	まとめとグループ討論 C-2-3)-(1) 情報伝達の基本 ○情報伝達の種類と機能を説明できる。 ○細胞内シグナル伝達過程を説明できる。 C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○恒常性維持のための調節機構(ネガティブフィードバック調節)を説明できる。	1001 講義 室
33	07/03(水)2限	講義	吉田 友昭	ヒトの組織と器官Ⅰ C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ○筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 D-6-1) 構造と機能 ○血液による酸素と二酸化炭素の運搬の仕組みを説明できる。 ●ヘモグロビンの酸素解離曲線を説明できる。	1001 講義 室
34	07/04(木)4限	講義	吉田 友昭	ヒトの組織と器官Ⅱ D-1-1) 構造と機能 ○血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。 ●血漿と血清を説明できる。 ●ミオグロビンの酸素解離曲線を説明できる。 ●コリ回路を説明できる。	1001 講義 室
35	07/09(火)3限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	まとめとグループ討論	1001 講義 室
36	07/10(水)2限	講義	吉田 友昭	生物の進化と多様性 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 C-1-2)-(1) 生物の進化 ○生物種とその系統関係を概説できる。 ○アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。 C-2-4) 個体の発生 ○体節の形成と分化を説明できる。	1001 講義 室
37	07/11(木)4限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	ゲノムからタンパク合成までのまとめとグループ討論	1001 講義 室
	07/16(火)3限	小テスト	吉田 友昭 守口 匡子	小テスト	603 講義 室
38	07/17(水)2限	講義	吉田 友昭 守口 匡子	総括とグループ討論	1001 講義 室

<生物学(標準)>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/10(水)3限	講義	角川 裕造	序論 ヒトのことを良く知るために ●認識について認識できる。	909 講義 室
2	04/17(水)3限	講義	角川 裕造	生物学の基本的枠組み A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	909 講義 室

				C-1-2)-(1) 生物の進化 ○ 進化の基本的な考え方を説明できる。 ○ 生物種とその系統関係を概説できる。 ○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。	
3	04/19(金)4限	講義	角川 裕造	生体の構成成分(1) 水 ● 生体や細胞を構成している元素, 分子を概説できる。 ● 水の性質, 水溶液, 水素結合が説明できる。	909 講義 室
4	04/24(水)3限	講義	角川 裕造	生体の構成成分(2) 炭素化合物 ● 生体高分子について, 単量体と重合体を説明できる。 ● 脂質の構造と機能を説明できる。 ● 糖質の構造と機能を説明できる。	909 講義 室
5	04/26(金)4限	講義	角川 裕造	生体の構成成分(3) タンパク質, 核酸 ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ● ペプチド結合, タンパク質の階層構造を説明できる。 ● 核酸の構成成分を説明できる。 ● DNAとRNAの違いを説明できる。	909 講義 室
6	05/08(水)3限	講義	角川 裕造	生物の構成単位 細胞 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○ 小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○ 細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 ● 細胞内輸送システムを説明できる。	909 講義 室
7	05/10(金)4限	講義	角川 裕造	生体膜の構造と機能 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。	909 講義 室
8	05/15(水)3限	講義	角川 裕造	細胞, 組織, 器官 C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○ 生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ● 腎の機能を細胞で説明できる。	909 講義 室
9	05/17(金)4限	講義	角川 裕造	生命活動の源 代謝(1) エネルギー生産 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能と調節を説明できる。 ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ○ エネルギー代謝(エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量)を理解し、空腹(飢餓)時、食後(過食時)と運動時における代謝を説明できる。	909 講義 室
10	05/22(水)3限	講義	角川 裕造	生命活動の源 代謝(2) エネルギー生産と分解 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ クエン酸回路を説明できる。 ○ 電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。 ○ 脂質の合成と分解を説明できる。	909 講義 室
11	05/24(金)4限	講義	角川 裕造	多細胞生物への道(1) 細胞は動く C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○ 細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○ 細胞内輸送システムを説明できる。 ○ 微小管の役割や機能を説明できる。 ● 筋肉が収縮するしくみを説明できる。	909 講義 室
12	05/29(水)3限	講義	角川 裕造	多細胞生物への道(2) 細胞は増える ● 細胞の分裂過程を説明できる。 ● 細胞周期とチェックポイントを説明できる。 ● 体細胞分裂と減数分裂の違いを説明できる。	909 講義 室
13	05/31(金)4限	講義	角川 裕造	多細胞生物への道(3) 細胞は伝える C-2-3)-(1) 情報伝達の基本	909 講義

				<p>○ 情報伝達の種類と機能を説明できる。 ○ 細胞内シグナル伝達過程を説明できる。</p>	室
14	06/05(水)3限	講義	角川 裕造	<p>神経伝達のメカニズム C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎 ○ 活動電位の発生機構と伝導を説明できる。 ○ シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。 ○ 軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。</p>	909 講義室
	06/07(金)4限	中間試験	角川 裕造	中間試験(1)	603 講義室
15	06/12(水)3限	講義	角川 裕造	<p>遺伝(1) 遺伝子の正体 ● 遺伝子の正体がDNAであることを証明した実験を概説できる。 ● 遺伝子、タンパク質、形質の関係を説明できる。 ● DNAの二重らせん構造を説明できる。</p>	909 講義室
16	06/14(金)4限	講義	角川 裕造	<p>遺伝(2) 遺伝子の複製 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。</p>	909 講義室
17	06/18(火)4限	講義	角川 裕造	<p>遺伝(3) 減数分裂とメンデル遺伝 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。 ○ 遺伝型と表現型の関係を説明できる。 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ● 家系図から遺伝様式を推定できる。</p>	909 講義室
18	06/19(水)3限	講義	角川 裕造	<p>遺伝子の発現(1) 転写 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。 ● 原核生物と真核生物の転写過程の違いを説明できる。</p>	909 講義室
19	06/25(火)4限	講義	角川 裕造	<p>遺伝子の発現(2) 翻訳 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ タンパク質の合成と分解を説明できる。 ● タンパク質の翻訳後修飾、品質管理を説明できる。</p>	909 講義室
20	06/26(水)3限	講義	角川 裕造	<p>遺伝子の発現(3) 遺伝子工学 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。 ● 制限酵素、遺伝子組換えが説明できる。 ● クローニングについて説明できる。 ● PCR法が説明でき、その応用について概説できる。</p>	909 講義室
21	06/28(金)4限	講義	角川 裕造	<p>遺伝子の発現(4) 原核生物遺伝子の発現調節 ● プロモーター、転写因子などによる遺伝子の発現調節のしくみを説明できる。 ○ オペロン説について説明できる。</p>	909 講義室
22	07/03(水)3限	講義	角川 裕造	<p>遺伝子の発現(5) 真核生物遺伝子の発現調節 ● 真核生物での遺伝子の発現調節の機構を概説できる。</p>	909 講義室
23	07/05(金)4限	講義	角川 裕造	<p>発生のしくみ(1) 形態形成 C-2-4) 個体の発生 ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ● 発生過程を遺伝子の発現変化として捉えることができる。 ● クローン生物を説明できる。 ● 細胞分化のマスター遺伝子を説明できる。</p>	909 講義室
24	07/10(水)3限	講義	角川 裕造	<p>発生のしくみ(2) 再生医療 ● 組織幹細胞、ES細胞を説明できる。 ● クローン胚、iPS細胞が説明できる。</p>	909 講義室

25	07/12(金)4限	講義	角川 裕造	生体防御 C-2-3)-(3) 生体防御の機序 ○ 生体の非特異的防御機構を説明できる。 ○ 特異的防御機構である免疫系の役割を説明できる。 ○ 体液性と細胞性免疫応答を説明できる。 ● 遺伝子再編成について説明できる。	909 講義 室
26	07/17(水)3限	講義	角川 裕造	がん C-4-6) 腫瘍 ○ 自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 ○ 癌の原因や遺伝子変化を説明できる。 ○ 癌の転移を説明できる。	909 講義 室
27	07/19(金)5限	講義	角川 裕造	まとめ と 振り返り	909 講義 室
	07/24(水)3限	中間試験	角川 裕造	中間試験(2)	603 講義 室

<生物学(実習)>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用 教室
1	10/04(金)4限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	顕微鏡操作法 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。	B1共 同実 習室
2	10/04(金)5限	実習			
3	10/04(金)6限	実習			
4	10/11(金)4限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	細胞のダイナミズム (原形質流動・染色体・細胞分裂の観察) ● 原形質流動を説明できる。 ● 細胞周期を説明できる。 ● 細胞分裂過程を説明できる。	B1共 同実 習室
5	10/11(金)5限	実習			
6	10/11(金)6限	実習			
7	10/18(金)4限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	生命活動とエネルギー (アルコール発酵の測定) C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能と調節を説明できる。 ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ○ クエン酸回路を説明できる。 ○ 電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。 ● 解糖系・発酵によるATPの産生過程を説明できる。 ● NAD ⁺ の再生法による代謝の違いを説明できる。 ● 酵素の機能と代謝調節を説明できる。 ● 好気呼吸の過程を説明できる。	B1共 同実 習室
8	10/18(金)5限	実習			
9	10/18(金)6限	実習			
10	11/01(金)4限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	遺伝子は形質を支配する (DNAの精製と形質転換) C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ● プラスミドDNA単離の原理を説明できる。 ● 遺伝子操作技術の原理を説明できる。 ● 形質転換の意義を説明できる。	B1共 同実 習室
11	11/01(金)5限	実習			
12	11/01(金)6限	実習			
13	11/08(金)4限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	遺伝子を切って、見る (制限酵素によるDNAの切断と電気泳動) C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ○ 染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。 ● 遺伝子操作に関連した酵素を説明できる。 ● 電気泳動の原理を説明できる。	B1共 同実 習室
14	11/08(金)5限	実習			
15	11/08(金)6限	実習			
	11/21(木)6限	中間試験	守口 匡子 角川 裕造	中間試験 (3)	603 講義 室

物理学

【教育目標】

物理学は全ての自然科学を学ぶ基礎となるものであり、教科内容は多岐にわたる。本講義では教科内容をいくつかの部分に分け、それぞれに教育目標を設定する。前期には物理学の基礎として力学、波、流体、電気、原子核や放射線について学び、後期には表面張力と熱力学を中心に、基礎医学に関連の深い現象を学ぶ。各分野での目標は以下の通りである。

1. 力学

自然現象を数理的に理解する能力を高めるために、その基礎となる数学的手法を学ぶとともに、論理的・数理的な自然観を学ぶ。

論理的に構成された自然科学の理論体系のお手本として力学を学ぶ。

2. 波

超音波、電磁波(光、電波、X線)等を理解するため、波動現象に関わる物理量や数理的扱いを習得する。音や電磁波を利用した医療用検査機器の基本原則を説明できるようにする。

3. 流体

静止流体の性質と運動する流体に成り立つ法則を理解する。

医学基礎科目の理解に必要とされる流体関連の基礎知識を説明できるようにする。

4. 電磁気

電荷、電場、磁場、電流、電位など物理量の意味を理解する。

電磁気の法則を理解し、説明できるようにする。

電磁気現象の医学基礎科目や医療への応用について説明できるようにする。

5. 原子核・放射線

原子核の構造や放射線の種類、医療への応用を理解し説明できるようにする。

6. 表面張力

肺や血管・心臓の物理的なメカニズムを理解するための基礎知識として、液体の表面張力や弾性体膜の張力について説明できるようにする。

7. 熱力学

エントロピーや自由エネルギーの概念を理解し説明できるようにする。

分子の熱運動や拡散・浸透圧など、生体内のイオンや分子の移動等に関連した現象を理解するための基礎知識を理解し説明できるようにする。

【学修目標】

力学：力と運動を表す物理量および物理量の相互関係を理解し、説明することができる。

力学：ニュートンの運動の3法則と力に関する力の性質および、そこから導かれる法則や保存則を理解し、運動を分析、予想することができる。

力学：剛体の回転を含む運動の表し方と法則を理解し、現象に当てはめて説明することができる。

力学：弾性体のひずみと応力の関係を説明できる。

流体：静止流体および流体内にある物体に働く力とその釣り合いを分析することができる。

流体：連続の式及びベルヌーイの定理を理解し、流体の運動を考察することができる。

流体：粘性流体に働く力を理解し、圧力勾配と流量の関係、特にハーゲン-ポアズイユの法則を説明できる。

波動：波動現象を振動の伝搬として理解し、波の諸現象(反射、透過など)を説明できる。

波動：重ね合わせの原理と、干渉、回折現象について説明できる。

波動：電磁波や音波を利用した医療機器の原理を説明できる。

電気：静電気力と関連する物理量を説明できる。

電気：電気回路におけるオームの法則とキルヒホッフの法則を理解し、回路で生じる現象を説明できる。

原子核・放射線：原子核の構造、崩壊と放射線について説明できる。

原子核・放射線：検査や治療における放射線の利用について説明できる。

表面張力：表面張力と膜に蓄えられるエネルギーについて説明できる。

表面張力：ラプラスの法則を用いて、血管や肺胞などの力学現象を説明できる。

熱力学：熱力学の基本法則を理解し、不可逆過程とエントロピーの関係を説明できる。

熱力学：自由エネルギーの概念を理解し、状態の変化の向きと平衡状態を推定することができる。

【身につける能力】

別紙参照(卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA~Fを記した表)

【クラス編成】

前期は「標準コース」と「入門コース」の2クラスに分かれ、それぞれ異なった授業が実施される。標準コースでは大学受験の際に物理を選択したことを前提として、また、入門コースでは選択していないことを前提として、授業が行なわれる。入門コースの学生も、前期終了時には標準コースの学生と同程度の数理的処理能力や物理的な考え方を身につけていることが要求される。そのため入門コースではより多くの時間が割り当てられ、より多くの課題が課せられ、細かい指導がなされる。入門コースの方が簡単で楽であるということではないし、試験に通しやすいということでもない。

後期においても2クラスに分けて講義を行うが、標準・入門の区別なく共通した内容の講義を実施する。

【準備学習（予習・復習等）】

講義形式の授業が中心になるので、各自、授業中に取り上げた新しい内容について復習することが求められる。以前の単元が次の単元の内容に関係することもあるので、こまめに復習すること（30分程度）。また、必要に応じて入学以前に学習した内容について振り返った上で授業に出席することが望ましい。

次の単元に進む際に、教科書の該当部分を通読し予習すること（30分程度）。ただし、この予習の段階においては、理解できない部分があっても、その部分で留まらずに一通り読み通せばよい。この予習において、当該部分の内容の概略を把握することを予習の第一目的とする。そして、分からない事項や疑問点があればそれを教科書や自分のノートなどにメモしておいた上で講義を受講すること。そして、講義を受けた後、予習段階で自分が持った疑問が解決したかどうか、疑問が解決したのならどのように解決したのか、自分が何を知らなかった為に疑問に思っていたのか等を復習し考えることを推奨する。予習・復習ともに30分程度の所要時間を目安とする。

【 評 価 】

卒業コンピテンシーIV-1,6(パフォーマンス・レベルD)

卒業コンピテンシー V-1,4(パフォーマンス・レベルD)

中間試験、定期試験、レポート、受講態度などを総合的に評価する。

【フィードバック】

- ・ 中間試験・定期試験結果や問題内容の解説を希望する学生に対して、オフィスアワーにおいてフィードバックし、個人の理解度に応じた学習指導を行う。
- ・ 中間試験・定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 中間試験・定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

【教科書】

標準コース

「医歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田浩 著（東京教学社）

入門コース

「物理学基礎（第4版）」 原康夫 著（学術図書出版社）

「医歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田浩 著（東京教学社）

【推薦参考書】

「医歯系系の物理学」 林 一 編（丸善）

「ライフサイエンス物理学」 ケイン・スターンハイム 著 石井千穎 監訳（広川書店）

「物理学」 小出昭一郎 著（裳華房）：標準的な大学教養課程の教科書

「シッフマン自然科学入門 - 新物理学」 勝守寛 監訳（学術図書）：数式を余り使わない分かりやすい説明

（補足）

高校の教科書も参考になることがあるが、流体力学などは載っていない。

後期は、特に指定しないが、生理学・生化学に関する標準的な教科書・参考書を参考にすることができる。

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室、9階909講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鴨下 淳一 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (水、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903
古澤 彰浩 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (火、水、木、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903

【授業日程】

<物理学(入門)>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/09(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	1. 物理量の記述、2. 単位・次元・次元解析 ● 物理学がどのような科学か説明できる。 ● SI基本単位系の定義と意義が説明できる。 ● 基本単位を組み合わせた組立単位を説明できる。	909講義室
2	04/10(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	3. 運動の記述 (1) ● 変位、速度、加速度 (ベクトル量) を説明できる。 ● 質点の運動を式やグラフで表すことができる。 ● 変化率・累積量を計算できる(微分積分)。	909講義室
3	04/11(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	3. 運動の記述 (2) ● 変位、速度、加速度 (ベクトル量) を説明できる。 ● 質点の運動を式やグラフで表すことができる。 ● 変化率・累積量を計算できる(微分積分)。	909講義室
4	04/16(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	4. 運動の法則 (1) ● 力 (ベクトル量) の合成と分解ができる。 ● 物体に働く、いろいろな力を調べることができる。 ● 物体に働く力のつり合いを説明できる。	909講義室
5	04/17(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	4. 運動の法則 (2) ● 作用反作用の法則を説明できる。 ● 慣性の法則を説明できる。 ● 力と加速度とが比例することを説明できる。	909講義室
6	04/18(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述 (1) ● 質点の運動を運動方程式で記述できる。 ● 簡単な運動方程式を解くことができる。(等加速度運動など)	909講義室
7	04/23(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述 (2) ● 質点の平面運動 (放物運動など) の運動方程式を記述できる。 ● 簡単な運動方程式を解き、運動の様子を調べることができる。	909講義室
8	04/24(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述 (3) ● 空気抵抗などが働く場合の運動方程式を記述できる。 ● 運動方程式から、運動の定性的な変化の様子を調べることができる。	909講義室
9	04/25(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述 (4) ● 微分方程式を解くことやその解について説明できる。 ● 運動方程式を微分方程式として解くことができる。 ● 運動方程式の解を考察し、運動の様子を調べることができる。	909講義室
10	05/07(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6. 振動現象 (1) ● 振動に関する物理量 (周期、振動数、振幅など) を説明できる。 ● 振動を式やグラフで表すことができる。	909講義室
11	05/08(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6. 振動現象 (2) ● 復元力が働くときの運動方程式を記述できる。 ● 復元力とは何かを説明できる。 ● 単振動について説明できる。	909講義室
12	05/09(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6. 振動現象 (3) ● 単振動の運動方程式の解について説明できる。 ● 単振動をする質点の運動の具体例をあげ、運動方程式を立て、振動の様子を調べることができる。	909講義室
13	05/14(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	7. 力積と運動量 ● 運動量の定義とその意味を説明できる。 ● 力積と運動量の関係を説明できる。	909講義室
14	05/15(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8. 仕事とエネルギー (1) ● 仕事の定義を説明できる。 ● 運動エネルギーと位置エネルギーについて、力学的エネルギー保存則と	909講義室

				関連づけて説明できる。 ● エネルギーとは何か、仕事とエネルギーの関係を説明できる。	
15	05/16(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8. 仕事とエネルギー (2) ● 力学的エネルギー保存則と運動方程式の関係を説明できる。 ● 力学的エネルギー保存則を用いて質点の運動を考察できる。	909講義室
16	05/21(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9. 回転運動の記述 (1) ● 力のモーメントを説明し、計算できる。 ● 力のモーメントのつり合いの式を記述できる。	909講義室
17	05/22(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9. 回転運動の記述 (2) ● 力のモーメントがつり合っていない場合に対して、物体の回転を定性的に考察できる。 ● 回転運動に関連する物理量として、角速度、角加速度を説明できる。 ● 慣性モーメントについて説明できる。	909講義室
18	05/23(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9. 回転運動の記述 (3) ● 回転運動の運動方程式を記述できる。 ● トルクが作用するときの剛体の運動を説明できる。	909講義室
19	05/28(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9. 回転運動の記述 (4) ● 質点と剛体の角運動量を説明できる。 ● 角運動量の保存則を説明できる。	909講義室
20	05/29(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	10. 弾性体 ● 応力とひずみの関係をフックの法則で説明できる。 ● 弾性体の変形について、伸縮、ずれ、たわみ、ねじれ等を説明できる。 ● ヤング率を説明できる。 ● 身近にある物体の変形に対して、応力とひずみの関係と関連付けて考察できる。	909講義室
21	05/30(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11. 静止流体 (1) ● 流体とは何か、説明できる。 ● 静止流体の高さと圧力の関係を説明できる。 ● 圧力の単位 (Pa, mmHgなど) について説明できる。	909講義室
22	06/04(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11. 静止流体 (2)、12. 流体の力学 (1) ● 静止流体の圧力と静止流体中の物体に働く力について説明できる。 ● 浮力を説明できる。 ● 圧力、流量、流速を説明できる。 ● 流体の物理的性質 (圧縮性や粘性) による分類を説明できる。 ● 流線、流管を説明できる。 ● 連続の式を説明できる。	909講義室
23	06/05(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	12. 流体の力学 (2) ● 流れている流体が持つエネルギーについて説明できる。 ● ベルヌーイの定理を説明できる。 ● 連続の式とベルヌーイの定理の応用例として、ベンチュリ管について説明できる。	909講義室
24	06/06(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	12. 流体の力学 (3) ● 流体から物体が受ける抵抗 (粘性抵抗、慣性抵抗) を説明できる。 ● レイノルズ数について説明できる。	909講義室
25	06/12(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	13. 波動の記述 ● ばねや単振り子の運動を説明できる。 ● 波の回折・干渉・屈折を説明できる。 ● 波を式やグラフで表すことができる。	909講義室
26	06/13(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	14. 音波 (1) ● 超音波の性質を説明できる。 ● 波が運ぶエネルギー、エネルギー強度について説明できる。 ● 音の性質を説明できる。 ● 反射率・透過率について説明できる。	909講義室
27	06/18(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	14. 音波 (2) ● 可聴音の音の強さ、デシベルについて説明できる。 ● ドップラー効果について説明できる。	909講義室
28	06/19(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	15. 光・電磁波 (1) ● 光の性質について説明できる。 ● 電磁波の分類と波長 (振動数) との関係を説明できる。 ● 物質による光の吸収について説明できる。	909講義室
29	06/20(木)4限	講義	鴨下 淳一	15. 光・電磁波 (2)	909講義室

	限		古澤 彰浩	<ul style="list-style-type: none"> ● 物質による光の吸収について説明できる。 ● 吸収係数について説明できる。 ● X線レントゲンと吸収係数の関係を定性的に説明できる。 	
30	06/25(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	15. 光・電磁波 (3) <ul style="list-style-type: none"> ● X線CTの原理を定性的に説明できる。 ● パルスオキシメータの原理を定性的に説明できる。 	909講義室
31	06/26(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	16. 静電気の記述 (1) <ul style="list-style-type: none"> ● 電荷保存則を説明できる。 ● クーロンの法則を説明できる。 ● 電場とは何か、説明できる。 	909講義室
32	06/27(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	16. 静電気の記述 (2)、17. 電流 (1) <ul style="list-style-type: none"> ● 電場が電化にする仕事と電位差の関係を説明できる。 ● オームの法則、ジュールの法則を説明できる。 	909講義室
33	07/02(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	17. 電流 (2) <ul style="list-style-type: none"> ● キルヒホッフの法則を使った回路計算ができる。 ● コンデンサを概説できる。 	909講義室
34	07/03(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	18. 電場と磁場 (1) <ul style="list-style-type: none"> ● 磁場とは何か、説明できる。 ● 電磁波とは何か、説明できる。 ● 電流が磁場から受ける力について説明できる。 	909講義室
35	07/04(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	18. 電場と磁場 (2) <ul style="list-style-type: none"> ● ファラデーの電磁誘導の法則を説明できる。 	909講義室
36	07/09(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	18. 電場と磁場 (3) <ul style="list-style-type: none"> ● ファラデーの電磁誘導の法則の応用例を説明できる。 	909講義室
37	07/10(水)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	19. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線 (1) <ul style="list-style-type: none"> ● 放射線の種類と性質を説明できる。 ● 原子核の構造を説明できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 放射線の医療への応用について説明できる。 	909講義室
38	07/11(木)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	19. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線 (2) <ul style="list-style-type: none"> ● 原子核の構造を説明できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 放射線の種類と性質を説明できる。 ● 放射線の医療への応用について説明できる。 	909講義室
39	07/16(火)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	19. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線 (3) <ul style="list-style-type: none"> ● 原子核の構造を説明できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 放射線の種類と性質を説明できる。 ● 放射線の医療への応用について説明できる。 	909講義室

<物理学(標準)>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/10(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	1.物理学の構成、2.単位・次元・次元解析 <ul style="list-style-type: none"> ● 物理学がどのような科学か説明できる。 ● S I 基本単位の定義とその意義を説明できる。 ● 基本単位を組み合わせた組立単位を説明できる。 ● 次元解析の方法を説明できる。 	1001講義室
2	04/17(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	3.運動の記述 <ul style="list-style-type: none"> ● 運動の記述に必要な物理量の定義を理解し、それらの間の関係を説明できる。 	1001講義室
3	04/19(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	4.運動の法則 <ul style="list-style-type: none"> ● 力 (ベクトル量) の合成と分解ができる。 ● 慣性の法則を理解し、その法則が成り立つ現象を例示できる。 ● 力と加速度の間に比例関係があることを説明できる。 ● 物体の運動を運動方程式で記述することができる。 ● 作用・反作用の法則を説明できる。 	1001講義室
4	04/24(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5.さまざまな運動 <ul style="list-style-type: none"> ● 抵抗力のある場合の落下運動を説明できる。 ● 微分方程式の意味を考察できる。 ● 微分方程式の解を求めることができる。 	1001講義室
5	04/26(金)4	講義	鴨下 淳一	6.仕事とエネルギー	1001講義

	限		古澤 彰浩	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事の定義を説明できる。 ● 保存力について説明できる。 ● 運動エネルギーと位置エネルギーについて、力学的エネルギーと保存法則と関連づけて説明できる。 ● 運動量の変化と力積の関係を説明できる。 	室
6	05/08(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	7.二体問題と剛体 <ul style="list-style-type: none"> ● 質点系と剛体の運動方程式を導くことができる。 ● 弾性衝突と非弾性衝突の違いを説明できる。 ● 運動量保存則を説明できる。 	1001講義室
7	05/10(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8.回転運動 <ul style="list-style-type: none"> ● 力のモーメントを説明し、計算できる。 ● 質点と剛体の角運動量を説明できる。 ● 中心力と角運動量保存則の関係を説明できる。 	1001講義室
8	05/15(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9.弾性変形と弾性率 <ul style="list-style-type: none"> ● 応力とひずみの関係をフックの法則を使って説明できる。 ● ヤング率とポアソン比を説明できる。 ● ずれ弾性率、体積弾性率を説明できる。 	1001講義室
9	05/17(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	10.静止流体と圧力 <ul style="list-style-type: none"> ● 圧力の単位の換算ができる。 ● 静止流体の高さと圧力の関係を説明できる。 	1001講義室
10	05/22(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11.ベルヌーイの定理 <ul style="list-style-type: none"> ● 連続の式を説明できる。 ● ベルヌーイの定理を説明できる。 	1001講義室
11	05/24(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	12.粘性流体 <ul style="list-style-type: none"> ● 圧力、流量、流速と粘性抵抗を説明できる。 ● ハーゲン-ポアズイユの法則を説明できる。 ● レイノルズ数について説明できる。 ● 流体による抗力を説明できる。 	1001講義室
12	05/29(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	13.振動 <ul style="list-style-type: none"> ● バネや単振り子の運動を説明できる。 ● 振動をグラフや数式で表すことができる。 ● 角振動数や波数、周期などの量を説明できる。 	1001講義室
13	05/31(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	14.波動の基本的性質 <ul style="list-style-type: none"> ● 周期的波動のフーリエ変換について説明できる。 ● 進行波と定在波の違いを説明できる。 ● 波動を数式で表し、その基本的な量について説明できる。 ● 波の減衰について考察できる。 	1001講義室
14	06/05(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	15.音 <ul style="list-style-type: none"> ● 音の性質、音の合成によるうなりを説明できる。 ● 超音波の性質を説明できる。 ● ドップラー効果を説明できる。 	1001講義室
15	06/07(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	16.光 <ul style="list-style-type: none"> ● 電磁波を定義し、実例を列挙できる。 ● 光の反射と散乱を説明できる。 ● 光の屈折とその性質を説明できる。 ● 光の全反射とその応用例を説明できる。 	1001講義室
16	06/12(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	17.光の回折と干渉 <ul style="list-style-type: none"> ● 薄膜や2重スリットによる回折と干渉を説明できる。 ● 丸穴による回折と干渉について説明できる。 ● 視力について説明できる。 ● 分解能を説明できる。 	1001講義室
17	06/14(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	18.電荷と物質構造 <ul style="list-style-type: none"> ● 電荷保存則を説明できる。 ● クーロンの法則を説明できる。 ● 電気素量について説明できる。 	1001講義室
18	06/19(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	19.電場と電位 <ul style="list-style-type: none"> ● 近接作用と、電場の概念を説明できる。 ● 電場の仕事と電位の関係を説明できる。 ● 電場に関するガウスの法則を説明できる。 	1001講義室
19	06/21(金)5限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	20.導体と誘電体 <ul style="list-style-type: none"> ● 静電誘導と誘電分極の違いを説明できる。 ● コンデンサーを概説できる。 	1001講義室

				● 導体の性質を説明できる。	
20	06/26(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	21.定常電流 ● オームの法則を説明できる。 ● ジュールの法則を説明できる。 ● 起電力を説明できる。 ● キルヒホッフの法則を用いて回路を流れる電流を計算できる。 ● 直流と交流の違いを説明できる。	1001講義室
21	06/28(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	22.磁場 ● 磁場のガウスの法則とアンペールの法則を説明できる。 ● 磁気的基本的性質について説明できる。 ● 電流がつくる磁場について説明できる。	1001講義室
22	07/03(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	23.電流と磁場 ● ファラデーの電磁誘導の法則を説明できる。	1001講義室
23	07/05(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	24.電磁誘導 ● コイルを含む回路について計算できる。 ● インダクタンスについて説明できる。	1001講義室
24	07/10(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	25.原子核、放射線（1） ● 原子核の構造を説明できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 原子核崩壊と放射線の種類について説明できる。	1001講義室
25	07/12(金)4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	25.原子核、放射線（2） ● 質量とエネルギーの関係を説明できる。 ● 原子核崩壊における保存法則について説明できる。	1001講義室
26	07/17(水)3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	25.原子核、放射線（3） ● 放射性同位元素の医療への応用例を説明できる。 ● PETやSPECTの基本原理を説明できる。	1001講義室

<物理学>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/04(金)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（1） ● 液体の表面張力を分子間力から説明できる。 ● 表面張力の定義を説明できる。 ● 表面張力とエネルギーとの関係を説明できる。	909講義室 1001講義室
2	10/11(金)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（2） ● 液体表面に蓄えられるエネルギーと表面の形状の安定性について定性的に考察できる。 ● 表面張力による現象（毛細管現象など）を説明できる。	909講義室 1001講義室
3	10/18(金)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（3） ● ラプラスの法則を理解し、膜に囲まれた流体の内圧を計算できる。 ● 肺コンプライアンスについて説明できる。 ● 肺胞の界面活性物質の役割を説明できる。	909講義室 1001講義室
4	10/25(金)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（4） ● 気道抵抗について説明できる。 ● 血液循環における血管の弾性の役割を説明できる。	909講義室 1001講義室
5	11/01(金)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（1） ● 気体の熱運動を説明できる。 ● 熱とは何か説明できる。 ● 理想気体の状態方程式を説明できる。	909講義室 1001講義室
6	11/08(金)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（2） ● 内部エネルギーを説明できる。 ● 生命現象におけるエネルギー変化に対しても熱力学法則が適用できることを概説できる。 ● 熱力学第一法則を応用できる。 ● 熱の出入りと仕事を計算できる。	909講義室 1001講義室
7	11/15(金)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（3） ● 可逆過程と不可逆過程について説明できる。 ● 熱力学のエントロピーを説明できる。 ● 熱力学の第2法則を説明できる。	909講義室 1001講義室
8	11/22(金)2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（4） ● 拡散を熱運動から説明できる。 ● 統計力学のエントロピーを説明できる。	909講義室 1001講義室

9	11/29(金)2 限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学 (5) ● エンタルピー、エントロピーを説明できる。 ● 反応が進む条件を説明できる。	909講義室 1001講義 室
10	12/06(金)2 限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学 (6) ● ギブスの自由エネルギーを説明できる。 ● 反応が進む条件を自由エネルギーの観点から説明できる。	909講義室 1001講義 室
11	12/13(金)2 限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学 (7) ● 浸透圧を自由エネルギーから説明できる。	909講義室 1001講義 室
12	12/20(金)2 限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学 (8) ● 膜電位を自由エネルギーから説明できる。	909講義室 1001講義 室
13	01/10(金)2 限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学 (9) ● 標準ギブスエネルギー変化と平衡定数の関係を説明できる。 ● 化学平衡を自由エネルギーから説明できる。 ● 反応が自発的に進む条件を検討できる。	909講義室 1001講義 室

化学

【教育目標】

化学は物質の構造、性質および反応性を知るための学問である。生体を構成する成分は20余種の元素からなっており、主な元素は炭素、水素、酸素、窒素、硫黄、リンなどである。生体は約60%が水分、約4%が無機質、そして残りが有機化合物、すなわちアミノ酸、タンパク質、糖質、脂質、核酸などからなっている。また、生体中の無機質や有機化合物は水の存在下で種々の生理的機能を発揮している。したがって、生体中の無機質や有機化合物の化学的な性質・反応性に関する知識をもつことは、生体の生理的機能を解明する学問である生化学や生理学、薬物の作用を解明する学問である薬理学、生体を取り巻いている環境と生体との関わりを解明する学問である公衆衛生学、病態を解明する学問である病理学、病態を生体内化学物質の検査値で推察する臨床検査学などを理解する上で必要である。以上のような観点から、医学生に対する初年次教育としての講義と実習を行う。

講義では生命と化学の接点、原子の構造と性質、化学結合、溶液の化学、酸・塩基と酸化・還元、反応速度と自由エネルギー、有機化合物の構造と種類、有機化学反応、生体構成物質の化学、活性酵素と生体内で生じるガス分子の化学について学ぶ。また、実習では分子模型や生体成分を使った実験を行って、基本的な有機化合物と生体成分の構造、性質および反応性を理解する。

【学修目標】

原子の構造と性質を説明できる。

化学結合と分子間に働く相互作用を説明できる。

電離平衡・緩衝作用と酸化・還元を説明できる。

反応速度論を説明できる。

基本的な有機化合物をIUPAC命名法で命名できる。

基本的な有機化合物の構造と化学的性質を説明できる。

基本的な有機化学反応を説明できる。

主な生体構成成分の構造と化学的性質を説明できる。

生体内における活性酸素種の生成系・消去系と、それらの生体に対する作用を説明できる。

生体内における一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の生成系と、それらの生体に対する作用を説明できる。

医学研究や医学論文で用いられる基本的な化学用語を英語で表記できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

講義前に、あらかじめ教科書の該当部分を一読しておくこと。講義後は、教科書の章末問題を参照するなどして講義内容を復習すること。また、Smart Discussionで配信した資料中の化学英語の課題を完成させること。講義で理解できなかった部分については、教科書や資料を丹念に読み、また質問するなどして解決し、理解できないままに放置しないこと。

実習では、事前に実習書を読み、実験内容をよく把握しておくこと。実習後は、実習内容と関連する講義内容について実習書の章末問題で復習すること。

それぞれ約30分程度を目安とする。

【評価】

試験（卒業コンピテンシー IV-1、V-1,3,4、パフォーマンス・レベルD）

- ・講義内容に基づく中間試験（筆記）2回 [I : 6月、II : 前期試験期間]
- ・実習内容と実習に関連した講義内容に基づく定期試験（筆記） [後期試験期間]
- ・実習小テスト（多肢選択） [各実習時間]

によって、総合的に行う。ただし、定期試験が不合格である場合は、総合評価は不合格となる。

【フィードバック】

- ・講義の中で行う試問で、学習過程の最中に理解度を確認させる。
- ・化学英語の課題は解答を示す。
- ・中間試験 I、II と定期試験の結果について、希望者に採点結果を解説する。
- ・実習小テストは解答および解説を示す。
- ・実習終了時に提出する報告書は確認後返却する。

【教科書】

「メディカル化学 — 医歯薬系のための基礎化学」 齋藤勝裕、太田好次、山倉文幸、八代耕児、馬場 猛 著
 (裳華房)
 「医学部化学実験」 (無償配布)

【推薦参考書】

「イラストレイテッド生化学 原書7版 (リップンコットシリーズ)」 石崎泰樹、丸山敬 監訳 (丸善)
 「ライフサイエンスのための化学」 安藤祥司、熊本栄一、坂本寛、弟子丸正伸 著 (化学同人)
 「絶対わかる化学の基礎知識」 齋藤勝裕 著 (講談社)
 「絶対わかる化学結合」 齋藤勝裕 著 (講談社)
 「絶対わかる無機化学」 齋藤勝裕 著 (講談社)
 「絶対わかる有機化学」 齋藤勝裕 著 (講談社)

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室、9階909講義室

【実習場所】

大学1号館地下1階実習室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・化学>

担当者名	曜日	時間	場所
八代 耕児 准教授	月曜～金曜	16:00～18:00	大学2号館8階803,805

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
太田 好次 客員教授		※講義終了後に対応	

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館 7 階706
角川 裕造 教授	月曜～金曜	16:00～18:30	大学2号館7階703
守口 匡子 講師	月曜～金曜	9:00～19:00	大学2号館7階703

【授業日程】

<化学>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/10(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	生命と化学の接点 A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 細胞膜の構造と機能を説明できる。 ● 生命の基本単位である細胞のしくみと生体分子の関連性を説明できる	909講義室 1001講義室

2	04/17(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	原子の構造と性質 A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 E-6-1) 生体と放射線 ○ 放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位を説明できる。 ● 原子核の構造を概説できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 電子のスピン、パウリの排他率とフントの法則を説明できる。 ● 電子の軌道を説明できる。 ● 周期表にしたがって、原子の大きさ、電気陰性度、イオン化エネルギーを説明できる。 ● 電子親和力を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
3	04/19(金)5限	講義	八代 耕児 太田 好次	化学結合と混成軌道① A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● イオン結合、金属結合と共有結合を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
4	04/24(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	化学結合と混成軌道② A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 炭素原子を例にとり、混成軌道を説明できる。 ● 単結合、二重結合と三重結合を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
5	04/26(金)5限	講義	八代 耕児 太田 好次	結合のイオン性と分子間力 A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 共有結合のイオン性を説明できる。 ● 電気陰性度と電子の動きによる官能基の反応性を説明できる。 ● 水素結合、ファンデルワールス相互作用等の弱い結合を説明できる。 ● n-n相互作用、疎水性相互作用等の分子間の相互作用を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
6	05/08(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	配位結合と有機金属化合物 溶液の化学 A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成を説明できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 配位結合を説明できる。 ● 生体における錯体を説明できる。 ● 微量元素の種類と作用を説明できる。 ● 当量と当量濃度を説明できる。 ● 浸透圧濃度と容量オスモル濃度を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
7	05/10(金)5限	講義	八代 耕児 太田 好次	酸・塩基と酸化・還元 A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。) ● 電離平衡と緩衝作用を説明できる。 ● 生体における溶液中の電離平衡を概説できる。 ● Henderson-Hasselbalch (ヘンダーソン・ハッセルバルヒ) の式を説明できる。 ● 酸化還元電位と標準水素電極を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
8	05/15(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	反応速度① A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 一次反応、二次反応等の反応速度や速度式を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
9	05/17(金)5限	講義	八代 耕児 太田 好次	反応速度② A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。	909 講義室 1001

				C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能を説明できる。 ● 酵素反応の特徴を説明できる。 ● Michaelis-Menten (ミカエリス・メンテン) の式を説明できる。 ● Lineweaver-Burk (ラインウィーバー・バーク) プロットを説明できる。	講義室
10	05/22(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類① A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 炭化水素を分類し、その化学的性質を説明できる。 ● 有機化合物の命名法を説明できる。 ● 単結合、二重結合と三重結合を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
11	05/24(金)5限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類② A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 環状構造とその性質を説明できる。 ● 芳香族性 (ヒュッケル則) を説明できる。 ● 主な芳香族化合物を列挙し、その化学的性質を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
12	05/29(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類③ A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ● 主なアルコール、フェノールおよびエーテルをIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ● 主なアルコール、フェノールおよびエーテルを列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
13	05/31(金)5限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類④ A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ● 主なアルデヒド、ケトンおよびカルボン酸とその誘導体をIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ● 主なアルデヒド、ケトンおよびカルボン酸とその誘導体を列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
14	06/05(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類⑤ A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ● 主なアミンとその関連化合物および硫黄化合物をIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ● 主なアミンとその関連化合物および硫黄化合物を列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
15	06/12(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の異性体① A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 光学異性体、立体異性体と幾何異性体の性質と特徴を説明できる。 ● Fischer (フィッシャー) 投影式を説明できる。 ● RS絶対配置を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
	06/14(金)5限	中間試験	八代 耕児 太田 好次	中間試験 I	603 講義室
16	06/19(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の異性体② A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 立体配座異性体の性質と特徴を説明できる。 ● Newman (ニューマン) 投影式を説明できる。	909 講義室 1001 講義室
17	06/21(金)4	講義	八代 耕児	有機化学反応①	909

	限		太田 好次	A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 電気陰性度と電子の動きによる官能基の反応性を説明できる。 ● 置換反応と脱離反応を説明できる。	講義 室 1001 講義 室
18	06/26(水)4 限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化学反応② A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 付加反応、転移反応と酸化還元反応を説明できる。 ● 生体内で見られる有機化学反応を分類できる。	909 講義 室 1001 講義 室
19	06/28(金)5 限	講義	八代 耕児 太田 好次	脂質① A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (脂質の合成と分解を説明できる。) ● 脂質の種類と性質を説明できる。 ● 脂肪酸の種類と性質を説明できる。 ● 脂肪酸を慣用名と種々の表記法で命名できる。 ● 必須脂肪酸を説明できる。 ● 脂肪酸の過酸化反応を説明できる。	909 講義 室 1001 講義 室
20	07/03(水)4 限	講義	八代 耕児 太田 好次	脂質② A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (脂質の合成と分解を説明できる。) ● 脂質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。	909 講義 室 1001 講義 室
21	07/05(金)5 限	講義	八代 耕児 太田 好次	脂質③ 糖質① A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能を説明できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (解糖の経路と調節機構を説明できる。) ○ (五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。) ○ (脂質の合成と分解を説明できる。) ● 脂質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● コレステロールの環状構造とその性質を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 生体膜中の脂質の役割を説明できる。 ● 単糖類の種類と性質を説明できる。 ● 単糖類の環状構造とその性質を説明できる。	909 講義 室 1001 講義 室
22	07/10(水)4 限	講義	八代 耕児 太田 好次	糖質② A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (解糖の経路と調節機構を説明できる。) ○ (五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。) ● 単糖類の環状構造とその性質を説明できる。 ● Haworth (ハース) 投影式を説明できる。 ● 二糖類の種類と性質を説明できる。	909 講義 室 1001 講義 室
23	07/10(水)5 限	講義	八代 耕児 太田 好次	糖質③ A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。) ● 多糖類の種類と性質を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 炭水化物の基本的な構造と機能を説明できる。 ● 糖とタンパク質との非酵素的反応を説明できる。	909 講義 室 1001 講義 室

24	07/12(金)5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>アミノ酸とタンパク質</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。) ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ● アミノ酸が両性電解質であることと等電点を説明できる。 ● 必須アミノ酸を列挙できる。 	909 講義室 1001 講義室
25	07/17(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>アミノ酸とタンパク質</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (タンパク質の合成と分解を説明できる。) ● タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 水素結合、ファンデルワールス力等の弱い結合を説明できる。 ● タンパク質の変性を説明できる。 	909 講義室 1001 講義室
26	07/17(水)5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>核酸①</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路を説明できる。) ● 塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの種類と性質を説明できる。 ● ヌクレオチド構造を有する生理活性物質を列挙し、それらの働きを説明できる。 	909 講義室 1001 講義室
27	07/19(金)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>核酸②</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 ○ デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節(セントラルドグマ)を説明できる。 ● 核酸の構造と機能を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 水素結合、ファンデルワールス力等の弱い結合を説明できる。 ● n-n相互作用や疎水性相互作用等の分子間の相互作用を説明できる。 	909 講義室 1001 講義室
28	07/24(水)4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>活性酸素の化学</p> <p>生体内で生じるガス状シグナル分子の化学</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。 ○ 酸化ストレス(フリーラジカル、活性酸素)の発生と作用を説明できる。 ● 活性酸素を列挙し、その化学構造と性質を説明できる。 ● 生体内におけるフリーラジカルと活性酸素の消去系を説明できる。 ● 一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の化学構造と性質を説明できる。 ● 生体内における一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の生成系と作用を説明できる。 	909 講義室 1001 講義室

<化学(実習)>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	11/15(金)4限	実習	八代 耕児 太田 好次	分子模型を用いた有機化合物の立体構造に関する実験	B1共同実習室
2	11/15(金)5限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子	<p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 ● 有機化合物の立体構造を説明できる。 ● 光学異性体、立体異性体と幾何異性体の性質と特徴を説明できる。 ● RS絶対配置を説明できる。 ● 環状構造とその性質を説明できる。 	

				● 立体配座異性体の性質と特徴を説明できる。	
3	11/22(金)4限	実習	八代 耕児 太田 好次 吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子	糖の化学的性質に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (解糖の経路と調節機構を説明できる。) ● 単糖類、二糖類と多糖類の種類と性質を説明できる。 ● 炭水化物の基本的な構造を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 糖の特異的反応を説明できる。	B1共同実習室
4	11/22(金)5限	実習			
5	11/22(金)6限	実習			
6	11/29(金)4限	実習	八代 耕児 太田 好次 吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子	アミノ酸とタンパク質の化学的性質に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (タンパク質の合成と分解を説明できる。) ○ (アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。) E-5-3)-(1) 中毒 ○ 重金属による中毒を概説できる。 ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ● アミノ酸の薄層クロマトグラフィーの原理について説明できる。 ● タンパク質の特異的反応を説明できる。 ● 水素結合、ファンデルワールス相互作用などの弱い結合を説明できる。 ● タンパク質の基本的な構造を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。	B1共同実習室
7	11/29(金)5限	実習			
8	11/29(金)6限	実習			
9	12/06(金)4限	実習	八代 耕児 太田 好次 吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子	核酸の化学的性質に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ (デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。) ○ (デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節(セントラルドグマ)を説明できる。) ● 塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの種類と性質を説明できる。 ● 核酸の構成成分の化学的性質を説明できる。 ● 塩基の分光学的性質を説明できる。 ● Lambert-Beer (ランベルト・ベール) の法則を説明できる。	B1共同実習室
10	12/06(金)5限	実習			
11	12/06(金)6限	実習			
12	12/13(金)4限	実習	八代 耕児 太田 好次 吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子	酵素反応に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能を説明できる。 ● 酵素反応の特徴を説明できる。 ● 電離平衡と緩衝作用を説明できる。	B1共同実習室
13	12/13(金)5限	実習			
14	12/13(金)6限	実習			

細胞の生理

【教育目標】

多細胞生物では体細胞は動物の皮膚に包まれた体内の海というべき細胞外液に浸かっている。一方、体細胞内にも大量の液体、すなわち細胞内液が存在しているが、細胞膜によって隔離されているために細胞外液と細胞内液の組成は大きく異なっている。生理学では内部環境を維持するための個々器官の複雑な相互作用を理解しなければならない。すなわち、内部環境を維持するためには、生体外の“不秩序”な環境から生体内の内部環境を“隔離”する必要があるが、一方、内部環境を維持するためには“開放系”として、酸素・栄養素・排泄物・熱の交換や情報の交換を行う必要がある。

細胞の生理では生命を維持する媒体として細胞外液や細胞内液の重要性を理解した上で、生理学の基本となる物質の移動や物質の膜透過を物理化学的に理解することを目標とする。この理解には細胞外液や細胞内液に存在する水、イオン、高分子やタンパク質だけでなく膜タンパク質を物理化学的な視点から理解することが必要であり、これも重要な目標とする。

【学修目標】

生理現象における体液の重要性を説明できる。
物質の膜透過により生じる生理現象を論理的に説明できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

講義の前に参考資料を提示するので目を通してから講義に臨むこと。また、復習をしておくこと。目安としてそれぞれ30分程度の時間を要する。

【 評 価 】

- (1)知識（卒業コンピテンシー IV-1, 2, 4）、パフォーマンスレベルD
知識量と理解度を定期試験で評価する。実習レポート、実習中の態度などから総合的に評価する。
- (2)講義と実習の態度（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンスレベルC
医学生としての講義における受講態度、実習に積極的に参加したかの受講態度を評価する。

【フィードバック】

定期試験結果については、希望者については学習指導を行う。
実習レポートについてはコメントを付けて返却をする。

【教科書】

なし

【推薦参考書】

- 「オックスフォード・生理学 4版」Pocock・Richards著 岡野・植村・鯉淵 監訳（丸善）（2年次の科目である生理学の指定教科書）
「ギャノン生理学 原書24版」Barrett・Barman・Boitano・Brooks著 岡田泰伸 監訳（丸善）（2年次の科目である生理学の指定教科書）
「カラー版 ボロン ブールペープ 生理学」Boron・Boulpaep著 泉井亮 総監訳（西村書店）
「症例問題から学ぶ生理学 原書3版」鯉淵典之 監訳（丸善出版）

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室、12階IT学習室

【実習場所】

医学部 1号館 地下1階実習室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・生理化学>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 昭 教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	大学 2号館 8階803

<医学部・生理学 I>

担当者名	曜日	時間	場所
長崎 弘 教授	月曜、水曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	大学 1号館 4階410
金子 葉子 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～17:00	大学 1号館 4階410
小谷 侑 助教	月曜～金曜	17:00～19:00	大学 1号館 4階410
河田 美穂 助教	月曜～金曜	17:00～19:00	大学 1号館 4階410

【授業日程】

<細胞の生理>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/04(金)1限	講義	中島 昭	細胞膜の役割 (1) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 ● 細胞膜の重要性を説明できる。	1001講義室
2	10/11(金)1限	講義	中島 昭	細胞膜の役割 (2) C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 ● 細胞膜の重要性を説明できる。 ● 細胞膜を介しての物質の拡散・浸透・透過を説明できる。	1001講義室
3	10/18(金)1限	講義	中島 昭	体内の水 (1) C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○ 生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○ 恒常性維持のための調節機構 (ネガティブフィードバック調節) を説明できる。 ● 体内の水分量の調節メカニズムを説明できる。	1001講義室
4	10/25(金)1限	講義	中島 昭	体内の水 (2) C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○ 生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○ 恒常性維持のための調節機構 (ネガティブフィードバック調節) を説明できる。 ● 水の構造・性質・運動を説明できる。 ● 水の重要性を説明できる。	1001講義室
5	11/01(金)1限	講義	中島 昭	水和 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ● 高分子の水和を説明できる。 ● イオンの水和を説明できる。	1001講義室
6	11/08(金)1限	講義	中島 昭	生体高分子 (1) C-1-2)-(1) 生物の進化	1001講義室

				<p>○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <p>○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 	
7	11/15(金)1限	講義	中島 昭 小谷 侑	<p>生体高分子 (2)</p> <p>C-1-2)-(1) 生物の進化</p> <p>○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タンパク質の二次構造を説明できる。 	1201IT 学習室
8	11/22(金)1限	講義	中島 昭 小谷 侑	<p>生体高分子 (3)</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <p>○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 膜タンパク質の高次構造を理解できる。 	1201IT 学習室
9	11/29(金)1限	講義	中島 昭	<p>膜透過 (1)</p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <p>○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 拡散と混合を説明できる。 ● 細胞膜の構造とその形成機序を説明できる。 	1001講 義室
10	12/06(金)1限	講義	中島 昭	<p>膜透過 (2)</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <p>○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 単純拡散と促進拡散を説明できる。 ● 拡散の法則を説明できる。 ● 能動輸送と二次的能動輸送を説明できる。 	1001講 義室
11	12/13(金)1限	講義	中島 昭	<p>膜電位 (1)</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <p>○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。</p> <p>○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ネルンストの式と平衡電位を説明できる。 ● 膜電位を計算できる。 	1001講 義室
12	12/20(金)1限	講義	中島 昭	<p>膜電位 (2)</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <p>○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。</p> <p>○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ネルンストの式と平衡電位を説明できる。 ● 膜電位を計算できる。 	1001講 義室
13	01/10(金)1限	講義	中島 昭	<p>浸透圧と有効浸透圧</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <p>○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 浸透圧と有効浸透圧の違いを説明できる。 ● 溶液の濃度を計算できる。 	1001講 義室
14	01/15(水)4限	実習	中島 昭 長崎 弘 金子 葉子 小谷 侑 河田 美穂	<p>溶液作製および物質の膜透過に関する実験(実習)</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <p>○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生理的代用液を作製できる。 ● 浸透圧を説明できる。 	B1共同 実習室
15	01/15(水)5限	実習			
16	01/15(水)6限	実習			
17	01/17(金)4限	実習	中島 昭 長崎 弘 金子 葉子 小谷 侑 河田 美穂	<p>物質の拡散および物質の膜透過に関する実験 (実習)</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <p>○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ストークス・アインシュタインの式を説明できる。 ● 透過率と吸光度の関係を説明できる。 ● Lambert-Beerの法則、モル吸光係数を説明できる。 ● 溶血現象を応用した物質の膜透過現象を説明できる。 	B1共同 実習室
18	01/17(金)5限	実習			
19	01/17(金)6限	実習			

細胞から個体へ

[教育目標]

解剖学教育の目標とは、「6年かけて臨床医学を学ぶために必要な人体の構造・機能・名称の基礎的知識の習得」です。皆さんは人体の設計図を頭に入れて、医学全体を学ぶ素地をつくって下さい。人体の構造は細胞からつくられます。細胞が規則性をもって集まり4種類の組織がつくられ、さらにこれらの組織が規則性をもって集まり器官をつくれ、器官が組み合わさり器官系が、器官系が組み合わさりヒトという個体が、つくられてます。組織標本を顕微鏡を用いて観察し、その構造と機能の関係から個体の構造を学ぶのが「組織学」という学問です。この「細胞から個体へ」においては、まず「組織学」を学びます。また、この人体の構造が胎児の時期にどのような過程を経てできあがり、また先天異常という病態がなぜ起こるか、を時間軸上で考える学問である「発生学」も学びます。全体として、病気が構造と機能の異常であるということを知り、それを学ばせたいとします。

[学修目標]

光学顕微鏡と電子顕微鏡の原理と、標本作製方法を説明できる。
細胞の構造と機能を説明できる。
細胞の生活現象（分泌・吸収・運動）と細胞の一生（細胞増殖・細胞死・組織の再生）を説明できる。
細胞の種類や細胞内構造を光学顕微鏡と電子顕微鏡写真において判別できる。
4種類の組織の構造と機能を説明できる。
4種類の組織を光学顕微鏡を用いて判別できる。
各器官の主な細胞について説明できる。
各器官を光学顕微鏡を用いて判別できる。
各器官の発生過程とその異常を説明できる。

[身につける能力]

卒業コンピテンシ・コンピテンシー参照
(I-1パフォーマンス・レベルC、IV-1,2パフォーマンス・レベルD)

[授業形態]

授業では講義と実習があります。講義で学んだ内容について実習を行います。画像としての情報を提供し講義時間内で全体像を把握できるように、講義・実習を合わせて一つと考えて授業計画を考えています。

【講義】 まず講義・実習で学ぶ内容を予習するためのきっかけを教科書を使い解説します。器官・組織・細胞の構造と機能の関係、将来に出会う主な疾患を学ぶために画像教材や新聞記事・教科書以外の書籍の資料を用いて、高校までの復習、現代科学の最先端、関連する社会問題を理解します。次に、実習で学ぶ人体構造・顕微鏡標本について解説します。基本的な顕微解剖学の項目を、機能を中心に学びます。さらに、解剖学用語の日本語と英語の綴り、授業内容に密接な内容でCBTや医師国家試験で必要となる項目を学びます。

【実習】 まず模型や立体画像、一部は生の細胞・動物器官を用いて、説明を行う。次に、光学顕微鏡を使用して、ヒト各器官の組織標本を観察して基本的な微細構造を理解し、電子顕微鏡写真と免疫組織化学等の特殊染色標本を観察して、構造と機能について理解を深めます。特徴的な細胞・組織の構造については、TVモニターにて別途に供覧します。顕微鏡は、聴診器とともに医学生・医師が一生身近に置いて使える代表的な診断器具です。顕微鏡に慣れ親しんで下さい。光学顕微鏡標本作製法や電子顕微鏡の見学を行います。基本的な標本作製法である血液塗沫標本・H&E染色標本について、時間の許す限り見学・体験する機会を図ります。発生学実習では、動物精子、妊娠・出産模型、二フトリ全胚・切片標本を観察して、胎児の発達と成熟過程を理解します。組織学の学術用語については、顕微鏡標本をスケッチする際に学ぶ機会を特に設けます。

[授業内容]

人体の基本的な構成要素は細胞です。細胞が集まって機能を営むようになった構造が組織で、上皮組織・結合組織・筋組織・神経組織の4種類があります。この4種類の組織が特有の配列をして、独立して機能する器官を作ります。人体には12種類の器官系があります。器官系とは、例えば消化器系は、食道・胃・腸・肝臓・膵臓などの器官の集まりで、食物の消化吸収というひとつの大きな仕事を営みます。肉眼で人体を観察した場合、ひとつひとつの器官は観察できますが、器官を形作っている細胞や組織を観察するには、顕微鏡で拡大して見る必要があります。

第一に、組織学総論において人体を構成する基本単位である細胞の構造と、細胞の集団としての4種類の組織について学びます。

第二に、細胞の構成成分、幹細胞からの分化、細胞増殖・組織再生など細胞・組織の機能の基礎的原理となる細胞生物学の初歩を学びます。

第三に、それらの組織からどのように器官が構成されているかを組織学各論（器官組織学）において学びます。

第四に、発生学においては、胎児において器官ができあがる過程と、その先天異常について学びます。細胞の形態に加えて、その生き様・機能をDNAと蛋白質の視点から把握する事が、再生医学などの先端的な医学の理

解に必要なになっている事に配慮して、組織学から派生した学問である神経生物学・細胞生物学・発生生物学・進化生物学の知見も必要に応じて合わせて学ぶ予定です。

【学習の心構え】

組織学において学習する事柄は増すばかりですが、講義・実習時間は限られています。組織学は、「百聞は一見に如かず」の言葉のとおりです。目標達成のためには自学によって理解を深める事が必要なので、十分な予習・復習を行い、真摯な気持ちで講義と実習の場に臨んで下さい。

【準備学習（予習・復習等）】

予習復習用の課題集を初回講義で配信します。読んでおくべき教科書の章・頁が記入してあるので、参考にして下さい。講義の前には教科書「入門組織学」とデジタルの配布資料を読み（30分程度）、講義後にはノートを整理し配布問題集を解くこと（30分程度）。医師になるためにはそれだけの勉強が最低限必要です。また、ICT教育として、Moodleを用いたe-ラーニングでも予習・復習ができるようにしますので、小テストおよび定期テストの準備に活用してください。

【フィードバック】

実習においては、顕微鏡標本のスケッチと共に、各回の重要項目についてのレポート作成を求めます。スケッチとレポートについては、授業時間内で解説を行い、提出を求め、コメントを付けて返却します。また、実習時間後半では、アクティブラーニングとして、講義実習内容についての5択問題を指名して解答してもらい、学生の理解度を測ります。小テストを4回行い、その都度に各人の得点とクラス内順位をお伝えするので、自身の理解度を知る目安としてください。小テスト終了後に解説を行い、オフィスアワーにおいて必要に応じ指導します。小テスト・スケッチ・レポート・定期試験を総合評価します。

【教科書】

1. 「ぜんぶわかる人体解剖図」 坂井建雄・橋本尚詞（成美堂出版）
2. 「入門組織学 改訂第2版」 牛木辰雄（南江堂）
3. 「医学要点双書 発生学 第6版」 藤本十四秋・受島敦美（金芳堂）
4. 「Junqueira's Basic Histology 14th ed.」 Mescher AL.（McGraw-Hill Education）

【推薦参考書】

1. 「Langman's Medical Embryology」 Sadler W.（Lippincott）
2. 「新発生学」 白澤信行（日本医事新報社）

【授業時間】

後期9月30日から1月28日
 ・月曜日：3コマ目（一部4コマ目）
 ・火曜日：3・4・5・6コマ目

【使用する教室】

大学2号館 10階1001講義室

【実習場所】

大学1号館 地下1階実習室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・解剖学Ⅱ>

担当者名	曜日	時間	場所
深澤 元晶 講師	月曜/火曜	17:20～18:30	大学1号館8階806

齊藤 成	講師	月曜/火曜	17:20~18:30	大学1号館8階806
石嶺 久子	助教	月曜~金曜 (前期) 月曜/火曜 (後期)	12:30~13:20, 16:00~17:00 (前期) 17:20~18:30 (後期)	大学1号館8階806

<医学部>

担当者名	曜日	時間	場所
永津 郁子	名誉教授		※講義終了後に対応

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
野田 亨	客員教授		※講義終了後に対応
川井 範夫	客員教授		※講義終了後に対応
中井 さち子	客員教授		※講義終了後に対応
新美 元	客員講師		※講義終了後に対応
小久保 正博	客員助教		※講義終了後に対応

[授業日程]

<細胞から個体へ>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	09/30(月)3限	講義	深澤 元晶	<総論 解剖学入門> ● 顕微解剖学について説明できる。	1001 講義室
2	09/30(月)4限	講義	深澤 元晶	<総論 細胞の構造> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○ 小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ ミトコンドリアの構造と機能を説明できる。 ○ 細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○ 細胞膜の構造と機能を説明できる。 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○ 細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○ 細胞内輸送システムを説明できる。 ○ 微小管の役割や機能を説明できる。 ● 細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。	1001 講義室
3	10/01(火)3限	講義	深澤 元晶	<総論 実習入門> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ● 細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。 ● 顕微鏡・標本の正しい取り扱い方を図示・説明できる。	1001 講義室
4	10/07(月)3限	講義	齊藤 成	<総論 細胞の働き・細胞分裂> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜	1001 講義室

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○ 細胞内輸送システムを説明できる。 ● 細胞周期の各過程、周期の調節を概説できる。 	
5	10/07(月)4限	講義	深澤 元晶	<p><総論 組織></p> <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ○ 支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。 ○ 神経組織の微細構造を説明できる。 ○ 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 	1001 講義室
6	10/08(火)3限	講義	齊藤 成	<p><総論 細胞の働き・細胞分裂></p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○ 小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○ 細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 <p>C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○ 微小管の役割や機能を説明できる。 	1001 講義室
7	10/15(火)3限	講義	齊藤 成	<p><総論 上皮組織></p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 	1001 講義室
8	10/21(月)3限	講義	深澤 元晶	<p><発生学(1) 入門：受精から胎児の発達></p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ○ 体節の形成と分化を説明できる。 ○ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 心血管系の形成過程を説明できる。 ○ 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○ 鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 <p>E-7-1) 胎児・新生児</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 器官系の個体発生を概説できる。 ● 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。 ● 妊娠の概略と体節形成を図示・説明できる。 	1001 講義室
9	10/28(月)3限	講義	深澤 元晶	<p><総論 筋組織></p> <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 <p>D-5-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 	1001 講義室
10	10/29(火)3限	講義	石嶺 久子	<p><総論 神経組織></p> <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 神経組織の微細構造を説明できる。 <p>C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。 ○ 軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。 <p>D-2-1)-(1) 神経系の一般特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○ 血液脳関門を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 脳機能と構造の関係を図示・説明できる。 	1001 講義室

11	11/05(火)3限	講義	石嶺 久子	<p><総論 支持組織> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。 D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨の構造と機能を説明できる。 ● 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。</p>	1001 講義室
12	11/11(月)3限	講義	深澤 元晶	<p><各論 器官①：脈管系・血液・骨髄・リンパ性器官・消化器系> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。 ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 ○ 心臓の構造を説明できる。 ○ 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 D-7-1) 構造と機能 ○ 消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。 ○ 肝の構造と機能を説明できる。 ○ 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 ○ 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ● 消化腺の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。 ● 血管壁の微細構造と役割を図示・説明できる。</p>	1001 講義室
13	11/12(火)3限	講義	齊藤 成	<p><各論 脈管系> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 ○ 心臓の構造を説明できる。 ○ 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ● 血管壁の微細構造と役割を図示・説明できる。</p>	1001 講義室
14	11/18(月)3限	講義	深澤 元晶	<p><発生学(2) 奇形と有害物質・染色体異常> ● 個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。</p>	1001 講義室
15	11/19(火)3限	講義	齊藤 成	<p><各論 血液・骨髄> D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明できる。</p>	1001 講義室
16	11/25(月)3限	講義	深澤 元晶	<p><発生学(3) 器官形成と奇形・胎児付属物> C-2-4) 個体の発生 ○ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 心血管系の形成過程を説明できる。 ○ 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○ 鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。</p>	1001 講義室
17	11/26(火)3限	講義	石嶺 久子	<p><各論 リンパ性器官> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 D-1-1) 構造と機能 ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。</p>	1001 講義室
18	12/02(月)3限	講義	齊藤 成	<p><発生学(4) 器官形成と奇形> C-2-4) 個体の発生 ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ○ 体節の形成と分化を説明できる。 ○ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 心血管系の形成過程を説明できる。 ○ 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○ 鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。</p>	1001 講義室

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 E-7-1) 胎児・新生児 <ul style="list-style-type: none"> ○ 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 ● 胎児付属物と双胎について図示・説明できる。 ● 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。 ● 器官系の個体発生を概説できる。 	
19	12/09(月)3限	講義	齊藤 成	<p><各論 器官②：呼吸器系・泌尿器系・生殖器></p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体節の形成と分化を説明できる。 <p>D-6-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肺胞におけるガス交換を説明できる。 <p>D-8-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を説明できる。 ● 肺、気管・気管支、胸膜の微細構造を図示・説明できる。 ● 泌尿器の各部の構造と機能を図示・説明できる。 ● 泌尿生殖器系各器官の形成過程を図示・説明できる。 	1001 講義室
20	12/16(月)3限	講義	深澤 元晶	<p><各論 生殖器></p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 <p>D-9-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 ○ 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。 ○ 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。 ○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 性周期発現と排卵の機序を説明できる。 	1001 講義室
21	01/06(月)3限	講義	深澤 元晶	<p><各論 器官③：内分泌・皮膚・感覚器></p> <p>D-3-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 皮膚の組織構造を図示して説明できる。 <p>D-11-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 乳房の構造と機能を説明できる。 <p>D-12-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンとその作用を列挙できる。 <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ● 視覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。 	1001 講義室
22	01/20(月)3限	講義	石嶺 久子	<p><各論 感覚器 聴覚器></p> <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ● 聴覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。 	1001 講義室

<細胞から個体へ(実習)>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/01(火)4限	実習	深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫 新美 元 小久保 正博	<p><総論(1) 顕微鏡観察法></p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 <p>C-2-2)-(2) 器官の位置関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 位置関係を方向用語(上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側)で説明できる。 ● 顕微解剖学について説明できる。 ● 顕微鏡・標本の正しい取り扱い方を図示・説明できる。 ● 顕微鏡の原理と観察法を図示・説明できる。 ● 細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。 	B1共 同実習 室
2	10/01(火)5限	実習			
3	10/01(火)6限	実習			
4	10/08(火)4限	実習	深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫 新美 元 小久保 正博	<p><総論(2) 細胞の働き・細胞分裂></p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞分裂の過程を図示し、説明できる。 ○ 細胞周期の各過程、周期の調節を概説できる。 ○ 核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○ 小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 	B1共 同実習 室
5	10/08(火)5限	実習			
6	10/08(火)6限	実習			

				<ul style="list-style-type: none"> ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 <ul style="list-style-type: none"> ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○微小管の役割や機能を説明できる。 ●細胞の機能を図示・説明できる。 <特別項目> 顕微鏡 標本作製見学 <特別項目> 顕微鏡 顕微鏡見学	
7	10/15(火)4限	実習	深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫 新美 元 小久保 正博	<総論(3) 上皮組織> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ○組織の再生の機序を説明できる。 	B1共同実習室
8	10/15(火)5限	実習			
9	10/15(火)6限	実習			
10	10/29(火)4限	実習	深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫 新美 元 小久保 正博	<総論(4) 筋組織・神経組織> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○神経組織の微細構造を説明できる。 ○筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 D-2-1)-(1) 神経系の一般特性 <ul style="list-style-type: none"> ○中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○血液脳関門を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ●脳機能と構造の関係を図示・説明できる。	B1共同実習室
11	10/29(火)5限	実習			
12	10/29(火)6限	実習			
13	11/05(火)4限	実習	深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫 新美 元 小久保 正博	<総論(5) 支持組織> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。 D-4-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ●骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。	B1共同実習室
14	11/05(火)5限	実習			
15	11/05(火)6限	実習			
16	11/12(火)4限	実習	深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫 新美 元 小久保 正博	<各論(1) 脈管系> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○心臓の構造を説明できる。 ○心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ●血管壁の微細構造と役割を図示・説明できる。	B1共同実習室
17	11/12(火)5限	実習			
18	11/12(火)6限	実習			
19	11/19(火)4限	実習	深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫 新美 元 小久保 正博	<各論(2) 血液・骨髄、発生学①> C-2-4) 個体の発生 <ul style="list-style-type: none"> ○配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ○体節の形成と分化を説明できる。 ○体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○心血管系の形成過程を説明できる。 ○胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 D-1-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○骨髄の構造を説明できる。 ○造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。 ○白血球の種類と機能を説明できる。 ●骨髄、血球の微細構造・機能・分化を図示・説明できる。 <特別項目> 顕微鏡 血液塗抹標本	B1共同実習室
20	11/19(火)5限	実習			
21	11/19(火)6限	実習			
22	11/26(火)4限	実習	深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫 新美 元 小久保 正博	<各論(3) リンパ性器官> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 D-1-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。 	B1共同実習室
23	11/26(火)5限	実習			
24	11/26(火)6限	実習			
25	12/03(火)3限	実習	深澤 元晶 齊藤 成	<各論(4) 消化器系 管・腺> D-7-1) 構造と機能	B1共同実習室

26	12/03(火)4限	実習	石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫	○消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。 ○肝の構造と機能を説明できる。 ○膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ●消化腺の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。	室
27	12/03(火)5限	実習	新美 元 小久保 正博		
28	12/03(火)6限	実習			
29	12/10(火)3限	実習	深澤 元晶	<各論(5) 呼吸器系> D-6-1) 構造と機能 ○肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。 ●肺、気管・気管支、胸膜の微細構造を図示・説明できる。	B1共同実習室
30	12/10(火)4限	実習	齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨		
31	12/10(火)5限	実習	川井 範夫 新美 元		
32	12/10(火)6限	実習	小久保 正博		
33	12/17(火)3限	実習	深澤 元晶	<各論(6) 泌尿器系、発生学②> C-2-4) 個体の発生 ○消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○心血管系の形成過程を説明できる。 ○泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 D-8-1) 構造と機能 ○腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。 ○腎糸球体における濾過の機序を説明できる。 ●泌尿器の各部の構造と機能を図示・説明できる。 ●妊娠の概略と体節形成を図示・説明できる。 ●胎児付属物と双胎について図示・説明できる。	B1共同実習室
34	12/17(火)4限	実習	齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨		
35	12/17(火)5限	実習	川井 範夫 新美 元		
36	12/17(火)6限	実習	小久保 正博		
37	01/07(火)3限	実習	深澤 元晶	<各論(7) 男・女生殖器> D-9-1) 構造と機能 ○生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。 ○男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○男性生殖器の形態と機能を説明できる。 ○精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。 ○陰莖の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。 ○女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○性周期発現と排卵の機序を説明できる。 ●減数分裂の過程とその意義を説明できる。 妊娠の概略と体節形成を図示・説明できる。 胎児付属物と双胎について図示・説明できる。 個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。 器官系の個体発生を概説できる。 生殖腺の発生と性分化の過程を図示・説明できる。 ●妊娠の概略と体節形成を図示・説明できる。 ●胎児付属物と双胎について図示・説明できる。 ●個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。 ●生殖腺の発生と性分化の過程を図示・説明できる。 ●器官系の個体発生を概説できる。	B1共同実習室
38	01/07(火)4限	実習	齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨		
39	01/07(火)5限	実習	川井 範夫 新美 元		
40	01/07(火)6限	実習	小久保 正博		
41	01/14(火)3限	実習	深澤 元晶	<各論(8) 内分泌系、皮膚> D-3-1) 構造と機能 ○皮膚の組織構造を図示して説明できる。 D-11-1) 構造と機能 ○乳房の構造と機能を説明できる。 D-12-1) 構造と機能 ○各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。	B1共同実習室
42	01/14(火)4限	実習	齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨		
43	01/14(火)5限	実習	川井 範夫 新美 元		
44	01/14(火)6限	実習	小久保 正博		
45	01/21(火)3限	実習	深澤 元晶	<各論(9) 感覚器 視覚・聴覚> D-13-1) 構造と機能 ○眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 D-14-1) 構造と機能 ○外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ●視覚器と聴覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。	B1共同実習室
46	01/21(火)4限	実習	齊藤 成 石嶺 久子 野田 亨		
			川井 範夫		

47	01/21(火)5 限	実習	新美 元 小久保 正博	<総復習> ● 人体を形成する組織について微細構造と機能を図示・説明できる。	B1共 同実習 室
48	01/21(火)6 限	実習			
49	01/28(火)4 限	実習	深澤 元晶 齊藤 成		
50	01/28(火)5 限	実習	石嶺 久子 野田 亨 川井 範夫		
51	01/28(火)6 限	実習	新美 元 小久保 正博		

人体の構造 I

【教育目標】

人体の構造 I では、人体の肉眼的構造の概略を理解し、今後の医学の学習および卒業後の医療の現場で必要となる人体構造に関する知識を習得することを目標とする。

人体は①骨格系、②筋系、③消化器系、④呼吸器系、⑤泌尿器系、⑥生殖器系、⑦内分泌系、⑧心血管系、⑨リンパ免疫系、⑩感覚器系、⑪神経系、⑫外皮系の12系統から構成されている。人体の構造 I の授業は講義（1 学年後期）と骨学実習（1 学年後期）を行う。

【学修目標】

人体構造の階層性（細胞、組織、臓器、系統、個体）を説明できる。
 全身の主な骨、関節、筋の名称、構造上の特徴、作用を説明できる。
 消化器を構成する諸臓器の構造、相互位置関係、機能を系統的に説明できる。
 気道と肺の構造を、呼吸機能と対応させて説明できる。
 腎臓と尿路を構成する諸臓器の構造と位置関係を、尿の生成・排出と関連づけて説明できる。
 男性生殖器、女性生殖器の構造を生殖機能と関連づけて説明できる。
 主な内分泌腺の名称、存在部位、構造上の特徴、分泌されるホルモンを説明できる。
 全身の動脈系、静脈系、リンパ系の走行と分布領域の概略を説明できる。
 皮膚を含めて、全感覚器の構造上の特徴を、受容する感覚情報に関連づけて説明できる。
 脳・脊髄の構造と機能、主な脳神経と脊髄神経の種類、走行、作用を体系的に説明できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

事前に配信したプリントの重要項目やミニマム演習問題を用いて予習・復習をすること。それぞれ約30分程度を目安とする。

【 評 価 】

人体の構造 I の科目評価は、以下の(1)～(3)を総合的に判断して1 年後期学期末に行う。

(1)知識：（卒業コンピテンシー IV-1）、パフォーマンス・レベルD

知識量及び理解度の両面をペーパーテストで判定する。

ペーパーテストは2 回行う（試験ごとに、合格・不合格の判定は行わない。）

①1回目（中間試験）

範囲：解剖学序論と運動器系（骨学・関節学・筋学）

時期：1 学年11月に実施予定（中間試験の追試験及び再試験は行わない）

②2回目（定期試験）

範囲：運動器系（骨学・関節学・筋学）以外の全範囲

時期：1 学年後期終了後の試験期間に実施予定

(2)実習レポート：（卒業コンピテンシー V-1,3）、パフォーマンス・レベルC

実習では、講義で学んだ知識を実際に確かめることに主眼が置かれる。単に知識の確認ではなく、教科書と実際の違いを確認し、教科書を書き換えるつもりで実習に望むことが期待される。実習レポートも単に教科書を写したのではなく、実際に自分で観察したものを正確に記載し、もし教科書と異なっていれば、その原因・意義についても考察できているかを評価する。

(3)講義および実習態度：（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、実習に積極的に参加したかという点を評価する。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・ 実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

【教科書】

「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論、運動器系 第3版」坂井建雄、松村 譲児 監訳（医学書院）
 「プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第2版」坂井建雄、大谷 修 監訳（医学書院）
 「プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第2版」坂井建雄、河田 光博 監訳（医学書院）

【推薦参考書】

「カラー図解 人体の正常構造と機能 [全10巻縮刷版] 第3版」坂井建雄、河原克雅 編著（日本医事新報社）
 「イラスト解剖学 第9版」松村 譲児著（中外医学社）
 「骨学実習の手びき」寺田春水、藤田恒夫著（南山堂）
 「グレイ解剖学 原著第3版」Richard L.Drake 他著（エルゼビア・ジャパン）
 「グレイ解剖学アトラス 原著第2版」Richard L.Drake 他著（エルゼビア・ジャパン）
 「人体解剖学 改訂第42版」藤田恒太郎 著（南江堂）
 「カラー人体解剖学」F.H.マティーン 他著、井上真央監訳（西村書店）
 「ネッター解剖学アトラス 原著第6版」Frank H Netter 他著（南江堂）

【使用する教室】

大学2号館10階1001講義室

【実習場所】

大学1号館 1階共同実習室

【次年度予定】

2020年度 第2学年 前期
 授業内容 人体解剖実習

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・解剖学I>

担当者名	曜日	時間	場所
秦 龍二 教授	月曜、火曜、水曜	13:00～14:00	大学1号館8階815
野村 隆士 講師	月曜	18:00～19:00	大学1号館8階815
佐藤 貴彦 講師	水曜	17:00～18:00	大学1号館8階815
八幡 直樹 助教	金曜	18:00～19:00	大学1号館8階815
尾身 実 助教	水曜	17:00～18:00	大学1号館8階815

【授業日程】

<人体の構造I>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/02(水)2限	講義	秦 龍二	解剖学序論、骨学総論 C-2-2)-(2) 器官の位置関係 ○位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。 D-4-1) 構造と機能 ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。 ●人体構造の階層性（細胞・組織・臓器・系統・個体）を説明できる。 ●人体を構成する11の系統を挙げることができる。	1001講義室
2	10/02(水)3	講義	秦 龍二	関節学総論	1001講義室

	限			D-4-1) 構造と機能 ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。	
3	10/02(水)5 限	講義	秦 龍二	骨学・関節学各論1(脊柱) D-4-1) 構造と機能 ○脊柱の構成と機能を説明できる。	1001講義室
4	10/03(木)4 限	講義	秦 龍二	骨学・関節学各論2(胸郭) ●胸郭を構成する骨を列挙し、それらの関係を説明できる。	1001講義室
5	10/03(木)5 限	講義	尾身 実	骨学・関節学各論3(上肢1) D-4-1) 構造と機能 ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
6	10/04(金)3 限	講義	尾身 実	骨学・関節学各論4(上肢2) D-4-1) 構造と機能 ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
7	10/09(水)2 限	講義	八幡 直樹	骨学・関節学各論5(下肢) D-4-1) 構造と機能 ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
8	10/09(水)3 限	講義	八幡 直樹	骨学・関節学各論6(骨盤) D-4-1) 構造と機能 ○骨盤の構成と性差を説明できる。	1001講義室
9	10/09(水)5 限	講義	佐藤 貴彦	骨学・関節学各論7(頭蓋1) D-4-1) 構造と機能 ○頭頸部の構成を説明できる。	1001講義室
10	10/11(金)3 限	講義	佐藤 貴彦	骨学・関節学各論8(頭蓋2) D-4-1) 構造と機能 ○頭頸部の構成を説明できる。	1001講義室
11	10/17(木)4 限	講義	佐藤 貴彦	骨学・関節学各論9(頭蓋3) D-4-1) 構造と機能 ○頭頸部の構成を説明できる。	1001講義室
12	10/18(金)3 限	講義	野村 隆士	筋学総論 D-4-1) 構造と機能 ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ●主な関節の運動方向を説明できる。	1001講義室
13	10/23(水)3 限	講義	野村 隆士	筋学各論1(頭頸部) D-4-1) 構造と機能 ○頭頸部の構成を説明できる。 D-7-1) 構造と機能 ○咀嚼くと嚥下の機構を説明できる。 ●主な表情筋の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
14	10/23(水)4 限	講義	野村 隆士	筋学各論2(上肢1) D-4-1) 構造と機能 ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
15	10/23(水)5 限	講義	野村 隆士	筋学各論3(上肢2) D-4-1) 構造と機能 ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
16	10/24(木)4 限	講義	野村 隆士	筋学各論4(下肢1) D-4-1) 構造と機能 ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
17	10/25(金)3 限	講義	野村 隆士	筋学各論5(下肢2) D-4-1) 構造と機能 ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
18	10/30(水)3 限	講義	野村 隆士	筋学各論6(体幹1) D-4-1) 構造と機能 ○姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-6-1) 構造と機能 ○呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。	1001講義室
19	10/30(水)4 限	講義	秦 龍二	呼吸器系1(鼻腔～気管) D-6-1) 構造と機能 ○気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。 D-14-1) 構造と機能 ○口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。	1001講義室

				○喉頭の機能と神経支配を説明できる。	
20	10/30(水)5限	講義	秦 龍二	呼吸器系2 (気管支・肺・呼吸筋) D-6-1) 構造と機能 ○気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。 ○呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。	1001講義室
21	10/31(木)4限	講義	秦 龍二	胸膜・胸腔・縦隔 D-6-1) 構造と機能 ○縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。	1001講義室
22	11/01(金)3限	講義	野村 隆士	筋学各論7 (体幹2) D-4-1) 構造と機能 ○姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 ○抗重力筋を説明できる。	1001講義室
23	11/06(水)2限	講義	野村 隆士	消化器系1 (総論・口腔・咽頭) D-7-1) 構造と機能 ○各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ○咀嚼やくと嚥下の機構を説明できる。	1001講義室
24	11/06(水)3限	講義	野村 隆士	消化器系2 (食道・胃・小腸・大腸) D-7-1) 構造と機能 ○各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。	1001講義室
25	11/06(水)5限	講義	八幡 直樹	泌尿器系1 (腎臓) D-8-1) 構造と機能 ○腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。	1001講義室
26	11/07(木)4限	講義	野村 隆士	消化器系3 (肝臓・胆嚢) D-7-1) 構造と機能 ○各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○肝の構造と機能を説明できる。	1001講義室
27	11/08(金)3限	講義	野村 隆士	消化器系4 (十二指腸・膵臓) C-2-4) 個体の発生 ○消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 D-7-1) 構造と機能 ○各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。	1001講義室
28	11/13(水)2限	講義	尾身 実	心血管系1 (総論・心臓1) D-5-1) 構造と機能 ○心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。 ○体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 ○毛細血管における物質・水分交換を説明できる。	1001講義室
29	11/13(水)3限	講義	尾身 実	心血管系2 (心臓2) D-5-1) 構造と機能 ○心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。	1001講義室
30	11/13(水)5限	講義	八幡 直樹	泌尿器系2 (尿管・膀胱・尿道) D-8-1) 構造と機能 ○腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。	1001講義室
31	11/14(木)4限	講義	尾身 実	心血管系3 (心臓3) D-5-1) 構造と機能 ○心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。	1001講義室
32	11/14(木)5限	講義	尾身 実	心血管系4 (動脈系1) D-5-1) 構造と機能 ○体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 ○大動脈と主な分枝(頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢)を図示し、分布域を概説できる。 ○主な臓器(脳、心臓、肺、腎臓)の循環調節を概説できる。	1001講義室
33	11/15(金)3限	講義	野村 隆士	腹膜・腹膜腔 C-2-4) 個体の発生	1001講義室

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 D-7-1) 構造と機能 ○ 腹膜と臓器の関係を説明できる。 	
34	11/20(水)3限	講義	八幡 直樹	生殖器系1 (男性1) D-9-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 	1001講義室
35	11/20(水)4限	講義	尾身 実	心血管系5 (動脈系2) D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大動脈と主な分枝(頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢)を図示し、分布域を概説できる。 ○ 主な臓器(脳、心臓、肺、腎臓)の循環調節を概説できる。 	1001講義室
36	11/20(水)5限	講義	尾身 実	心血管系6 (静脈系1) D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。 ○ 主な臓器(脳、心臓、肺、腎臓)の循環調節を概説できる。 	1001講義室
37	11/21(木)4限	講義	尾身 実	心血管系7 (静脈系2・胎児循環) D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 ○ 主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。 ○ 主な臓器(脳、心臓、肺、腎臓)の循環調節を概説できる。 	1001講義室
38	11/21(木)5限	講義	尾身 実	リンパ免疫系1 (リンパ管・リンパ節・扁桃・Peyer板) D-1-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer板の構造と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。 	1001講義室
39	11/22(金)3限	講義	尾身 実	リンパ免疫系2 (リンパ管・リンパ節・骨髄・脾臓・胸腺) D-1-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer板の構造と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。 	1001講義室
40	11/27(水)3限	講義	八幡 直樹	生殖器系2 (男性2・女性1) D-9-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 ○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 ● 骨盤隔膜・尿生殖隔膜を説明できる。 	1001講義室
41	11/27(水)4限	講義	佐藤 貴彦	感覚器系1 (総論・皮膚) D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢(頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢)の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布(デルマトーム)を概説できる。 D-2-1)-(6) 感覚系 <ul style="list-style-type: none"> ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ● 感覚の種類を説明できる。 	1001講義室
42	11/27(水)5限	講義	佐藤 貴彦	感覚器系2 (視覚器1) D-13-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ○ 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 眼球運動のしくみを説明できる。 ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 	1001講義室
	11/28(木)4限	中間試験	秦 龍二 野村 隆士	中間試験 <ul style="list-style-type: none"> ● 解剖学序論から骨学・関節学・筋学までの分野を説明できる。 	603講義室
	11/28(木)5限	中間試験	佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実		
43	11/29(金)3限	講義	佐藤 貴彦	感覚器系3 (視覚器2) D-13-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 	1001講義室

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 眼球運動のしくみを説明できる。 ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 	
44	12/04(水)3限	講義	八幡 直樹	生殖系3 (女性2) D-9-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 D-11-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 乳房の構造と機能を説明できる。 	1001講義室
45	12/04(水)4限	講義	佐藤 貴彦	感覚系4 (聴覚器1) D-14-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ○ 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	1001講義室
46	12/04(水)5限	講義	佐藤 貴彦	感覚系5 (聴覚器2) D-14-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ○ 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	1001講義室
47	12/05(木)4限	講義	秦 龍二	中枢神経系1 (神経系の区分・脳脊髄膜) D-2-1)-(1) 神経系の一般特性 <ul style="list-style-type: none"> ○ 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○ 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。 	1001講義室
48	12/05(木)5限	講義	秦 龍二	中枢神経系2 (神経系の発生) C-2-4) 個体の発生 <ul style="list-style-type: none"> ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 	1001講義室
49	12/06(金)3限	講義	佐藤 貴彦	感覚系6 (味覚器・嗅覚器) D-14-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。 ○ 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	1001講義室
50	12/11(水)3限	講義	八幡 直樹	内分泌系 D-12-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。 ○ 視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。 ○ 甲状腺と副甲状腺 (上皮小体) から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。 ○ 副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。 ○ 膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。 	1001講義室
51	12/11(水)4限	講義	秦 龍二	中枢神経系3 (脳の血管・脳室・脳脊髄液) D-2-1)-(1) 神経系の一般特性 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳の血管支配と血液脳関門を説明できる。 ○ 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。 	1001講義室
52	12/11(水)5限	講義	秦 龍二	中枢神経系4 (脳幹・小脳) D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳幹の構造と伝導路を説明できる。 ○ 脳幹の機能を概説できる。 D-2-1)-(5) 運動系 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小脳の構造と機能を概説できる。 	1001講義室
53	12/12(木)4限	講義	秦 龍二	中枢神経系5 (大脳皮質・大脳辺縁系) D-2-1)-(4) 大脳と高次機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大脳の構造を説明できる。 ○ 大脳皮質の機能局在 (運動野・感覚野・言語野) を説明できる。 ○ 記憶、学習の機序を辺縁系の構成と関連させて概説できる。 	1001講義室
54	12/12(木)5限	講義	秦 龍二	中枢神経系6 (大脳髄質・大脳基底核) D-2-1)-(5) 運動系 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大脳基底核 (線条体、淡蒼球、黒質) の線維結合と機能を概説できる。 	1001講義室
55	12/13(金)3限	講義	秦 龍二	中枢神経系7 (脊髄) D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 	1001講義室

56	12/18(水)3限	講義	野村 隆士	脳神経系1 (総論1) D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経 ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。	1001講義室
57	12/18(水)4限	講義	秦 龍二	中枢神経系8 (伝導路) D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経 ○ 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経 ○ 脳幹の構造と伝導路を説明できる。 D-2-1)-(5) 運動系 ○ 随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。 D-2-1)-(6) 感覚系 ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。	1001講義室
58	12/18(水)5限	講義	秦 龍二	中枢神経系9 (伝導路) D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経 ○ 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経 ○ 脳幹の構造と伝導路を説明できる。 D-2-1)-(5) 運動系 ○ 随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。 D-2-1)-(6) 感覚系 ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。	1001講義室
59	12/19(木)4限	講義	野村 隆士	脳神経系2 (総論2・全体像) D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経 ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。	1001講義室
60	12/19(木)5限	講義	野村 隆士	脳神経系3 (各論 I, II, III, IV, VI) D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経 ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 D-2-1)-(6) 感覚系 ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動 ○ 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 D-13-1) 構造と機能 ○ 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 眼球運動のしくみを説明できる。 ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 D-14-1) 構造と機能 ○ 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。	1001講義室
61	12/20(金)3限	講義	野村 隆士	脳神経系4 (各論 V, VII, VIII) D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経 ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 D-2-1)-(6) 感覚系 ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動 ○ 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 D-13-1) 構造と機能 ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 D-14-1) 構造と機能 ○ 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。	1001講義室
62	01/08(水)3限	講義	野村 隆士	脳神経系5 (各論 IX, X, XI, XII) D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経 ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 D-2-1)-(6) 感覚系 ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動	1001講義室

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 D-14-1) 構造と機能 ○ 喉頭の機能と神経支配を説明できる。 ○ 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	
63	01/08(水)4限	講義	秦 龍二	脊髄神経系1 (総論・頸神経叢) D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢 (頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢) の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布 (デルマトーム) を概説できる。 D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	1001講義室
64	01/08(水)5限	講義	秦 龍二	脊髄神経系2 (腕神経叢) D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢 (頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢) の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布 (デルマトーム) を概説できる。 D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	1001講義室
65	01/09(木)4限	講義	秦 龍二	脊髄神経系3 (肋間神経・腰神経叢) D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢 (頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢) の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布 (デルマトーム) を概説できる。 D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	1001講義室
66	01/09(木)5限	講義	秦 龍二	脊髄神経系4 (仙骨神経叢) D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢 (頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢) の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布 (デルマトーム) を概説できる。 D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	1001講義室
67	01/10(金)3限	講義	秦 龍二	自律神経系 D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動 <ul style="list-style-type: none"> ○ 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 ○ 視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連付けて概説できる。 	1001講義室

<人体の構造 I (実習)>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/17(木)5限	実習	秦 龍二 野村 隆士 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習1 (脊柱・胸郭) D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 脊柱の構成と機能を説明できる。 ● 胸郭を構成する骨を列挙し、それらの関係を説明できる。	1F共同実習室
2	10/17(木)6限	実習			
3	10/24(木)5限	実習	秦 龍二 野村 隆士 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習2 (上肢) D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1F共同実習室
4	10/24(木)6限	実習			
5	10/31(木)5限	実習	秦 龍二 野村 隆士 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習3 (骨盤・自由下肢) D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 ○ 骨盤の構成と性差を説明できる。	1F共同実習室
6	10/31(木)6限	実習			
7	11/07(木)5限	実習	秦 龍二 野村 隆士 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習4 (頭蓋) D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 頭頸部の構成を説明できる。	1F共同実習室
8	11/07(木)6限	実習			

アセンブリ I

【教育目標】

アセンブリ教育は医療の専門職として社会に貢献するのに必要な専門職連携の基盤づくりを行う専門職連携教育である。学部及び学校間の壁を乗り越え、学生と教員が共通の目的に向かって一緒に活動することを通して、責任感と奉仕の精神にあふれた医療人としての人間形成を目指す。

アセンブリIでは、他学科の学生・教員との班活動・全学活動を通じて、連携に必須な他者との相互理解とそのためのコミュニケーションの基礎を習得することを目標とする。

【学修目標】

他者を理解し、多様性を認め、尊重することができる。

学校、学部、学科の垣根を越えて、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。

将来いろいろな医療職に就く学生と多様な経験を有する教員と一緒に活動できる。

チームでの活動に主体的に参加できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【準備学習（予習・復習等）】

アセンブリ精神を理解し、班主任の指示に従うこと。

【評価】

演習レポート；（卒業コンピテンシー I -4,5）、パフォーマンス・レベルC

評価は、班活動（70%）と全学活動（オリエンテーション・アセンブリ講演会・講習会・活動報告会）（30%）を総合的に評価する。

うち、班活動の評価は参加度および活動内容についての達成度（70%）に加え、班ごとに定める「コミュニケーション能力・技術」（班紹介参照, 30%）を合わせて評価する。全学活動（オリエンテーション・アセンブリ講演会・講習会・活動報告会）については、参加度および達成度を総合的に評価する。

【進級及び卒業要件】

アセンブリは、建学の理念に基づき実施される特別教育活動で、単位数には含まれないが卒業に必要な教科とする。

【注意事項】

班ごとに実施される全学活動講習会（4回＝救急救命、心理的初期援助(PFA)、搬送法、コミュニケーション）と学年全体で行われるオリエンテーション、アセンブリ講演会（2回）、アセンブリIおよびIIの活動報告会は全て出席およびレポート提出を必須とする。欠席した場合は補講を受けなければならない。

【フィードバック】

問題がある時は対応する。対応は班主任および全学活動担当教員が行うが、それができない場合はアセンブリ教育センターで対処する。

【活動場所】

アセンブリポータルサイト（<https://assembly.fujita-hu.ac.jp/>）参照

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
古澤 彰浩 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (火、水、木、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903

<医学部・臨床総合医学>

担当者名	曜日	時間	場所
大槻 眞嗣 教授	水曜	12:30～13:20, 16:40～18:00	大学2号館10階1007

【授業日程】

<アセンブリ I >

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/15(月)5限	全体オリエンテーション	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	全体オリエンテーション(全学活動)	フジタホール2000
	04/22(月)5限	アセンブリ講演会1 (医療と献体)	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	アセンブリ講演会1「医療と献体」 (全学活動)	フジタホール2000
	05/13(月)5限	アセンブリ講演会2	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	アセンブリ講演会2「特別講演」 (全学活動)	フジタホール2000
1	05/20(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	班活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
2	05/27(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
3	06/03(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
4	06/10(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
5	06/17(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
6	06/24(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
7	07/01(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
8	07/08(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 眞嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
9	10/07(月)5	講義	古澤 彰浩	班活動及び全学活動	

	限		大槻 真嗣	A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
10	10/21(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 真嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
11	10/28(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 真嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
12	11/11(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 真嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
	11/18(月)5限	アセンブリII活動報告会	古澤 彰浩 大槻 真嗣	アセンブリII 活動報告会 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	フジ タホ ール 2000
13	11/25(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 真嗣	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
14	12/02(月)5限	講義	古澤 彰浩 大槻 真嗣	班活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
	12/09(月)5限	アセンブリI活動報告会1	古澤 彰浩 大槻 真嗣	アセンブリI活動報告会	フジ タホ ール 2000
	12/16(月)5限	アセンブリI活動報告会2	古澤 彰浩 大槻 真嗣	アセンブリI活動報告会 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	フジ タホ ール 2000

基礎教室体験実習

[教育目標]

データが登録されていません。

[学修目標]

データが登録されていません。

